資料５

障害福祉に関する市民意識調査

障害福祉に関する市民意識調査

２０１４年１０月

調査へのご協力のお願い

１．この調査は、障害のある人びとの生活全般の向上をめざし、だれもが安心して暮らせる福祉社会の実現に向けての基礎資料とするために、白山市と金沢大学「障害と医療・福祉」研究会が共同で実施するものです。調査の目的をご理解いただき、率直なご意見をご記入いただきますようお願いいたします。

２．この調査は、白山市にお住まいの２０歳から７９歳までの方々から、くじ引きに似た方法（無作為抽出法）で１５００名を選ばせていただきました。

３．回答は、**封筒の宛名のご本人**が記入してください。ご本人が回答できない場合は、調査票に記入せずにそのままご返送ください。

４．この調査は無記名ですので、どなたが回答したか特定されることはございません。みなさま方個人および、ご家族の方々のことが外部にもれることは絶対にありません。また、この調査票で得られたデータは、白山市の福祉行政を実現する施策づくりおよび大学での研究目的以外には使用いたしません。

５．ご記入いただきましたら、**１０月１４日（火）**までに同封の返信用封筒に入れてご投函ください。**※切手は不要です。封筒裏面に差出人のお名前を記入する必要もありません。**

６．以上の点をご理解いただき、なにとぞご協力をお願いいたします。この調査に関するご質問がございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【実施責任者】
白山市健康福祉部障害福祉課
金沢大学「障害と医療・福祉」研究会

【問い合わせ先】
白山市健康福祉部障害福祉課
Ｔｅｌ：０７６－２７４－９５２６
Ｆａｘ：０７６－２７５－２２１１

調査票記入上の注意事項

◎ご記入は、黒または青色のボールペン・ペン・鉛筆でお願いいたします。
◎回答のしかた
（１）ほとんどの質問は、あてはまるものの番号（**１２３・・・の数字**）を**○印**でかこんで、お答えください。
（２）いくつかの質問には、枠内に文字・数字を直接ご記入ください。
（３）答えにくい質問があるかもしれませんが、できるだけすべての質問にお答えいただければ幸いです。

■まず、あなたご自身のことについてお聞きします。

問１　あなたの性別はどちらですか。

1. 男性	**2.** 女性

問２　あなたの年齢は何歳ですか。〔２０１４（平成２６）年１０月１日現在でお答えください〕

満 □□ **歳**

問３　あなたは白山市のどの地域にお住まいですか。つぎの１～４の中からあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

1. 松任
2. 美川
3. 鶴来
4. 河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰

問４　あなたは白山市（合併前の旧市町村も含む［平成１７年２月に合併］）に住んで、今年で何年目になりますか。白山市以外にお住まいの期間を除いて、合計年でお答えください。

□□ **年目**

■障害のある人との交流などについてお聞きします。

問５　あなたのこれまでの日常生活において、以下のような障害のある人が身近にいましたか。

（１）　**発達障害や精神障害のある人**が身近にいらっしゃいましたか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

1. 家族にいる（いた）	**5.** 職場の同僚にいる（いた）
2. 親戚にいる（いた）	**6.** 自身に発達障害や精神障害がある（あった）
3. 友人にいる（いた）	**7.** 身近にはいない（いなかった）
4. 近所にいる（いた）	**8.** その他（具体的に：　　）

（２）　**身体障害のある人**が身近にいらっしゃいましたか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

1. 家族にいる（いた）	**5.** 職場の同僚にいる（いた）
2. 親戚にいる（いた）	**6.** 自身に身体障害がある（あった）
3. 友人にいる（いた）	**7.** 身近にはいない（いなかった）
4. 近所にいる（いた）	**8.** その他（具体的に：　　）

（３）　知的障害のある人が身近にいらっしゃいましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家族にいる（いた）	**5.** 職場の同僚にいる（いた）
2. 親戚にいる（いた）	**6.** 自身に知的障害がある（あった）
3. 友人にいる（いた）	**7.** 身近にはいない（いなかった）
4. 近所にいる（いた）	**8.** その他（具体的に：　　）

問６　以下にあげる障害について、どの程度ご存知ですか。ａ～ｌのそれぞれについて、つぎの１～４の中からあてはまる番号１つに○をつけてください。

	１．まったく知らない	２．名前は知っているが、内容はよくわからない	３．名前は知っており、内容も多少知っている	４．名前も内容もよく知っている
ａ．注意欠陥多動性障害（ADHD）	**1**	**2**	**3**	**4**
ｂ．自閉症	**1**	**2**	**3**	**4**
ｃ．身体障害	**1**	**2**	**3**	**4**
ｄ．アスペルガー症候群	**1**	**2**	**3**	**4**
ｅ．摂食障害	**1**	**2**	**3**	**4**
ｆ．知的障害	**1**	**2**	**3**	**4**
ｇ．双極性障害	**1**	**2**	**3**	**4**
ｈ．高機能自閉症	**1**	**2**	**3**	**4**
ｉ．統合失調症	**1**	**2**	**3**	**4**
ｊ．発達障害	**1**	**2**	**3**	**4**
ｋ．学習障害（LD）	**1**	**2**	**3**	**4**
ｌ．精神障害	**1**	**2**	**3**	**4**

問７　身体障害と聞いて、あなたはどのような人のことを思い浮かべますか。なるべく具体的にお答えください。

問８　以下にあげる法律やその他の項目について、どの程度ご存知ですか。ａ～ｇのそれぞれについて、あてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	１．まったく知らない	２．名前は知っているが、内容はよくわからない	３．名前は知っており、内容も多少知っている	４．名前も内容もよく知っている
ａ．障害者基本法	**1**	**2**	**3**	**4**
ｂ．障害者総合支援法	**1**	**2**	**3**	**4**
ｃ．障害者雇用促進法（障害者の雇用の促進等に関する法律）	**1**	**2**	**3**	**4**
ｄ．発達障害者支援法	**1**	**2**	**3**	**4**
ｅ．障害者虐待防止法	**1**	**2**	**3**	**4**
ｆ．障害者権利条約（障害者の権利に関する条約）	**1**	**2**	**3**	**4**
ｇ．障害者相談支援専門員	**1**	**2**	**3**	**4**

問９　あなたのこれまでの障害のある人との関わりについてお聞きします。

（１）　**発達障害や精神障害のある人**とどのように関わってきましたか。つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

1. 積極的に関わっていた
2. どちらかというと積極的に関わっていた
3. あまり関わりはなかった
4. 関わりをさけていた
5. 発達障害や精神障害のある人と出会ったことはない

（２）　**身体障害のある人**とどのように関わってきましたか。つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

1. 積極的に関わっていた
2. どちらかというと積極的に関わっていた
3. あまり関わりはなかった
4. 関わりをさけていた
5. 身体障害のある人と出会ったことはない

（３）　**知的障害のある人**とどのように関わってきましたか。つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

1. 積極的に関わっていた
2. どちらかというと積極的に関わっていた
3. あまり関わりはなかった
4. 関わりをさけていた
5. 知的障害のある人と出会ったことはない

問１０　あなたは**最近の３年間**で、障害のある人のためのボランティア活動にどのような頻度で参加しましたか。つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

1. 週に１回以上参加した	**4.** ここ３年間に１回くらい参加した
2. 月に１回くらい参加した	**5.** ここ３年間参加したことはない
3. 年に１回から数回参加した	

問１１　あなたはこれまでに障害に関する授業や講演、研修を受けたことがありますか。つぎの１～４の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

1. 受けたことはない	**3.** 何度かある
2. １回ある	**4.** 頻繁（ひんぱん）にある

問１２　障害と仕事に関する次のような意見についてどう思いますか。ａ～ｄのそれぞれについて、つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う	３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない	５．そう思わない
ａ．障害のある人の雇用をうながすためには、国や地方自治体からの助成金が必要だ	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｂ．企業は、障害のある人が働きやすい環境を積極的に整備しなければならない	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｃ．企業が、障害のある人にとって働きにくい職場の施設を改善しないことは差別である	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｄ．障害のある人に特化した就労支援が必要である	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**

問１３　白山市の人びとに対して、障害ある人への理解を広めるために、どのような方法が有効だと思いますか。以下にご自由にご記入下さい。

■ここからは障害に関するお考えについてお聞きします。

問１４　障害のある人の生活についてどのように思いますか。ａ～ｄのそれぞれについて、つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	1．そう思う	2．どちらかといえばそう思う	3．どちらともいえない	4．どちらかといえばそう思わない	5．そう思わない
a．障害のある人の生活は家族や親族が支えるべきだ	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
b．障害のある人は施設で生活するほうがよい	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
c．障害のある人が自立して生活していくことは難しい	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
d．障害のある人の生活は地域で支えるべきだ	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**

問１５　障害のある人を支援するための政策として、以下にあげた政策のうち、重要なことはどれだとお考えですか。つぎの１～６の中から、**もっとも**重要なこと、**その次に**重要なことの番号を回答欄のなかに記入してください。

1. 障害のある人の権利や尊厳を守ること
2. 障害のある人が世間並みの生活ができるように経済的に支援すること
3. 障害のある人に働く機会を提供したり、働きやすい環境を整えたりすること
4. 障害のある人に世間並みの住居を提供すること
5. 障害のある人がさまざまな社会活動に参加することができるようにすること
6. 障害のある人をケアしている人を支援すること

もっとも重要なこと　□　　次に重要なこと　□

問１６　障害に関して、あなた自身のことについてお聞きします。ａ～ｅのそれぞれについて、１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	1．そう思う	2．どちらかといえばそう思う	3．どちらともいえない	4．どちらかといえばそう思わない	5．そう思わない
a．障害のある人のためのボランティア活動に参加したい	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
b．障害のある人と一緒に仕事をしても、十分うまくやっていける	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
c．障害のある人と地域の行事や趣味のサークルなどで交流をしたい	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
d．障害に関する記事や放送を積極的に見聞きする方だ	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
e．自分は、障害のある子どもの親になったとしても十分うまくやっていける	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**

問１７　あなたは障害に関する以下のことについて、どのように思いますか。ａ～ｇのそれぞれについて、つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う	３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない	５．そう思わない
ａ．人の幸せと障害の有無は関係ないと思う	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｂ．障害のある人が望めば、障害のない人と一緒に教育を受けられるようにすべきだ	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｃ．「障害者」という表現は、不適切な表現であると指摘されることもあるため、別の表現に書き改める必要がある	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｄ．同じ時間働いたならば、障害のせいで成果が低かったとしても、障害のある人も障害のない人も同じ賃金であるべきだ	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｅ．近所に障害のある人たちの施設やグループホームなどができることに不安を感じる	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｆ．障害のある人も他の人と同じように責任や義務を果たすべきだ	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｇ．たとえ負担が大きくなったとしても、障害のある人にもっと配慮した社会にすることが望ましい	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**

■差別のことについてお聞きします。

問１８　障害のある人に対する差別についてお聞きします。

（１）　あなたは、現在、日本の社会には障害のある人に対して、障害を理由とする差別があると思いますか。つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

1. かなりあると思う⇒**問１８（２）**
2. 多少はあると思う⇒**問１８（２）**
3. どちらともいえない⇒**問１９**
4. あまりないと思う⇒**問１９**
5. まったくないと思う⇒**問１９**

（２）　**【問１８（１）で1か2と答えた方にのみお聞きします。】**それはどのような分野での差別ですか。つぎの１～９の中からあてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

1．医療
2．教育・療育
3．交通や建物のバリアフリー化
4．防災
5．情報バリアフリー
6．行政手続き
7．文化活動
8．政治参加
9．その他（　　）

（３）　では、その差別はどのようなものですか。具体的にお書きください。

問１９　あなたは、５年前と比べて障害のある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

1. かなり改善されている	**4.** あまり改善されていない
2. 少しずつ改善されている	**5.** まったく改善されていない
3. どちらともいえない	

問２０　日本において、つぎのような差別があると思いますか。ａ～ｉのそれぞれについて、１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	4. どちらかといえばそう思わない	5. そう思わない
a．女性に対する差別	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
b．身体障害者に対する差別	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
c．精神障害者に対する差別	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
d．知的障害者に対する差別	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
e．在日韓国・朝鮮人に対する差別	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
f．その他の外国人に対する差別	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
g．同和地区住民に対する差別	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
h．同性愛者に対する差別	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
i．高齢者に対する差別	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**

問２１　障害者権利条約では、障害のある人がない人と同じように生活するために過大な負担とならない範囲で行う配慮や工夫を「合理的配慮」としています。また、「合理的配慮」を行わないことは差別として位置づけられています。あなたは、このような「合理的配慮」について知っていましたか。つぎの１～３の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

1. 合理的配慮の考え方について知っている
2. 合理的配慮という言葉は聞いたことがある
3. 合理的配慮については知らない

問２２　あなたは、障害のある人もない人も、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあって暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。つぎの１～３の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

1. 知っている
2. 言葉だけは知っている
3. 知らない

問２３　障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（いわゆる「障害者差別解消法」）についてご存知ですか。つぎの１～３の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

1. 知っている
2. 言葉だけ知っている
3. 知らない

問２４　国や地方公共団体で、障害のある人に対する理解を深めるための、広報や行事等を行っていますが、その効果についてあなたはどのように感じていますか。つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

1. かなり理解は深まってきている
2. やや理解は深まってきている
3. どちらともいえない
4. あまり理解は深まってきていない
5. まったく理解は深まってきていない

問２５　障害のある人の生活上の困難は、おもにどのような原因によるものだと思いますか。つぎの１～３の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

1. 個人の心身の機能の問題である
2. 社会的な障壁の問題である
3. 個人の心身の機能と社会的な障壁という両方の問題がある

問２６　あなたは、現在の障害者福祉の水準について、どのように思いますか。つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

1. とても低い
2. やや低い
3. どちらともいえない
4. やや高い
5. とても高い

■社会一般のことについてお聞きします。

問２７　あなたはつぎにあげることについて、どのように思いますか。ａ～ｉのそれぞれについて、つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う	３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない	５．そう思わない
ａ．子育ての責任はすべて親にある	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｂ．女性はつねに守られるべき存在である	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｃ．患者は医師の指示によって生活を制限されても仕方がない	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｄ．未成年の子どものことはできるかぎり親が決めた方がよい	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｅ．高齢者の生活は介助者の言うことを聞いていればうまくいく	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｆ．権威のある人々には常に敬意を払わなければいけない	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｇ．以前からなされていたやり方を守ることが、最上の結果を生む	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｈ．伝統や慣習にしたがったやり方に疑問を持つ人は、結局は問題をひきおこすことになる	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｉ．この複雑な世の中で何をなすべきかを知る一番よい方法は、指導者や専門家に頼ることである	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**

問２８　あなたはつぎにあげる意見について、どのように思いますか。ａ～ｃのそれぞれについて、つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う	３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない	５．そう思わない
ａ．財産や収入を分配する最も公平な方法は、みなに等しく分けることだ	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｂ．結果として貧富の差が生じたとしても、機会の平等さえあれば公平だといえる	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｃ．すべての人が必要なモノを手に入れるために、自分が必要とする以上に稼いでいる人びとからお金を集めることになっても仕方がない	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**

問２９　差別に関するつぎの意見についてどのように思いますか。a～ｆのそれぞれについて、１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う	３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない	５．そう思わない
ａ．差別について深く知ることによって、差別をなくすことができる	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｂ．差別される側の気持ちを考えることは難しい	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｃ．いまの世の中には、差別される人々を保護するためとして、いきすぎた逆差別がある	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｄ．差別される人々とあまり接触しないほうが、社会のなかで問題が生じることが少ない	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｅ．差別があるのは、差別される側にも原因があるからだ	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｆ．この世の中で、差別がなくなることはない	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**

問３０　政府の役割に関するつぎの意見についてどのように思いますか。ａ～ｅのそれぞれについて、１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う	３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない	５．そう思わない
ａ．政府は、最低限の生活水準をすべての人に保障すべきである	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｂ．政府は、働きたいというすべての人に仕事を与えるべきである	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｃ．政府は、障害のある人の賃金を障害のない人と平等にするためのコストを負担するべきだ	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｄ．政府のやることは無駄が多いので、できるだけ民間に任せるべきだ	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**
ｅ．政府は、豊かな人と貧しい人の所得の差を縮めるために対策を取るべきだ	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**

■最後に、家庭生活やお仕事などについてお聞きします。

問３１　あなたは現在、結婚していらっしゃいますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

1. 未婚	**2.** 既婚	**3.** 離別	**4.** 死別

問３２　お子さんについておたずねします。
（１）　あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。

1. いない	**2.** いる

（２）　**【（１）で2と答えた方にお聞きします。】**
お子さんの人数をご記入ください。

□□ **人**

問３３　あなたが最後に卒業した（または現在通っている）学校は、つぎのどれにあたりますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

1. 中学校	**5.** 大学
2. 高等学校	**6.** 大学院
3. 短期大学・高等専門学校（高専）	**7.** その他（具体的に：　　）
4. 専門学校・各種専門学校	

問３４　お仕事についてお聞きします。
（１）　あなたは現在、ご職業をお持ちですか。

1. 有職 ⇒問３４（２）にお進みください	**2.** 無職 ⇒問３５にお進みください	**3.** 学生 ⇒問３５にお進みください

（２）　**【（１）で1と答えた方にのみお聞きします。】**現在のお仕事は、次のうちどれにあてはまりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 経営者、役員（会社組織の）
2. 常時雇用されている一般従業者
3. 臨時雇用、契約社員、パート、アルバイト
4. 派遣社員
5. 自営業主、自由業者（会社組織でないもの）
6. 家族従業者
7. 内職
8. その他（具体的に：　　）

（３）　現在のお仕事は次の表の分類のうち、どれにあたりますか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。あてはまる分類のない方、どの分類にあてはまるかわからない方は、**13**に○をつけて、お仕事の内容をご記入下さい。

1.	事務的な仕事	総務・企画、受付・案内、営業・販売などの事務員、集金人、その他の外勤事務員、運輸事務員、タイピスト、計算機オペレーター、レジスター係員などのかた
2.	販売的な仕事	小売店主、卸売り店主、飲食店主、販売店員、外交員などのかた
3.	サービス的な仕事	理容師、家政婦、料理人、ウエイトレス、旅行ガイド、ホテル支配人、ビル管理人などのかた
4.	通信的な仕事	有線通信士、電話交換手、郵便・電報外務員などのかた
5.	保安的な仕事	自衛官、警察官、消防士、守衛などのかた
6.	専門的、技術的な仕事	科学研究者、建築・土木・農林技術者、システムエンジニア、医師、看護師、薬剤師、裁判官、弁護士、会計士、学校教員、個人教師、芸術家、記者、船舶機関長、航空士、無線技術者などのかた
7.	管理的な仕事	会社役員、課長以上の会社員、駅長、局長、学校長、管理職的公務員のかた
8.	建築請負的な仕事	土木・建築請負、大工、左官、とび職、配管工、畳職、起重機・建設機械など運転作業者などのかた
9.	運輸的な仕事	自動車運転者、電車運転士、車掌、鉄道員、船員などのかた
10.	労務的な仕事	道路工夫、鉄道線路工夫、運搬担当者、清掃員などのかた
11.	製造的な仕事	金属・機械・繊維・飲食料品製造などの生産従事者、織物・木・プラスチック製品・紙製品製造者、自動車修理工などのかた
12.	農林漁業の仕事	農業・林業・漁業作業者などのかた
13.	その他	［具体的にお書き下さい］

問３５　あなたのご家庭の、現在の暮らし向きについてどう思われますか。以下の中からあてはまる番号**１つ**に○をつけてください。お選びください。

1. 良い
2. どちらかといえば良い
3. 良くも悪くもない
4. どちらかといえば悪い
5. 悪い

問３６　過去１年間の**あなた個人**の収入は税込みでどのくらいでしょうか。臨時収入、副収入も含めて、以下の中からあてはまる番号**１つ**に○をつけてください。

1. なし
2. ７０万円未満
3. ７０～１５０万円未満
4. １５０～２５０万円未満
5. ２５０～３５０万円未満
6. ３５０～４５０万円未満
7. ４５０～５５０万円未満
8. ５５０～６５０万円未満
9. ６５０～７５０万円未満
10. ７５０～８５０万円未満
11. ８５０～１０００万円未満
12. １０００～１２００万円未満
13. １２００～１４００万円未満
14. １４００～１６００万円未満
15. １６００～１８５０万円未満
16. １８５０～２３００万円未満
17. ２３００万円以上

問３７　過去１年間の<u>世帯全体</u>の収入は税込みでどのくらいでしょうか。臨時収入、副収入も含めて、以下の中からあてはまる番号<u>１つ</u>に○をつけてください。

1. なし	**10.** ７５０～８５０万円未満
2. ７０万円未満	**11.** ８５０～１０００万円未満
3. ７０～１５０万円未満	**12.** １０００～１２００万円未満
4. １５０～２５０万円未満	**13.** １２００～１４００万円未満
5. ２５０～３５０万円未満	**14.** １４００～１６００万円未満
6. ３５０～４５０万円未満	**15.** １６００～１８５０万円未満
7. ４５０～５５０万円未満	**16.** １８５０～２３００万円未満
8. ５５０～６５０万円未満	**17.** ２３００万円以上
9. ６５０～７５０万円未満	

■本調査に関して、ご意見などございましたらご記入ください。

以上で質問は終わりです。

<u>何かご記入もれはありませんか。ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。</u>

お忙しいところ、貴重なお時間をさいていただきありがとうございました。

障害福祉に関する市民意識調査

単純集計表

問１　あなたの性別はどちらですか。

	度数	%
男性	297	40.9
女性	429	59.1
合計(全ケース)	726	100.0

問２　あなたの年齢は何歳ですか。〔２０１４（平成２６）年１０月１日現在でお答えください〕

	度数	%
20代	56	7.8
30代	86	11.9
40代	129	17.9
50代	137	19.0
60代	190	26.3
70代	124	17.2
合計(有効ケース)	722	100.0
無回答	4	

問３　あなたは白山市のどの地域にお住まいですか。つぎの１～４の中からあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	度数	%
松任	452	62.5
美川	75	10.4
鶴来	149	20.6
河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰	47	6.5
合計(有効ケース)	723	100.0
非該当/無回答	3	
合計(全ケース)	726	

問４　あなたは白山市（合併前の旧市町村も含む［平成１７年２月に合併］）に住んで、今年で何年目になりますか。白山市以外にお住まいの期間を除いて、合計年でお答えください。

	度数	%
10年未満	94	13.1
10～20年	92	12.8
20～30年	160	22.3
30～40年	140	19.5
40～50年	81	11.3
50～60年	60	8.4
60～70年	53	7.4
70～80年	37	5.2
合計(有効ケース)	717	100.0
無回答	9	

問５　あなたのこれまでの日常生活において、以下のような障害のある人が身近にいましたか。

（１）**発達障害や精神障害のある人**が身近にいらっしゃいましたか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

家族

	度数	%
いない	660	94.4
いる	39	5.6
合計(有効ケース)	699	100.0
無回答	27	
合計(全ケース)	726	

親戚

	度数	%
いない	603	86.3
いる	96	13.7
合計(有効ケース)	699	100.0
無回答	27	
合計(全ケース)	726	

友人

	度数	%
いない	650	93.0
いる	49	7.0
合計(有効ケース)	699	100.0
無回答	27	
合計(全ケース)	726	

近所

	度数	%
いない	530	75.8
いる	169	24.2
合計(有効ケース)	699	100.0
無回答	27	
合計(全ケース)	726	

同僚

	度数	%
いない	623	89.1
いる	76	10.9
合計(有効ケース)	699	100.0
無回答	27	
合計(全ケース)	726	

自身

	度数	%
いない	696	99.6
いる	3	0.4
合計(有効ケース)	699	100.0
無回答	27	
合計(全ケース)	726	

身近にはいない

	度数	%
いない	360	51.5
いる	339	48.5
合計(有効ケース)	699	100.0
無回答	27	
合計(全ケース)	726	

その他

	度数	%
いない	650	93.0
いる	49	7.0
合計(有効ケース)	699	100.0
無回答	27	
合計(全ケース)	726	

(2) **身体障害のある人**が身近にいらっしゃいましたか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

家族

	度数	%
いない	612	88.1
いる	83	11.9
合計(有効ケース)	695	100.0
無回答	31	
合計(全ケース)	726	

親戚

	度数	%
いない	601	86.5
いる	94	13.5
合計(有効ケース)	695	100.0
無回答	31	
合計(全ケース)	726	

友人

	度数	%
いない	629	90.5
いる	66	9.5
合計(有効ケース)	695	100.0
無回答	31	
合計(全ケース)	726	

近所

	度数	%
いない	569	81.9
いる	126	18.1
合計(有効ケース)	695	100.0
無回答	31	
合計(全ケース)	726	

同僚

	度数	%
いない	610	87.8
いる	85	12.2
合計(有効ケース)	695	100.0
無回答	31	
合計(全ケース)	726	

自身

	度数	%
いない	689	99.1
いる	6	0.9
合計(有効ケース)	695	100.0
無回答	31	
合計(全ケース)	726	

身近にはいない

	度数	%
いない	384	99.1
いる	311	0.9
合計(有効ケース)	695	100.0
無回答	31	
合計(全ケース)	726	

その他

	度数	%
いない	656	94.4
いる	39	5.6
合計(有効ケース)	695	100.0
無回答	31	
合計(全ケース)	726	

(3) **知的障害のある人**が身近にいらっしゃいましたか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

家族

	度数	%
いない	656	97.2
いる	19	2.8
合計(有効ケース)	675	100.0
無回答	51	
合計(全ケース)	726	

親戚

	度数	%
いない	619	91.7
いる	56	8.3
合計(有効ケース)	675	100.0
無回答	51	
合計(全ケース)	726	

友人

	度数	%
いない	649	96.1
いる	26	3.9
合計(有効ケース)	675	100.0
無回答	51	
合計(全ケース)	726	

近所

	度数	%
いない	546	80.9
いる	129	19.1
合計(有効ケース)	675	100.0
無回答	51	
合計(全ケース)	726	

同僚

	度数	%
いない	645	95.6
いる	30	4.4
合計(有効ケース)	675	100.0
無回答	51	
合計(全ケース)	726	

自身

	度数	%
いない	675	100.0
合計(有効ケース)	675	100.0
無回答	51	
合計(全ケース)	726	

身近にはいない

	度数	%
いない	276	40.9
いる	399	59.1
合計(有効ケース)	675	100.0
無回答	31	
合計(全ケース)	726	

その他

	度数	%
いない	620	91.9
いる	55	8.1
合計(有効ケース)	675	100.0
無回答	51	
合計(全ケース)	726	

問６　以下にあげる障害について、どの程度ご存知ですか。ａ～１のそれぞれについて、つぎの１～４の中からあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

ａ．注意欠陥多動性障害（ＡＤＨＤ）

	度数	%
まったく知らない	379	56.2
名前は知っているが、内容はよくわからない	131	19.4
名前は知っており、内容も多少知っている	124	18.4
名前も内容もよく知っている	40	5.9
合計(有効ケース)	674	100.0
非該当/無回答	52	
合計(全ケース)	726	

ｂ．自閉症

	度数	%
まったく知らない	28	4.1
名前は知っているが、内容はよくわからない	210	30.4
名前は知っており、内容も多少知っている	355	51.4
名前も内容もよく知っている	97	14.1
合計(有効ケース)	690	100.0
非該当/無回答	36	
合計(全ケース)	726	

c．身体障害

	度数	%
まったく知らない	29	4.3
名前は知っているが、内容はよくわからない	128	18.8
名前は知っており、内容も多少知っている	357	52.3
名前も内容もよく知っている	168	24.6
合計(有効ケース)	682	100.0
非該当/無回答	44	
合計(全ケース)	726	

d．アスペルガー症候群

	度数	%
まったく知らない	400	59.3
名前は知っているが、内容はよくわからない	147	21.8
名前は知っており、内容も多少知っている	91	13.5
名前も内容もよく知っている	36	5.3
合計(有効ケース)	674	100.0
非該当/無回答	52	
合計(全ケース)	726	

e．摂食障害

	度数	%
まったく知らない	77	11.3
名前は知っているが、内容はよくわからない	211	30.9
名前は知っており、内容も多少知っている	298	43.7
名前も内容もよく知っている	96	14.1
合計(有効ケース)	682	100.0
非該当/無回答	44	
合計(全ケース)	726	

f．知的障害

	度数	%
まったく知らない	37	5.4
名前は知っているが、内容はよくわからない	196	28.7
名前は知っており、内容も多少知っている	347	50.7
名前も内容もよく知っている	104	15.2
合計(有効ケース)	684	100.0
非該当/無回答	42	
合計(全ケース)	726	

g．双極性障害

	度数	%
まったく知らない	511	70.4
名前は知っているが、内容はよくわからない	107	14.7
名前は知っており、内容も多少知っている	47	6.5
名前も内容もよく知っている	19	2.6
合計(有効ケース)	684	100.0
非該当/無回答	42	
合計(全ケース)	726	

h．高機能自閉症

	度数	%
まったく知らない	436	65.1
名前は知っているが、内容はよくわからない	140	20.9
名前は知っており、内容も多少知っている	72	10.7
名前も内容もよく知っている	222	3.3
合計(有効ケース)	670	100.0
非該当/無回答	56	
合計(全ケース)	726	

ｉ．総合失調症

	度数	%
まったく知らない	257	38.0
名前は知っているが、内容はよくわからない	266	39.3
名前は知っており、内容も多少知っている	110	16.3
名前も内容もよく知っている	43	6.4
合計(有効ケース)	676	100.0
非該当/無回答	50	
合計(全ケース)	726	

ｊ．発達障害

	度数	%
まったく知らない	70	10.2
名前は知っているが、内容はよくわからない	313	45.6
名前は知っており、内容も多少知っている	238	34.6
名前も内容もよく知っている	66	9.6
合計(有効ケース)	687	100.0
非該当/無回答	39	
合計(全ケース)	726	

ｋ．学習障害

	度数	%
まったく知らない	250	36.9
名前は知っているが、内容はよくわからない	257	37.9
名前は知っており、内容も多少知っている	127	18.7
名前も内容もよく知っている	44	6.5
合計(有効ケース)	678	100.0
非該当/無回答	48	
合計(全ケース)	726	

ｌ．精神障害

	度数	%
まったく知らない	51	7.4
名前は知っているが、内容はよくわからない	325	47.3
名前は知っており、内容も多少知っている	244	35.5
名前も内容もよく知っている	67	9.8
合計(有効ケース)	687	100.0
非該当/無回答	39	
合計(全ケース)	726	

問７　身体障害と聞いて、あなたはどのような人のことを思い浮かべますか。なるべく具体的にお答えください。

	度数	%
なし	162	22.3
あり	564	77.7
合計(有効ケース)	726	100.0
合計(全ケース)	726	

問８　以下にあげる法律やその他の項目について、どの程度ご存知ですか。ａ～ｇのそれぞれについて、あてはまる番号**１つに**○をつけてください。

ａ．障害者基本法

	度数	%
まったく知らない	425	60.3
名前は知っているが、内容はよくわからない	227	32.2
名前は知っており、内容も多少知っている	45	6.4
名前も内容もよく知っている	8	1.1
合計(有効ケース)	705	100.0
無回答	21	
合計(全ケース)	726	

b．障害者総合支援法

	度数	%
まったく知らない	465	66.7
名前は知っているが、内容はよくわからない	182	26.1
名前は知っており、内容も多少知っている	43	6.2
名前も内容もよく知っている	7	1.0
合計(有効ケース)	697	100.0
無回答	29	
合計(全ケース)	726	

c．障害者雇用促進法

	度数	%
まったく知らない	242	34.7
名前は知っているが、内容はよくわからない	277	39.7
名前は知っており、内容も多少知っている	156	22.3
名前も内容もよく知っている	23	3.3
合計(有効ケース)	698	100.0
無回答	28	
合計(全ケース)	726	

d．発達障害者支援法

	度数	%
まったく知らない	447	64.4
名前は知っているが、内容はよくわからない	196	28.2
名前は知っており、内容も多少知っている	47	6.8
名前も内容もよく知っている	4	0.6
合計(有効ケース)	694	100.0
無回答	32	
合計(全ケース)	726	

e．障害者虐待防止法

	度数	%
まったく知らない	373	53.4
名前は知っているが、内容はよくわからない	243	34.8
名前は知っており、内容も多少知っている	71	10.2
名前も内容もよく知っている	11	1.6
合計(有効ケース)	698	100.0
無回答	28	
合計(全ケース)	726	

f．障害者権利条約

	度数	%
まったく知らない	523	74.9
名前は知っているが、内容はよくわからない	134	19.2
名前は知っており、内容も多少知っている	36	5.2
名前も内容もよく知っている	5	0.7
合計(有効ケース)	698	100.0
無回答	28	
合計(全ケース)	726	

g．障害者相談支援専門員

	度数	%
まったく知らない	405	57.9
名前は知っているが、内容はよくわからない	213	30.4
名前は知っており、内容も多少知っている	69	9.9
名前も内容もよく知っている	13	1.9
合計(有効ケース)	700	100.0
無回答	26	
合計(全ケース)	726	

問９　あなたのこれまでの障害のある人との関わりについてお聞きします。

（１）　**発達障害や精神障害のある人**とどのように関わってきましたか。つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	度数	%
積極的	17	2.4
どちらかというと積極的	113	15.8
あまり	408	57.0
関わりをさけていた	28	3.9
出会ったことない	150	20.9
合計(有効ケース)	716	100.0
非該当/無回答	10	
合計(全ケース)	726	

（２）　**身体障害のある人**とどのように関わってきましたか。つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	度数	%
積極的	49	6.9
どちらかというと積極的	137	19.2
あまり	429	60.1
関わりをさけていた	9	1.3
出会ったことない	90	12.6
合計(有効ケース)	714	100.0
非該当/無回答	12	
合計(全ケース)	726	

（３）　**知的障害のある人**とどのように関わってきましたか。つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	度数	%
積極的	26	3.6
どちらかというと積極的	71	9.9
あまり	448	62.7
関わりをさけていた	29	4.1
出会ったことない	141	19.7
合計(有効ケース)	715	100.0
非該当/無回答	11	
合計(全ケース)	726	

問１０　あなたは**最近の３年間**で、障害のある人のためのボランティア活動にどのような頻度で参加しましたか。つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	度数	%
週に１回	3	0.4
月に１回	9	1.3
年に１回	28	3.9
３年間に１回	23	3.2
３年間にはない	648	91.1
合計(有効ケース)	711	100.0
無回答	15	
合計(全ケース)	726	

問１１　あなたはこれまでに障害に関する授業や講演、研修を受けたことがありますか。つぎの１～４の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	度数	%
ない	553	76.8
１回	46	6.4
何度	101	14.0
頻繁	20	2.8
合計(有効ケース)	720	100.0
無回答	6	
合計(全ケース)	726	

問１２　障害と仕事に関する次のような意見についてどう思いますか。ａ～ｄのそれぞれについて、つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

ａ．障害のある人の雇用をうながすためには、国や地方自治体からの助成金が必要だ

	度数	%
そう思う	366	51.2
どちらかといえばそう思う	250	35.0
どちらともいえない	80	11.2
どちらかといえばそう思わない	8	1.1
そう思わない	11	1.5
合計(有効ケース)	715	100.0
無回答	11	
合計(全ケース)	726	

b．企業は、障害のある人が働きやすい環境を積極的に整備しなければならない

	度数	%
そう思う	290	40.8
どちらかといえばそう思う	271	38.1
どちらともいえない	137	19.3
どちらかといえばそう思わない	10	1.4
そう思わない	3	0.4
合計(有効ケース)	711	100.0
無回答	15	
合計(全ケース)	726	

c．企業が、障害のある人にとって働きにくい職場の施設を改善しないことは差別である

	度数	%
そう思う	171	24.1
どちらかといえばそう思う	196	27.6
どちらともいえない	265	37.3
どちらかといえばそう思わない	40	5.6
そう思わない	39	5.5
合計(有効ケース)	711	100.0
無回答	15	
合計(全ケース)	726	

d．障害のある人に特化した就労支援が必要である

	度数	%
そう思う	288	40.4
どちらかといえばそう思う	289	40.6
どちらともいえない	118	16.6
どちらかといえばそう思わない	14	2.0
そう思わない	3	0.4
合計(有効ケース)	712	100.0
無回答	14	
合計(全ケース)	726	

問１３　白山市の人びとに対して、障害ある人への理解を広めるために、どのような方法が有効だと思いますか。以下にご自由にご記入下さい。

	度数	%
記述なし	362	49.9
記述あり	364	50.1
合計(有効ケース)	726	100.0
合計(全ケース)	726	

問１４　障害のある人の生活についてどのように思いますか。ａ～ｄのそれぞれについて、つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

ａ．障害のある人の生活は家族や親族が支えるべきだ

	度数	%
そう思う	118	16.6
どちらかといえばそう思う	188	26.4
どちらともいえない	285	40.0
どちらかといえばそう思わない	52	7.3
そう思わない	69	9.7
合計(有効ケース)	712	100.0
無回答	14	
合計(全ケース)	726	

ｂ．障害のある人は施設で生活するほうがよい

	度数	%
そう思う	25	3.5
どちらかといえばそう思う	86	12.0
どちらともいえない	402	56.2
どちらかといえばそう思わない	100	14.0
そう思わない	102	14.3
合計(有効ケース)	715	100.0
無回答	11	
合計(全ケース)	726	

c．障害のある人が自立して生活していくことは難しい

	度数	%
そう思う	122	17.0
どちらかといえばそう思う	260	36.3
どちらともいえない	222	31.0
どちらかといえばそう思わない	77	10.8
そう思わない	35	4.9
合計(有効ケース)	716	100.0
無回答	10	
合計(全ケース)	726	

d．障害のある人の生活は地域で支えるべきだ

	度数	%
そう思う	154	21.5
どちらかといえばそう思う	266	37.2
どちらともいえない	246	34.4
どちらかといえばそう思わない	33	4.6
そう思わない	17	2.4
合計(有効ケース)	716	100.0
無回答	10	
合計(全ケース)	1508	

問１５　障害のある人を支援するための政策として、以下にあげた政策のうち、重要なことはどれだとお考えですか。つぎの１～６の中から、**もっとも**重要なこと、**その次に**重要なことの番号を回答欄のなかに記入してください。

最も重要

	度数	%
権利や尊厳をまもる	231	32.5
経済的支援	101	14.2
就労支援	242	34.0
住居提供	4	0.6
社会活動参加	58	8.2
ケアする人の支援	75	10.5
合計(有効ケース)	711	100.0
無回答	15	
合計(全ケース)	726	

次に重要

	度数	%
権利や尊厳をまもる	61	8.7
経済的支援	85	12.1
就労支援	163	23.2
住居提供	11	1.6
社会活動参加	107	15.2
ケアする人の支援	277	39.3
合計(有効ケース)	704	100.0
無回答	22	
合計(全ケース)	726	

問１６　障害に関して、あなた自身のことについてお聞きします。ａ～ｅのそれぞれについて、１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

ａ．障害のある人のためのボランティア活動に参加したい

	度数	%
そう思う	51	7.2
どちらかといえばそう思う	180	25.6
どちらともいえない	305	43.3
どちらかといえばそう思わない	99	14.1
そう思わない	69	9.8
合計(有効ケース)	704	100.0
無回答	22	
合計(全ケース)	726	

ｂ．障害のある人と一緒に仕事をしても、十分うまくやっていける

	度数	%
そう思う	45	6.4
どちらかといえばそう思う	219	30.9
どちらともいえない	351	49.6
どちらかといえばそう思わない	64	9.0
そう思わない	29	4.1
合計(有効ケース)	708	100.0
無回答	18	
合計(全ケース)	726	

c．障害のある人と地域の行事や趣味のサークルなどで交流をしたい

	度数	%
そう思う	38	5.4
どちらかといえばそう思う	197	28.0
どちらともいえない	336	47.7
どちらかといえばそう思わない	82	11.6
そう思わない	51	7.2
合計(有効ケース)	704	100.0
無回答	22	
合計(全ケース)	726	

d．障害に関する記事や放送を積極的に見聞きする方だ

	度数	%
そう思う	52	7.3
どちらかといえばそう思う	99	27.4
どちらともいえない	382	41.8
どちらかといえばそう思わない	117	16.5
そう思わない	76	7.0
合計(有効ケース)	710	100.0
無回答	16	
合計(全ケース)	726	

e．自分は、障害のある子どもの親になったとしても十分うまくやっていける

	度数	%
そう思う	36	5.1
どちらかといえばそう思う	99	13.9
どちらともいえない	382	53.8
どちらかといえばそう思わない	117	16.5
そう思わない	76	10.7
合計(有効ケース)	710	100.0
無回答	16	
合計(全ケース)	726	

問１７　あなたは障害に関する以下のことについて、どのように思いますか。ａ～ｇのそれぞれについて、つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

ａ．人の幸せと障害の有無は関係ないと思う

	度数	%
そう思う	189	26.6
どちらかといえばそう思う	167	23.5
どちらともいえない	194	27.3
どちらかといえばそう思わない	94	13.2
そう思わない	67	9.4
合計(有効ケース)	711	100.0
無回答	15	
合計(全ケース)	726	

ｂ．障害のある人が望めば、障害のない人と一緒に教育を受けられるようにすべきだ

	度数	%
そう思う	255	35.8
どちらかといえばそう思う	268	37.6
どちらともいえない	148	20.8
どちらかといえばそう思わない	28	3.9
そう思わない	14	2.0
合計(有効ケース)	713	100.0
無回答	13	
合計(全ケース)	726	

ｃ．「障害者」という表現は、不適切な表現であると指摘されることもあるため、別の表現に書き改める必要がある

	度数	%
そう思う	105	14.8
どちらかといえばそう思う	188	26.6
どちらともいえない	272	38.4
どちらかといえばそう思わない	89	12.6
そう思わない	54	7.6
合計(有効ケース)	708	100.0
無回答	18	
合計(全ケース)	726	

d．同じ時間働いたならば、障害のせいで成果が低かったとしても、障害のある人も障害のない人も同じ賃金であるべきだ

	度数	%
そう思う	72	10.1
どちらかといえばそう思う	117	16.5
どちらともいえない	285	40.1
どちらかといえばそう思わない	163	23.0
そう思わない	73	10.3
合計(有効ケース)	710	100.0
無回答	16	
合計(全ケース)	726	

e．近所に障害のある人たちの施設やグループホームなどができることに不安を感じる

	度数	%
そう思う	12	1.7
どちらかといえばそう思う	39	5.5
どちらともいえない	150	21.2
どちらかといえばそう思わない	210	29.7
そう思わない	296	41.9
合計(有効ケース)	707	100.0
無回答	19	
合計(全ケース)	726	

f．障害のある人も他の人と同じように責任や義務を果たすべきだ

	度数	%
そう思う	73	10.3
どちらかといえばそう思う	151	21.4
どちらともいえない	324	45.9
どちらかといえばそう思わない	100	14.2
そう思わない	58	8.2
合計(有効ケース)	706	100.0
無回答	20	
合計(全ケース)	726	

g．たとえ負担が大きくなったとしても、障害のある人にもっと配慮した社会にすることが望ましい

	度数	%
そう思う	128	18.0
どちらかといえばそう思う	280	39.3
どちらともいえない	261	36.6
どちらかといえばそう思わない	28	3.9
そう思わない	16	2.2
合計(有効ケース)	713	100.0
無回答	13	
合計(全ケース)	726	

問１８　障害のある人に対する差別についてお聞きします。

（1）　あなたは、現在、日本の社会には障害のある人に対して、障害を理由とする差別があると思いますか。つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	度数	%
かなりある	140	19.7
多少ある	366	51.5
どちらともいえない	149	21.0
あまりない	53	7.5
まったくない	3	0.4
合計(有効ケース)	711	100.0
無回答	15	
合計(全ケース)	726	

（2）　それはどのような分野での差別ですか。つぎの１～９の中からあてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

差別医療

	度数	%
なし	448	88.0
あり	61	12.0
合計(有効ケース)	509	100.0
無回答	217	
合計(全ケース)	726	

差別教育・療育

	度数	%
なし	188	36.9
あり	321	63.1
合計(有効ケース)	509	100.0
非該当・無回答	217	
合計(全ケース)	726	

差別バリアフリー化

	度数	%
なし	202	39.7
あり	307	60.3
合計(有効ケース)	509	100.0
非該当・無回答	217	
合計(全ケース)	726	

差別防災

	度数	%
なし	389	76.4
あり	120	23.6
合計(有効ケース)	509	100.0
非該当・無回答	217	
合計(全ケース)	726	

差別情報バリアフリー

	度数	%
なし	428	84.1
あり	81	15.9
合計(有効ケース)	509	100.0
非該当・無回答	217	
合計(全ケース)	726	

差別行政手続き

	度数	%
なし	436	85.7
あり	73	14.3
合計(有効ケース)	509	100.0
非該当・無回答	217	
合計(全ケース)	726	

差別文化活動

	度数	%
なし	400	85.7
あり	109	14.3
合計(有効ケース)	509	100.0
非該当・無回答	217	
合計(全ケース)	726	

差別政治参加

	度数	%
なし	434	85.3
あり	75	14.7
合計(有効ケース)	509	100.0
非該当・無回答	217	
合計(全ケース)	726	

差別その他

	度数	%
なし	455	89.4
あり	54	10.6
合計(有効ケース)	509	100.0
非該当・無回答	217	
合計(全ケース)	726	

差別記述有無

	度数	%
なし	465	64.0
あり	261	36.0
合計(有効ケース)	726	100.0
合計(全ケース)	726	

（3）　では、その差別はどのようなものですか。具体的にお書きください。

	度数	%
記述なし	465	64.0
記述あり	261	36.0
合計(有効ケース)	726	100.0
合計(全ケース)	726	

問１９　あなたは、５年前と比べて障害のある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	度数	%
かなり	43	6.2
少しずつ	288	41.2
どちらともいえない	262	37.5
あまり	93	13.3
まったく	13	1.9
合計(有効ケース)	699	100.0
無回答	27	
合計(全ケース)	726	

問２０　日本において、つぎのような差別があると思いますか。ａ～ｉのそれぞれについて、１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

ａ．女性に対する差別

	度数	%
そう思う	104	14.8
どちらかといえばそう思う	239	34.0
どちらともいえない	190	27.1
どちらかといえばそう思わない	103	14.7
そう思わない	66	9.4
合計(有効ケース)	702	100.0
無回答	24	
合計(全ケース)	726	

ｂ．身体障害者に対する差別

	度数	%
そう思う	111	15.8
どちらかといえばそう思う	329	46.9
どちらともいえない	175	25.0
どちらかといえばそう思わない	63	9.0
そう思わない	23	3.3
合計(有効ケース)	701	100.0
無回答	25	
合計(全ケース)	726	

ｃ．精神障害者に対する差別

	度数	%
そう思う	178	25.5
どちらかといえばそう思う	304	43.6
どちらともいえない	162	23.2
どちらかといえばそう思わない	37	5.3
そう思わない	16	2.3
合計(有効ケース)	697	100.0
無回答	29	
合計(全ケース)	726	

ｄ．知的障害者に対する差別

	度数	%
そう思う	149	21.4
どちらかといえばそう思う	324	46.6
どちらともいえない	169	24.3
どちらかといえばそう思わない	38	5.5
そう思わない	16	2.3
合計(有効ケース)	696	100.0
無回答	30	
合計(全ケース)	726	

e．在日韓国・朝鮮人に対する差別

	度数	%
そう思う	121	17.4
どちらかといえばそう思う	206	29.6
どちらともいえない	256	36.8
どちらかといえばそう思わない	69	9.9
そう思わない	43	6.2
合計(有効ケース)	695	100.0
無回答	31	
合計(全ケース)	726	

f．その他の外国人に対する差別

	度数	%
そう思う	54	7.8
どちらかといえばそう思う	136	19.6
どちらともいえない	310	44.6
どちらかといえばそう思わない	121	17.4
そう思わない	74	10.6
合計(有効ケース)	702	100.0
無回答	24	
合計(全ケース)	726	

g．同和地区住民に対する差別

	度数	%
そう思う	50	7.3
どちらかといえばそう思う	109	16.0
どちらともいえない	366	53.7
どちらかといえばそう思わない	90	13.2
そう思わない	66	9.7
合計(有効ケース)	681	100.0
無回答	45	
合計(全ケース)	726	

h．同性愛者に対する差別

	度数	%
そう思う	120	17.2
どちらかといえばそう思う	222	31.9
どちらともいえない	261	37.5
どちらかといえばそう思わない	59	8.5
そう思わない	34	4.9
合計(有効ケース)	696	100.0
無回答	30	
合計(全ケース)	726	

i．高齢者に対する差別

	度数	%
そう思う	44	6.3
どちらかといえばそう思う	131	18.7
どちらともいえない	257	36.6
どちらかといえばそう思わない	171	24.4
そう思わない	99	14.1
合計(有効ケース)	702	100.0
無回答	24	
合計(全ケース)	726	

問２１　障害者権利条約では、障害のある人がない人と同じように生活するために過大な負担とならない範囲で行う配慮や工夫を「合理的配慮」としています。また、「合理的配慮」を行わないことは差別として位置づけられています。あなたは、このような「合理的配慮」について知っていましたか。つぎの１～３の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	度数	%
考え方について知っている	26	3.6
言葉を聞いたことがある	91	12.7
知らない	597	83.6
合計(有効ケース)	714	100.0
無回答	12	
合計(全ケース)	726	

問２２　あなたは、障害のある人もない人も、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあって暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。つぎの１～３の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	度数	%
知っている	91	12.7
言葉だけ	246	34.4
知らない	378	52.9
合計(有効ケース)	715	100.0
無回答	11	
合計(全ケース)	726	

問２３　障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（いわゆる「障害者差別解消法」）についてご存知ですか。つぎの１～３の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	度数	%
知っている	22	3.1
言葉だけ	129	18.0
知らない	564	78.9
合計(有効ケース)	715	100.0
無回答	11	
合計(全ケース)	726	

問２４　国や地方公共団体で、障害のある人に対する理解を深めるための、広報や行事等を行っていますが、その効果についてあなたはどのように感じていますか。つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	度数	%
かなり	14	2.0
やや	99	13.9
どちらともいえない	290	39.9
あまり	239	32.9
まったく	68	9.4
８	1	0.1
合計(有効ケース)	711	100.0
無回答	15	
合計(全ケース)	726	

問２５　障害のある人の生活上の困難は、おもにどのような原因によるものだと思いますか。つぎの１～３の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	度数	%
個人の心身の機能	60	8.5
社会的な障壁	69	9.8
両方の問題	575	81.6
８	1	0.1
合計(有効ケース)	705	100.0
無回答	21	
合計(全ケース)	726	

問２６　あなたは、現在の障害者福祉の水準について、どのように思いますか。つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	度数	%
とても低い	67	9.5
やや低い	176	24.9
どちらともいえない	402	56.9
やや高い	56	7.9
とても高い	5	0.7
合計(有効ケース)	706	100.0
無回答	20	
合計(全ケース)	726	

問２７　あなたはつぎにあげることについて、どのように思いますか。ａ～ｉのそれぞれについて、つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

ａ．子育ての責任はすべて親にある

	度数	%
そう思う	160	22.5
どちらかといえばそう思う	335	47.2
どちらともいえない	100	14.1
どちらかといえばそう思わない	71	10.0
そう思わない	44	6.2
合計(有効ケース)	710	100.0
無回答	16	
合計(全ケース)	726	

b．女性はつねに守られるべき存在である

	度数	%
そう思う	35	5.0
どちらかといえばそう思う	148	20.9
どちらともいえない	330	46.7
どちらかといえばそう思わない	131	18.5
そう思わない	63	8.9
合計(有効ケース)	707	100.0
無回答	19	
合計(全ケース)	726	

c．患者は医師の指示によって生活を制限されても仕方がない

	度数	%
そう思う	78	11.0
どちらかといえばそう思う	266	37.6
どちらともいえない	233	32.9
どちらかといえばそう思わない	86	12.1
そう思わない	45	6.4
合計(有効ケース)	708	100.0
無回答	18	
合計(全ケース)	726	

d．未成年の子どものことはできるかぎり親が決めた方がよい

	度数	%
そう思う	69	9.7
どちらかといえばそう思う	194	27.4
どちらともいえない	281	39.7
どちらかといえばそう思わない	113	16.0
そう思わない	51	7.2
合計(有効ケース)	708	100.0
無回答	18	
合計(全ケース)	726	

e．高齢者の生活は介助者の言うことを聞いていればうまくいく

	度数	%
そう思う	9	1.3
どちらかといえばそう思う	66	9.3
どちらともいえない	349	49.2
どちらかといえばそう思わない	165	23.2
そう思わない	121	17.0
合計(有効ケース)	710	100.0
無回答	16	
合計(全ケース)	726	

f．権威のある人々には常に敬意を払わなければいけない

	度数	%
そう思う	15	2.1
どちらかといえばそう思う	60	8.5
どちらともいえない	227	32.2
どちらかといえばそう思わない	185	26.3
そう思わない	217	30.8
合計(有効ケース)	704	100.0
無回答	22	
合計(全ケース)	726	

g．以前からなされていたやり方を守ることが、最上の結果を生む

	度数	%
そう思う	12	1.7
どちらかといえばそう思う	20	2.8
どちらともいえない	255	36.3
どちらかといえばそう思わない	194	27.6
そう思わない	222	31.6
合計(有効ケース)	703	100.0
無回答	23	
合計(全ケース)	726	

h．伝統や慣習にしたがったやり方に疑問を持つ人は、結局は問題をひきおこすことになる

	度数	%
そう思う	16	2.3
どちらかといえばそう思う	55	7.8
どちらともいえない	299	42.4
どちらかといえばそう思わない	171	24.2
そう思わない	165	23.4
合計(有効ケース)	706	100.0
無回答	20	
合計(全ケース)	726	

i．この複雑な世の中で何をなすべきかを知る一番よい方法は、指導者や専門家に頼ることである

	度数	%
そう思う	28	4.0
どちらかといえばそう思う	94	13.3
どちらともいえない	287	40.7
どちらかといえばそう思わない	143	20.3
そう思わない	153	21.7
合計(有効ケース)	705	100.0
無回答	21	
合計(全ケース)	726	

問２８　あなたはつぎにあげる意見について、どのように思いますか。ａ～ｃのそれぞれについて、つぎの１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

ａ．財産や収入を分配する最も公平な方法は、みなに等しく分けることだ

	度数	%
そう思う	71	10.0
どちらかといえばそう思う	84	11.8
どちらともいえない	274	38.6
どちらかといえばそう思わない	147	20.7
そう思わない	134	18.9
合計(有効ケース)	710	100.0
無回答	16	
合計(全ケース)	726	

ｂ．結果として貧富の差が生じたとしても、機会の平等さえあれば公平だといえる

	度数	%
そう思う	53	7.5
どちらかといえばそう思う	196	27.7
どちらともいえない	320	45.3
どちらかといえばそう思わない	74	10.5
そう思わない	64	9.1
合計(有効ケース)	707	100.0
無回答	19	
合計(全ケース)	726	

ｃ．すべての人が必要なモノを手に入れるために、自分が必要とする以上に稼いでいる人びとからお金を集めることになっても仕方がない

	度数	%
そう思う	34	4.8
どちらかといえばそう思う	106	15.0
どちらともいえない	295	41.8
どちらかといえばそう思わない	152	21.5
そう思わない	119	16.9
合計(有効ケース)	706	100.0
無回答	20	
合計(全ケース)	726	

問２９　差別に関するつぎの意見についてどのように思いますか。ａ～ｆのそれぞれについて、１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

ａ．差別について深く知ることによって、差別をなくすことができる

	度数	%
そう思う	99	14.0
どちらかといえばそう思う	284	40.3
どちらともいえない	212	30.1
どちらかといえばそう思わない	58	8.2
そう思わない	52	7.4
合計(有効ケース)	705	100.0
無回答	21	
合計(全ケース)	726	

b．差別される側の気持ちを考えることは難しい

	度数	%
そう思う	81	11.5
どちらかといえばそう思う	202	28.7
どちらともいえない	201	28.5
どちらかといえばそう思わない	155	22.0
そう思わない	66	9.4
合計(有効ケース)	705	100.0
無回答	21	
合計(全ケース)	726	

c．いまの世の中には、差別される人々を保護するためとして、いきすぎた逆差別がある

	度数	%
そう思う	59	8.4
どちらかといえばそう思う	139	19.8
どちらともいえない	391	55.7
どちらかといえばそう思わない	83	11.8
そう思わない	30	4.3
合計(有効ケース)	702	100.0
無回答	24	
合計(全ケース)	726	

d．差別される人々とあまり接触しないほうが、社会のなかで問題が生じることが少ない

	度数	%
そう思う	24	3.4
どちらかといえばそう思う	73	10.3
どちらともいえない	289	40.9
どちらかといえばそう思わない	191	27.1
そう思わない	129	18.3
合計(有効ケース)	706	100.0
無回答	20	
合計(全ケース)	726	

e．差別があるのは、差別される側にも原因があるからだ

	度数	%
そう思う	53	7.5
どちらかといえばそう思う	137	19.4
どちらともいえない	340	48.0
どちらかといえばそう思わない	108	15.3
そう思わない	70	9.9
合計(有効ケース)	708	100.0
無回答	18	
合計(全ケース)	726	

f．この世の中で、差別がなくなることはない

	度数	%
そう思う	261	36.7
どちらかといえばそう思う	242	34.0
どちらともいえない	160	22.5
どちらかといえばそう思わない	34	4.8
そう思わない	15	2.1
合計(有効ケース)	712	100.0
無回答	14	
合計(全ケース)	726	

問３０　政府の役割に関するつぎの意見についてどのように思いますか。ａ～ｅのそれぞれについて、
１～５の中からもっともあてはまる番号**１つに**○をつけてください。

ａ．政府は、最低限の生活水準をすべての人に保障すべきである

	度数	%
そう思う	274	38.8
どちらかといえばそう思う	228	32.3
どちらともいえない	140	19.8
どちらかといえばそう思わない	39	5.5
そう思わない	25	3.5
合計(有効ケース)	706	100.0
無回答	20	
合計(全ケース)	726	

b．政府は、働きたいというすべての人に仕事を与えるべきである

	度数	%
そう思う	211	29.9
どちらかといえばそう思う	298	42.2
どちらともいえない	157	22.2
どちらかといえばそう思わない	22	3.1
そう思わない	18	2.5
合計(有効ケース)	706	100.0
無回答	20	
合計(全ケース)	726	

c．政府は、障害のある人の賃金を障害のない人と平等にするためのコストを負担するべきだ

	度数	%
そう思う	86	12.1
どちらかといえばそう思う	171	24.2
どちらともいえない	327	46.2
どちらかといえばそう思わない	89	12.6
そう思わない	35	4.9
合計(有効ケース)	708	100.0
無回答	18	
合計(全ケース)	726	

d．政府のやることは無駄が多いので、できるだけ民間に任せるべきだ

	度数	%
そう思う	80	11.3
どちらかといえばそう思う	149	21.1
どちらともいえない	355	50.4
どちらかといえばそう思わない	88	12.5
そう思わない	33	4.7
合計(有効ケース)	726	100.0
合計(全ケース)	726	

e．政府は、豊かな人と貧しい人の所得の差を縮めるために対策を取るべきだ

	度数	%
そう思う	184	25.9
どちらかといえばそう思う	245	34.5
どちらともいえない	206	29.0
どちらかといえばそう思わない	50	7.0
そう思わない	25	3.5
合計(有効ケース)	710	100.0
無回答	16	
合計(全ケース)	726	

問３１　あなたは現在、結婚していらっしゃいますか。あてはまる番号**１つに**○をつけてください。

	度数	%
未婚	97	13.5
既婚	547	76.0
離別	28	3.9
死別	48	6.7
合計(有効ケース)	720	100.0
無回答	6	
合計(全ケース)	726	

問３２　お子さんについておたずねします。
（１）　あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。

	度数	%
いない	147	20.4
いる	573	79.6
合計(有効ケース)	720	100.0
無回答	6	
合計(全ケース)	726	

（２）　お子さんの人数をご記入ください。

	度数	%
0	143	19.9
1	79	11.0
2	335	46.6
3	132	18.4
4	24	3.3
5	3	0.4
99	3	0.4
合計(有効ケース)	719	100.0
無回答	7	
合計(全ケース)	726	

問３３　あなたが最後に卒業した（または現在通っている）学校は、つぎのどれにあたりますか。あてはまる番号**１つに**○をつけてください。中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

	度数	%
中学校	78	10.8
高等学校	332	46.2
短期大学、高等専門学校	91	12.7
専門学校、各種専門学校	75	10.4
大学	132	18.4
大学院	10	1.4
その他	1	0.1
合計(有効ケース)	719	100.0
無回答	7	
合計(全ケース)	726	

問３４　お仕事についてお聞きします。
（１）　あなたは現在、ご職業をお持ちですか。

	度数	%
有職	481	66.8
無職	228	31.7
学生	11	1.5
合計(有効ケース)	720	100.0
無回答	6	
合計(全ケース)	726	

（２）　現在のお仕事は、次のうちどれにあてはまりますか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

	度数	%
経営者、役員	35	7.4
一般従業者	224	47.2
臨時雇用等	130	27.4
派遣社員	10	2.1
自営業主等	49	10.3
家族従業者	18	3.8
内職	1	0.2
その他	8	1.7
合計(有効ケース)	475	100.0
非該当・無回答	239	
合計(全ケース)	726	

（３）　現在のお仕事は次の表の分類のうち、どれにあたりますか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。あてはまる分類のない方、どの分類にあてはまるかわからない方は、**13**に○をつけて、お仕事の内容をご記入下さい。

	度数	%
事務的な仕事	98	20.5
販売的な仕事	50	10.5
サービス的な仕事	42	8.8
通信的な仕事	1	0.2
保安的な仕事	5	1.0
専門的、技術的な仕事	93	19.5
管理的な仕事	24	5.0
建築請負的な仕事	17	3.6
運輸的な仕事	16	3.4
労務的な仕事	16	3.4
製造的な仕事	71	14.9
農林漁業の仕事	13	2.7
その他	31	6.5
合計(有効ケース)	477	100.0
非該当・無回答	249	
合計(全ケース)	726	

問３５　あなたのご家庭の、現在の暮らし向きについてどう思われますか。以下の中からあてはまる番号**１つ**に○をつけてください。お選びください。

	度数	%
良い	98	13.7
どちらかと言えば良い	163	22.9
良くも悪くもない	316	44.3
どちらかと言えば悪い	108	15.1
悪い	28	3.9
合計(有効ケース)	713	100.0
無回答	13	
合計(全ケース)	726	

問３６　過去１年間の**あなた個人**の収入は税込みでどのくらいでしょうか。臨時収入、副収入も含めて、以下の中からあてはまる番号**１つ**に○をつけてください。

	度数	%
なし	52	7.4
７０万円未満	62	8.8
７０～１５０万円未満	168	23.6
１５０～２５０万円未満	123	17.5
２５０～３５０万円未満	110	15.6
３５０～４５０万円未満	65	9.2
４５０～５５０万円未満	49	7.0
５５０～６５０万円未満	33	4.7
６５０～７５０万円未満	21	3.0
７５０～８５０万円未満	9	1.3
８５０～１０００万円未満	8	1.1
１０００～１２００万円未満	2	0.3
１２００～１４００万円未満	2	0.3
１８５０～２３００万円未満	1	0.1
２３００万円以上	1	0.1
合計(有効ケース)	1409	100.0
無回答	99	
合計(全ケース)	1508	

問３７　過去１年間の**世帯全体**の収入は税込みでどのくらいでしょうか。臨時収入、副収入も含めて、以下の中からあてはまる番号**１つ**に○をつけてください。

	度数	%
なし	8	1.2
７０万円未満	8	1.2
７０～１５０万円未満	19	2.9
１５０～２５０万円未満	58	8.8
２５０～３５０万円未満	114	17.2
３５０～４５０万円未満	77	11.6
４５０～５５０万円未満	74	11.2
５５０～６５０万円未満	61	9.2
６５０～７５０万円未満	53	8.0
７５０～８５０万円未満	51	7.7
８５０～１０００万円未満	62	9.4
１０００～１２００万円未満	35	5.3
１２００～１４００万円未満	18	2.7
１４００～１６００万円未満	12	1.8
１６００～１８５０万円未満	5	0.8
１８５０～２３００万円未満	1	0.2
２３００万円以上	6	0.9
合計(有効ケース)	662	100.0
無回答	64	
合計(全ケース)	726	

■本調査に関して、ご意見などございましたらご記入ください。

	度数	%
なし	558	76.9
あり	168	23.1
合計(有効ケース)	726	100.0
合計(全ケース)	726	

障害福祉に関する市民意識調査
記述回答一覧

※　同一文言による回答は一つのみ記載した。

問７　身体障害と聞いて、あなたはどのような人のことを思い浮かべますか。なるべく具体的にお答えください。

目が見えない人。耳がきこえない人。手・足がない。脳の障害で手足が動かない人。肺気腫にかかり酸素ボンベを携帯している人
車イスにのって、手、足のない方
自分の意思通りに肉体の一部を動かす事が出来無い人
体の一部が不自由な人
五体不満足の作者、乙武さん
身体的、精神的に欠陥を持っている状態の人
身体の一部に不自由がある人
日々の生活に付いて思うように身を動かせないこと
本来はたらくべき体の部分が自由自在に運動不能な状態となり、介助、介護が必要とし日常生活に不便な事が多々ある方々のことだと思う。
目が見えない人、耳がきこえない人、ことばがはなせない人、足が不自由で１人で歩けない人、車いすにのっている人
歩行が全くできない人。あるいは大いに不自由な人。盲人。唖。耳が聴えない人。
びっこ
介護が必要な人
車いすを使っている人
身体が不自由な方。
体のどこかに障害がある。たとえば目が見えない。耳が聞こえない脳硬塞などで手や足が動かしずらくなっているなど。
骨が曲がっていて歩るけない。目がみえない。耳が聞こえない。
手足とが不自由で歩行等が出来ない状況
四股、感覚器に機能障害があって、日常生活上にさしさわりがある方
盲目の人。白い杖を持った人。車イスに乗った人。
四肢に何らかの障害が有りツエ、車イス等補助的な用具を使用必要とし完治はほぼ可能性の無い障害者。
車イスを使用している人・身体に欠損箇所がある人・心臓にペースメーカーが入っている人・義足、義手を使用している人・パラリンピックに出てる人
目が見えない、耳が聞こえない、歩けないなど。生活していく上で障害がある人
手足が不自由な人。車椅子を利用している人
脳性小児まひ　背髄損傷
手や足が不自由で、車いす等を利用している方
体の一部（目や耳、手、足など）に障害があり健康な人のように自由に行動ができない人。
聴力障害、視力障害　脳性マヒ　車イスの人
四肢が不自由なこと。
手足が不自由な感じ・上手に歩けない・言葉をうまく話せない感じ・車イス、つえを使っている感じ・何を考えているかわからない感じ・一人ではうまく日常生活がおくれないであろう感じ・脳が損傷している感じ
乙武洋匡
半身が不自由な方を見ると…。
日常生活に支障があり、時に介助が必要な人もいる。・トイレ・入浴・歩行
目が見えない、耳がきこえない、など。手、足が無い人など
目や耳の不自由な人
歩行困難、目、耳、口の不自由。
なんらかの原因で身体のある部分が不自由になる（なっている）しかし脳は何ら普通の人とは、同じでむしろ優る人も多い。
目が見えぬ人、耳の遠い人、足をひく人。
体が部分的に無い方やマヒなどによって思うように体が動かせない人。
手足の不自由な人、又は失っている人、目や耳の不自由な人、声の出ない人、等
生まれもっての方もいるが、事故による方もあてはまると思ってます。
目や耳、足、手等、不自由な人
体の部分的に障害をおもちの方、このような方々は、生活する上でもどんな時でも大変だなと思います。障害でなくても指１本ケガしただけでも日々の生活に不自由を感じるからです。
日常生活が通常の人のようにできず、何らかの配慮が必要である。体が健常でなく、施設、家庭、地域等で支援すべき障害を持った人
歩行が不自由で車イスを使って生活する。・手足が自由に使えない。（病気かケガが原因）しゃべるのは常人と変わらない人もいる。・自分以外の補助を受けないと生活出来ない。
企業規模により法的に決められている顧用人員の方々と接して方
生活をしていくにおいて、何らかの不都合をかかえられている方
手、足、目、耳、など体の不自由な方
小児麻痺、半身麻痺、脱臼、耳が聞こえない人、生まれつきの人、病気やけがの後遺症で身体障害者になった。

身体の状態の中で、肉体的損傷が有り、日常の生活及び運動に一部支障をきたすも、精神的な力が強い面も持っている
私以外の家族３人が、身体障害者ですが別居しておりくわしい状況は分かりません。
身体介助なくては生活できない方
乙武さん
孫です。
手足が不自由というイメージ
誰かのささえがないと、何も出来ない。障害物があると危険
歩けれない人。
健常者とちがう点がある。車イスでの移動、義足、手足などの欠陥、マヒなど
身体に不自由な部分がある人のこと。
自分をコントロール出来ず、大声を出したり、あばれたりする人。
視覚障害、聴覚障害、聾唖障害、知覚神経障害、脊柱、頚柱損傷障害、歩行障害、薬剤による障害。
体のどこかに都合の悪い所がある人
パラリンピックの出場者
手、足、耳、目の不自由な人
手足の不自由な人、車イスの人等
手、足を切断されていて５体不満足の人
身体の一部に障害のある人
足が無かったり手が無かったりの人　目が見えない。耳が聞こえない。などの人。
身体の一部が不自由で手帳等をもっている。
手、足、臓器などのどれかに障害があり、正常な人と比べ活動に制限がある。
全身不ずいの人から歩くのに困難をきたす程度の障害を持つ人まで様々な身体的障害をもつ人が含まれる。身体的困難により、精神障害を併発している場合もある。
車イス　盲導犬
体が不自由な人
身体機能の一部に障害を生じており、日常生活に支障をきたす事がある。
歩行困難な状態の人　心臓の悪い人　目の悪い人
運動能力が先天的（または後天的）に日常生活を送る上で支障がある。他者があるいは機器による助けを必要とする。
日常生活する上で、体のどこかの異常にて普通の生活に一部支障をきたす方
車イス生活の方や、目や耳の不自由な方
日常生活において動作が十分でない人。また意志があっても身体が動かない人。

見た目が普通の健康体格とちがう人・普通に出来ることが介助がないとできない 治療や薬を続けていないとすぐに身体に異常をおこしてしまう人
病気交通事故等で普通の生活がむずかしく不便な状態。頑張ってリハビリ等で良くなっても一般の人より自由な生活を求めにくい体力で機能しない所がある
・施設（身障）で働いていたことがあるので、その時の施設の人達を思い浮かべます。・親族の人を思い浮かべる。又、近所のろうあ者を思い浮かべる。・車いすの人や、つえをついている人、目の障害の人達も→街の中などでみかけた。・手話を少し習ったことがあり、その時に出合った人を浮かべる
歩く事が困難で、喋る事も困難な人。
・手足の不自由な人・眼の不自由な人・耳の不自由な人・精神障害者・統合失調者・摂食障害者・自閉症
成人になってから、仕事につける所が、沢山あるのか。
手足の不自由や目や耳が聞こえない等
思うように動けない　車イス　目が見えない　耳が聴こえない　等
全盲の人や車椅子に乗っている人。
健常者でない人で身体に障害のある人。パラリンピックの選手を思い浮かべる。
体が不自由な人。手足が思いどおりに動かなかったり、そもそも一部がなかったり。耳や目が不自由な人や内臓疾患による人（心臓のペースメーカーを入れている人）等も入ると思う。
パラリンピックに出場している人
手足等欠損してる方達。生まれつき、脳生マヒの方達、位
体が不自由な方だと思います。身体障害者の方でも車に乗ったり、出来て、ふつうに生活をしている方もいらっしゃる。
目、耳、の障害で見ること、聞こえず、話すことが出来ず手話で伝える。歩くことが出来なく車いすで行動するか、又、見えない人に補助犬を使う。
身体が不自由な方、思うように動けない方を思います
小児マヒ、交通事故がイメージされる。
身体に損傷がある人
身のどこかに障害があり自分で何かする時に出来ないことがある
手や足などの一部や機能の一部が損なわれている人
事故などで脊椎損傷をおった人とか、高熱などで運動神経を病んだ人
歩行困難
脳こうそくによる身体障害
体が不自由で車椅子に乗っている人。人の世話を受けなければ生活が難しい人。
自分の力では歩行などできず他人の力が使用　体が一部がないなと義足、義手、車椅子を利用
身体の不自由な人

身近にいないため、よくわからない。

生まれつき５体に異常があって人の手を貸りて生活している人とか、事故などによって儀足になったりしている人。私は６月に人工膝関節の手術をして当初身体障害者になると言われましたが、４月の法案で人工膝関節については障害者扱いにならなくなりました。職場の人にその事を話すと、その人は障害者になるくらいなら手術はせん！！と強く言われました。私は理解できません　そんな目で見ている人がいる事にショックを受けました。

生まれた時から手足が不自由

気の毒だと思います。家族の方が大変なのではと思います。

身体の一部に不自由を感じる人。

手、足などが不自由で、車イス等を利用している方。

体が不自由な方

身体の一部がない、または上手く使えない

小児麻ひ等にかゝり身体に障害がのこった人のこと

実母と娘が軽度の身体障害者です。家の中を障害の程度によって改良する事で生活を楽にすることは出来ますが、心の中を楽にする事は難しいです。本人の気持ちも私の気持ちも大変です。特に娘は障害者支援で就職しましたが、うつ病になって離職しました。（現在はおちついております。）

・四肢に生まれつき、あるいは後天的に欠損がある。・視・聴覚等に不自由がある。・内臓に疾患があり不自由がある。

手・足が自由に使えず、車いす等を利用するような人

体の一部に障害を受け機能しない。手・足がない又は動かない、耳が聞えない、目が見えないなど。

体のどこかが不自由

盲人、聾唖者。片足や片手の無い人。

車イスの人

・一般的な社会生活ができにくい・個独感

半身まひ

生まれつき身体が健常者と違う障害

障害者手帳を持っている人、目が見えないや極度の弱視の人、耳が聞こえない、話しが出来ない人、車イスで移動する人

生活するのが少し人の助けがないと厳しい

日常生活に支障をきたし安定したくらしがおくれない。

身体が不自由。

事故等で片腕を失しなった人。騒音のため聴力が低下してしまった人。

自身の思い通りに体が動かない？

体の不自由な人　車イスで生活する人　装具をつけている人

事故又は病気による、四股の欠如、正常な動作がままならない人。

生まれつき身体が不自由である。病気や事故により不自由になった人。車いす生活を強いられている人。目や耳が不自由である。

普通に歩けない。車椅子が必要。（しゃべれない）先天的、後天的理由で身体機能の一部に障害がある人　手足が動かない脳性麻痺のある人。身体障害者手帳を持っている人

脳には何の障害がないが生まれつき「五体満足」でなかったり交通事故や仕事中の事故などで手足が不自由になった人

障害を持ちながら努力している姿が美しいパラリンピック走幅跳の佐藤まみさん　盲目のピアニスト辻井伸行さんの素晴らしい才能　障害に負けず努力する乙武さん

車イスを利用している

身体が自由に動かない部分があり、通常の生活に支障がある。足が不自由な方は、車いすを利用するなど生活を助ける道具や、人の手助けが要る。軽度の障害でも、不自由さは、健常者には分からない部分であるので見えない所でつらい。

自分では歩行出来ない、もしくは、寝たきりの人

兄が五年前に身体障害になり、本人はもちろん大変ですが、奥さんの方が、大変だと思います。

車イスの人や目、耳の不自由な人

程度や障害を持った時期も様々であると思いますが、思い浮かべるのは、先天的に四肢が不自由な方です。

目のみえない人

体が不自由で歩足等が困難

目が見えない。耳が聞こえない。話せない。歩けない。

車いすを常時必要な人、手話で会話が必要な人、盲導犬やつえが必要な人、義足・義手が必要な人

読んで字のごとく体が不自由な人

車いすを使っている　義足

身体の一部欠損や生活をしてゆくのに、体の機能がうまく働かない身体のこと

バリアフリーなど、住みやすい社会作りなどしているが、実際はまだまだ住みにくかったりするのだろうなと思う。

補助器具（車椅子・松葉杖）使用の歩行者　盲導犬に誘導される歩行者

体そのものの１部分が機能なさず、障害となっている。

・生活するにあたって何らかの介添えを必要とする人。・病気、けが、身体のまもうに寄って、体の欠損部分を補っている人。

協力したいが何をしたらよいかわからない。

体が不自由な人

五体といわれる体の不都合
目、耳、歩く事、話す事の不自由な方又は精神的な悩みを持っている方など
・手足が脳の障害により正常に機能しない人　・視覚障害や聴覚障害なども身体障害に含れ、日常生活活動が制限される人
小児まひ＝手・足・身体が不自由ですが、ある程度動くことも出来生活も自分で出来ます。
生活をする上で何らかの制約を受ける人。（薬の投与、運動の制限）
５体の一部に障害のある人
手、足が無い人
身体障害　摂食障害（ガン）
自分ひとりでの生活が困難である
※脳内出血等で後遺症が残った時。
手又は足が不自由な人
手がない　足がない
手足の不自由な方
以前知人で（てんかん）専門で色々とアンケートなど求めてきた事がありますが今はもっと難病がありはずされたとの事も聞いています。
身体の一部に損傷などで日常生活に不自由がある人（車イスなど）
障害の「害」が気にいらない。何ゆえに害？「障がい」とせめて表記しろ。
車いすにのるなど身体が不自由な人
車椅子の人、盲動犬を連れている人、白い杖を持っている人、耳の不自由な人。
パッと浮かぶのは車イスの方。体にハンディはあるがそれも個性でその人らしさの中に、少し私たちのサポートを必要とする人。
交通事故等々での身体障害あるいは小児マヒ。
交通事故にて、体が不自由になった方。
車イスに乗っていたり、体の一部に不自由がある方。
生まれてすぐ、又は、事故などで通常の生活ができない人。
家族は大変だと思います　お送り迎い、施設がもっと増えると良いと思います。
手足の不自由な方、し覚障害者
身体の一部損傷、車椅子利用
五体満足ではない人
身体のある部分に異状があり、一般人のように正常な活動が出来ない。
・肢体不自由者：手足、目、耳、等の機能が不自由な人・精神障害者：知的障害の有る人。
脳梗塞等の後遺症で身体に麻痺を残した人。
・下半身、上半身、右半身、左半身、せきずい等にまひや障害があり、その部位を自由に動かす事が困難な方。・視覚障害、聴覚障害等のある方。・その他身体の一部に障害がある方。・障害が軽度でも重度でも自分でできる事をしようと頑張っている。
以前は動けない人と思っていましたが、現在は、色々な方がおいでるので、一言では難しく思います。私自身の考えは、健常者とあまり変わらない様な気がします。
身体障害者の方は、身体の一部に障害がある訳ですから、手や足が不自由であったり、目が見えなかったり、耳が聞こえなかったり、という様に思い浮かべます。
手・足が自由に動かす事が出来ない。
身体のどこかに不都合な所があり、普通の日常生活に多少の障害がある人と思います。
身心と知能が遅れていて人並の生活が出来ない
身体の一部が、まひしているか、欠そんしているかどちらかの状態である。たとえば、目がみえない、手、もしくは足がない、身体を動かす事が困難な人。
生まれた時点障害者又は事故等で身体自由がきかない人
身体が不自由な人
自分自身であるけない人
手、脚、又は、五感覚の機能に欠陥のある人　車椅子の人　盲導犬又は、盲杖を利用する人
知的には正常で、身体のどこか動かせないなど（片手、片足等がない）と思っている
車いすで生活されている
日常生活が困難で歩行もつえを使って近くのみ。（親戚にいる人の場合）
体の障害身体の一部が機能しないこと
肢体不自由。移動の際、車いすや装具を必要とし、生活の一部又は全部に介助が必要な人。
体の機能が不自由
ヘレン・ケラー　「五体不満足」の人
身体の一部欠損した方や、身体の一部の機能がマヒしている方
病気や事故で、身体に障害をもつこと
車椅子等に乗っている人。
手、足などの動きが、日常生活に支障がある位不自由な場合。
足の悪い人　耳の聞こえない人　目のみえない人
特に手足の不自由及び欠陥のある人
両手、両足欠損症等かと思います。
身体が不自由な人　人の手助けが必要な人
身体に正常に機能しない所があるなど事故などによるものなどまた先天的なもの、病気など軽度、重度にかかわらず症状があること。
身体（体のどこかの部分）で、障害があり、不自由で健常者とは、同じことするが出来ないことが多い。車いすなどを使用しないといけないなど…
彼らがとてもかわいがりを見て、彼らが完全に治すことがきるのを望みます。

手足が不自由など
交通事故による身体障害頸椎損傷、四肢マヒなど
生活していくのに大変だと思う
生まれ乍らに不幸にも、体に支障を持っている人もしくは、出生後、何らかの原因で体が不自由になられた人。
耳のきこえない人　目の見えない人　リウマチ
主人が病気で身体障害に６０才位でなり看病等で大変な事も多々ありましたが市役所にもお世話になりました。
手、足などが動かない人見えない人や聞こえない人
日常の活動・行動に支障をきたす人
体に障害のある人
近所にうつ病になっている人　入退院をくりかえしていたのですが最近は少し良くなっている。
他人の手助け必要であり
手足や関節の動きがよくなかったり、欠損がある人。聾盲などの不自由がある人。障害者手帳を持っている。軽い障害の人はぱっと見でそうと分かりにくい。情緒不安定な人が多い。
自分のことにおきかえれば、大変だなと思います。
足や手等が不自由な人
行動・言動がふつうの人とちがう人
家族の負担がたいへんな人。
ダウン症の事はよくテレビで見ることがある。どの顔をみてもよく似ている。健常者よりすぐれている人がたくさんいらっしゃいます。
肢体不自由
健常者と同じようなことが、出来ない人
母親（９４才）や兄（７２才）を思い浮かべます　（母）５６才から障害になり１５年前から施設でお世話になっています　（兄）５５才から障害になり嫁のお世話になっています
脳や手足が不自由な人など。
視覚障害、聴覚障害、肢体不自由
なんらかの原因で足、手等に障害のある方
両上下肢、視力、聴力の機能に障がいのある人　その他病気で日常生活に著しく制限を受けている人など
視覚障害、聴覚障害　肢体不自由　音声、言語機能障害　心臓（ペースメーカー）、じん臓（とうせき）
何らかの病気・けがなどで、身体に障がいをもった方々。
先天的あるいは後天的に障害を持ち、知的障害を供なわない人

日常の生活において困難が生じる人
むずかしい質問ですね。
体がふじゆうで自分で生活するのがこんなんな方
手足が不自由・生まれつきや病気・事故などで。
体の一部が生まれつき又は、病気、ケガで無かったり、体の一部又は、全体が、動かなかったり、体の一部が変形していたりする人。
視覚、聴覚障害の方、肢体不自由、身体上の障害がある方
車イスの方。
体の不自由な人
体のある部分が不自由（手、足他）
ダウン症の方や、体が不自由な方、車イスの方など。
手足が不自由な方
運動能力が劣っているように思える。
歩行ができない。車イスを使う。手を使うのがおそい。
パラリンピックなどの選手の人達や、盲導犬を連れている人など、又車いすに乗っている、手足がない人達など特にアスリートを思い浮かべます。
少女時代の友人、辻井伸行君、近所の青年、娘さん。
「五体不満足」の作者の人
手、足の不自由
身体の一部が正常に機能しない人。
脳梗塞等で言語障害、身体障害の症状
乙武洋匡さん
身体に機能をさせにくい所がある方。
手足や視力、聴力が弱く不自由な人。
片脚や片腕の無い人
筋ジストロフィーの人
人の支えがないと歩行できない　車椅子を使用している　全てではありませんが、人の支えがないと日常生活ができない困難な方を思い浮かびます。
乙武さん
目が見えない。足、びっこをひく、短い。腕がない。パラリンピックに出る人。皮膚病。糖尿病。体の内、外に障害がある人。
目が見えない。耳が聞こえない。盲導犬と一緒に行動をしている人。
身体に何らかの原因で障害がおきている人。車いすの生活をしている人など。
車椅子に乗っている人。たとえば、交通事故にあって体に後遺症のある人

目の不自由な人。耳の聞えない人。小児マヒで手や足が不自由な人。
・生活上必要な移動に器具が要る人。車椅子、歩行器、杖など。生活上の不便がある。・目や耳が不自由な人。
身体的に不自由な人。歩行困難。他の人の助けがないといけない。
見た感じでなにか障害があるのかなと思うくらいで、気をつかってやらねばと思います。
日常生活の上で何かしら、身体に不都合な点があり、補助や介助（物・人）が必要な人
車いすを利用　杖を利用
イメージは良くない。「身体」の定義があいまい。
体の不自由な人、言葉の不自由な人の事を思い浮べます。
生まれつきや事故によるケガなどで身体を自由に動かす事が困難なこと。身体の老化によって日常生活に支障があるなど。
歩行困難
日常生活に誰れかの補助を受けなければ生活出来ない人。
身体が不自由な人。（車イスの方や、視覚・聴覚が不自由な人）
けがなどで一生歩けなかったり寝たきりの人
・知脳性におとろえがあり自分では行動が出来ない。・他人の手をかりなければ生活が出来ない。
体が不自由である事　健常者と同じ活動ができない人
手、足などの身体の一部が、十分機能していない人を思いうかべる。
・佐藤真海さんみたいな、障害にめげず明るく前向きで健常者にも生きる勇気を与えてくれる人。・盲人なら鍼灸との固定観念にとらわれたくないと羽咋から東京に行き「日本盲人図書館※」館長にまでなられた岩上義則さん。※名称は定かでない。
車いすに乗ってる方。人の手をかりないと生活出来ない方。
普通の生活をするのが、難かしい方。
・手が不自由な人・足が不自由な人　など身体に対して不自由がある人
生活に不自由はあるが、辛抱強く気持ちが強いイメージ。
薬、先天性、事故などで身体の一部に障害を持っている人達。それぞれが持っている特性をいかし、学習や生活に一生懸命取り組んでいる人が多い。サポートを受けながら自立した生活を営む人達にも接した事があり、学ぶことが多かった。何か役立つことができればと考えるきっかけを作ってもらった。
肢体不自由な方、視力や聴力の障害、片マヒ、下半身マヒ、透析をしている方？
・乙竹さんのようなサリドマイド・事故等で腕や足を欠落した人、失明した人等・生まれながらに、失明していた人
生まれつき、あるいは、事故などで体に不都合なところがあること？
交通事故で不自由な体になった人。生まれつき体が不自由な人

健常者と同じ運動が出来ない人
身体を自分の意思で動せない人
からだの不自由な人　助けの必要な人
行動に自由がきかず社会に対して、不自由だと思います。
６、７年前に定年退職された職場の女性で、勤務時より障害（足が不自由）をもたれ、定年前の２０年近く車イスでの勤務をされていた
車いすなどを使用している人
車いすにのっている人、目の見えない人、足が悪い人（歩き方が違う）　手話で話している人
手足不調の方
介護が必要、家族のみで抱えるのは限界があり、様々な社会資源の活用が提案されるべき。
日常生活を営んでいく上で、不都合な事がある人や、一人で生活できない重度な人
ろうあ者、おし、目の見えない人、手や足のない人
四肢又は、内臓機能に障害をもつ人
四肢麻痺・欠損・先天性・後天性などで、日常の生活に介助が必要な方
足での歩行が自由に出来ない人
おもに体に障害があることがまず頭に思い浮かぶが色々な場に出かけた時に知的障害の方や統合失調調症の方と接してより理解を深めてきたと思うしこれからも深めて行きたいと思うし又協力もしたいと思います。
パラリンピックの選手達
通常生活を自分ひとりで出来ない人
体を動かすことが自由に出来ない人。歩くことが困難な人。
体の一部、あるいは、全体が不自由で、生活が困難な人。
・大声で奇声を発する。・自立歩行が困難・四肢に欠損がある。・コミュニケーションがとりづらい。またはとれない。
体の不自由な方。車イスに乗っている。パラリンピックに出たり目指したりしている。
身体の一部が機能しない
身体に欠損のある人
（頭・顔・耳・足・手）＝身体上に障害のある人
他の人の手をかりて行動しなければならない人と思う？
肢体不自由者
先天性、後天性で身体に不自由をもっている人
手足がない　歩行が出来ない　目が見えない　音が聞こえない
１人では日常生活が出来にくい。
手・足及び視聴に障害を物つ人

手足、目、耳などが不自由な人　生まれつきの人もいれば、病気や事故、けがなどによって途中からなる人もいる。
体に不自由があり、健常と比較すると出来ない動作がある。
社会の弱者
脳卒中などの病気や事故の後遺症によって身体が不自由になった人
身体障害者といっても、先天的、後天的、一部に日々の生活を送るのが大変な人たちがいます。私の回りにも、◎少し人より劣る人◎病気で社会生活ができなくなった方◎精神障害の方、心の病
声が出ない。
・手足の不自由な方　・耳、目の不自由、行動的にｅｔｃ外観的にはっきりわかる人
身体の機能が健常者と同じには働いていない人。
・脳梗塞等の後遺症で片麻ヒ等がある人・視力障害のある人・聴力障害のある人・四肢の欠損や切断
キンジストロフィー
外見的にみて、不自由な人や、話をして、不自由な人。
知的で少し目に付人、初めて見た時はびっくりしました。話す内に独語がわかりました。
同じ人間に生まれてきて、大変なことと思います。力になってあげたいと思います。
目が見えない、耳が聞こえない、手足が不自由。
手や足などが発達しておらず、自由に動かす事ができない人。
目、耳、言葉の不自由な人　手、足、等、体の不自由な人　ペースメーカー、人工こうもん等、している人
パラリンピックに出場している人　乙武洋匡さんや目が見えないピアニストやバイオリン奏者
からだの一部に、障害があり、日常の生活に、不自由さを感じていると思われる人。（程度により思ってない人もいるかもしれない。）私たちから見ると、苦労されるだろうなぁとか、精神的に、いろんな面で、気を使われるのでは、ないか。など思うところがあります。
体の一部分が都合悪く介護を必要し会話には、支障ない方だと思っています。
身体的な機能に障害がある人、“五体満足”でない人や、視覚・聴覚等身体機能に障害がある人を思いうかべます。脳も身体の一部ですが、身体的な機能にあまり影響がない場合は身体障害のイメージはないです。
身体の一部でも不自由がある人
・自分で用足しが十分できない状態
手足や目、耳など先天的後天的な理由で不自由な人
目が見えない、耳がきこえない、歩けない等の人
車イス、補聴器、目の不十の人が使う棒（白い）、など
・身体の一部の機能が一般の人と同等に動かすことができない人。

車いすの人、補聴器をつけている人等
先天的または後天的に、身体機能が完全ではなく、日常生活において、手助けが必要な人のこと。
生まれながらに身体に障害が有る人　病気の後遺症　ケガの後遺症
普通の人より多少日常生活がこまる人
脳性マヒの人が、スーパーで自分のできることを一生懸命に働らいていた方
・肢体不自由な人・視覚、聴覚、言語に障害のある人
身体に不自由がある人
・事故（コンバイン機）による片腕を切断した人。
体が不自由
手足が不自由な人
一人で社会生活をするに於て、身体に何らかの不都合のある方
身体に障害がある人。目がみえない　耳がきこえない　体の一部が動かない　車椅子等の補助器具を使っている
車いすを使用されている人というイメージ。
五体不満足の乙武さん
車いす。杖などをついて歩行している。
パラリンピックに参加する選手達
身体のどこかしらに異常があり、一般的な生活が送りづらい人。
１．大変だなあ！身体障害にもう少し援助が必要と思う
体が生まれつき不自由な人
生まれつき手足などに障害がある人。
障害には軽度から重度があり、軽度であれば、普通の学校や職場にも行ける様、みんなで助け合う事が必要です。社会で特別視されない様理解し、ボランティア活動が大切です。
・サリドマイド障害（生まれつき）（乙武さん）　・交通事故などにより片足、片腕失った人
わかりません
寝た切りの方、車イス生活の方
・病気やケガなどで、身体の一部を失ったり、機能しなくなった部分がある。・生まれつき、身体の一部がなかったり、機能しない部分がある。
体が不自由　手、足とか話
手足が不自由であること。自分の意思で自身の行動をコントロールできない人。
外見的な障害が浮かびます。歩行困難、目・耳・口の障害等…。
・リハビリが必要な人。・リハビリ後も後遺症の残る人。
身体が自由に動かない。（一部、全部）

生活に支障がある、身体の不自由な方
車イスに乗っている人　義肢を使っている人　パラリンピックに出ている人
身体（体の一部）が、自由がきかない。
手足が不自由で歩行や食事等の日常的行動に、支障がある。
健常者に対し、身体的に障害（不自由）のある人。
身体のどこかに障害があり他の人（道具（車イス）等）の手助けが必要な人
目や耳に障害のある人のこと。白いつえを持っていたり、補聴器をつけている。
１、肢体不自由者（運動・動作等）　２、言語障害者　３、視覚障害者　４、聴覚障害者　５、心臓機能障害者
・産まれつき手・足が不自由な人・交通事故や脳などの病気の後遺症
身体が不自由な人。
目・耳・肢体が不自由な人
体が不自由な方。特に手足。車イスに乗っている方。
私が小学生の頃、学校に２名程在籍していたように思う。当時は小児マヒと聞いていた。身体が思うように動かないようで特に緊張すると顔や言語（ろれつ）に障害があった。知的には問題がなく、成人した頃にお会いした際は会社（有名な企業）に勤務されているとのことでした。
腕や脚が一部なかったり、車いすで生活している人
肢体不自由（手・足がない、動かないなど）　視覚障害　聴覚障害
手足が不自由な人
生活が不自由　一人では生活できない　パラリンピックでがんばっている人
生まれつきもしくは事故等で身体を自身で動かすことができない人
・言語障害・歩行障害・発育（達）障害・盲人
自分本人が思っている事を出来ない事がある。自ら、なりたくてなった障害ではないのに。話が上手く伝わらなかったり。
言語障害、身体障害
手、足が不自由。他人の手を必要とする
身体に障害を持ち日常生活に支障のある方
・生まれた時から身体に障害がある人　・交通事故に遭った人　・脳の障害で半身不随になった人
・車イスに乗っている人　・白いツエを持っている人
・体に不自由を持っている人　特に、耳が聴こえず、手話で会をしたり、車いすで生活する人。また、目が見えない人など
身体のどこかの部分に障害があり、健常者とは違う。心は（会話などの意思疎通）は、健常者とは、なんら変わりない。もし、街で、身体に障害のある方が困っていたら、ご本人の気持ちを傷つけない様に、接しようと思っている。

いとこに生れながらの身体障害で７才まで生きられないと医者にいわれていましたが、家族、親戚のささえで５７才まで生きました。友人に今も寝たきりで、首から下は動かない重度の障害を持った人がいます。最近目と口でパソコンを動かしていますが、神経が再生されるよう祈っています。
体の一部が不自由な人
知能はしっかりしているが、体に不自由な部分がある。先天的あるいは後天的な理由によるもの。時には、知的障害がでる事もある。手足がない、自由に動かない。
からだが不自由な人、たとえば１人で歩くことができない車イスにのっている人など。弱視とか、耳がきこえない人。
歩行ができず車イスに乗っている人　梗塞等で片マヒになった人等
生れつき、または疾病、外傷により身体に障害を有する者です。
人並の生活を送るのに支障がある方。
健常者と同じ、特別な感情はもたないが、きのどくと思う。
足に障害があって杖などを使用している人　盲目で盲導犬などを供にしている人
目、耳、手足が不自由な人
ヘレンケラー　野口英雄
小児麻痺
かわいそう
大変だと思う　なるべく普通の人と一しょな生活をしてほしい。
五体満足でなく、どこかに障害がある方。手足が不自由であったり、（又は無かったり）、半身ふずいの方も　一人では生活が困難で、助けがいる方。
手足が不自由な方、目や耳が不自由な方。
目が見えない　耳が聞こえない　体の一部障がある
手足不自由
自身の身体の一部又は全てがない又は、その機能が使えない状態にある人。例：指がない、手がない、足がない、目が、見えない、耳がきこえない等
身体的に不自由な人、精神的に障害のある人
足の不自由な人
視覚、聴覚の障害　四肢のマヒ、欠損
足が極度に短い。
手・足・動かせない伸ばせない曲られない　視聴覚全く聞こえないか見えない少々聞こえないか見えない
手足の不自由な人
生まれつき、体が不自由な人　上手に歩けない、五体満足でない　病気や事故で体が不自由になった人

ダウン症の方を見てきました。小学生から成人まで近くに生活しておりました。親は大変でした。（普通教室で学んでおりました。）
身体障害とは後天的または先天的な理由で身体機能の一部に障害を生じている人。
五体不まん足　ヘレンケラー
身体の動きが不自由で生活に障害を及ぼす人
身体が不自由
手足が不自由な方
・体のどこかに自分では自由に動かせない所がある。・生まれた時に体に障害があって生まれた方。
車イス（歩行困難）身の回りの事で自分でできないものがある。
脳血管障害による後遺症で、麻痺があり日常生活に支障を来たしている。脊椎損傷や外傷により運動障害がある。視覚・聴覚障害により、日常生活に支障をきたしている方。心臓疾患で日常生活に支障のある場合、認定がある。
病気、遺伝によって体が不自由になり、社会で働いている人との差がでてしまう人の事ではないかと思います。
乙武洋匡さん
生まれつき五体に満足と言えない、未発達部分があったり、ケガや事故により、神経のマヒや、骨折にて、体の一部が可動しなくなった方。
手、足、目、耳といった身体の機能で不自由なところがある方。
手や足が不自由で日常生活に支援の必要な人
体が不自由な人、日常生活が困難な人
・車いすに乗っている人・義足、義手の人・人工関節を使用している人
車椅子の人や、手足が動かない人。
先天性、事故などによって体に障害のある人
目に見える部位に障害がある
足の不自由な方
五体満足ではない。歩くことが出来ない。
普通の人と同じ様には動けない、不自由がある方。
思考能力や会話などは問題ないが、生まれつき、もしくは事故などにより体に不自由がある人。
足が不自由など身体のどこかが不自由である。
体が不自由（手足などが不自由）歩行が困難
身体が不自由な方
足・手の不自由な方
言葉がしゃべれない人
歩行、食事等でスムーズに動かす事が出来ない

義手、義足、車イスなど補助が必要な人
身体に障害を持っている人　例えば、手足が不自由な人　目が見えない人　耳が聞こえない人　手や足が病気やけがでない人
手足が欠損している人。視聴覚に異常がある人。車いすに乗っている。白杖を持っている
身体の不自由（手・足が使えない）な方　盲目、耳が不自由など
障害をタテにして生きぬいている人達
手・足・目・耳の不自由な人
気毒に思う
生まれつき脳性まひで生まれて身体障害になったり事故がもとで身体障害になる方もいる体が不自由な状態だと思います。
生まれつきか事故などで体の不自由な人
車イスに乗っていたりしていて、歩行等が困難な人や体の一部が欠損している人、重度の心臓病等の人。
自閉症＝対人との接点がない（変わり会話が出来ない。）
目が見えなかったり、耳が聞こえなかったり、口がきけなかったり、歩けなかったり…身体のどこかに障害がある方
よくわかりませんが、染色体異常とか突然変異ではないでしょうか。
先天性、もしくは病気やケガ等の後遺症で介助が必要な方。
不自由な身体、もし接することがあれば障害を補う
目が見えない人や耳がきこえない人。あるいは歩くのが困難など、動作に何かむずかしい事がある人のこと。
ダウン症や自閉症の子たちを思い浮かべます。
足や手等体の一部が不自由な方
何らかの理由で身体が自由に動かすことができない様子
先天性、後天性があり、障害の質も変ります。私の息子は先天性身体障害を持ち、内・外での介護は大変です。
小児マヒや、耳が聞こえない、目が見えない等
頭ではなく体のどこかが悪い人
手、足、目、耳の不自由な人
・手や足にマヒがあったり、動かなくて歩行困難な方。・歩行ができず車イス生活を送っている方
・手や足などに欠損とか動かない状態の有る方・目が見えない、耳が聞こえない、声が出ないなどの状態に有る方
車イス利用　視覚障害　聴覚障害
生まれつき又は事故等で体の一部に障害をもち日常生活が困難で介助が必要な人。

身体、手足が不自由、五感の一部欠損、生まれつき体の一部が不足もしくは、事故等による欠損、そのような事を身体にかかえる人。
身体が不自由な方。他の人の手助けが必要な方。
視力、聴力に障害がある。体の一部に障害があり、歩行や生活が困難など
身体のどこかが不自由な方
手や足、身体が自身で思うように動かせない。
身体に障害があり、生活に不自由な人
生れつきとけが・病気で障害がある方
半身麻痺、聴覚・視覚障害等の人
車椅子での生活を余儀なくされている方
五体のどこかに不自由なことがある人。
身体に不自由があり、動かすことができない。もしくは欠損がある
四肢や内臓などに日常生活に支障のある障害のある方
乙武さんのような先天性四肢欠損や不慮の事故等で身体不自由になった人。知的障害は無い人。
生れつき、精神的、身体的に発達が遅れた方々、事故等により、障害を有した方。
私の父、心臓バイパス手術
身体を動かす機能に障害が有り不自由で有る
身体障害者、本人もたいへんだが家族も何かとたいへん大きくなるにつれて、本人も、自分がまわりの人と、どこか、ちがうと感じる様な年になれば又、精神的にショックが大きく親もたいへん
車イス使用者　視覚障害で白つえ使用者　歩行困難（四肢障害）　聴覚障害
車イス
手足が不自由、言葉がききとりにくい
足や手を無くしたアスリート
体の一部分に障害が有る。車イス、義足、盲目、耳が聞えない。
五体満足ではない人
・身体の不自由な人で何らかの障害を持っている。車イスに乗っている人
いろいろな動作に支障のある人。（身体的に不自由なことで）
ケガや病気などで、自分の事を、自分一人でする事ができない方
日常生活において、常に手助けが必要。
生まれつきや事故、病気などで身体に障害を持つ方。自分の力だけでは生活が困難な方。
ストーマ（人工肛門）の患者様と関わることが多いのでストーマ造設している方のことを思い浮かべます。
身体に、生活（日常・社会）や運動等に不都合な所がある方

身体の一部の機能に問題があって、本来の動きや、働きを果たせていない人。肢体不自由　知的障害　発達障害
脳・目・耳・手・足が、不自由な事。
体が不自由で、日常生活において、介助を要する。
目が見えない　足が１本ない　車いすに乗っている
自分ひとりでは生活するのが困難で何らかの支援を必要とする。
事故（交通事故）等にあわれた方。病気等にて身体に障害が生じた（残った）方。
手・足等が不自由
身体機能の一部に障害がある。手や、足がない。正常に手足が動かない。目が見えない。耳が聞こえないなど
生活するうえで、いろいろ大変
四肢に不具合のある方、円滑な日常生活を送る事に支障が出る方
身体的に不自由で、他者のサポート等がないと歩行等が困難な方
手足が使えない人
生まれつき、又は、後天的に体の機能又は部分に欠落、欠陥がある。
行動するには、健丈者による手助けが必要となる方！！
身体の一部に障害がある。
歩く時の足の不自由な方。目、耳、不自由な人。口のきけない人。
よくわかりません
他の人の手助けが必要とされる人
身体、不自由な人。身体に障害のある人。
心ぞうがわるくてペースメーカーを入れている人　手足を事故などで、片方うしなったりする人
ろうあ者
四肢欠損などの見た目の異常。視覚・聴力などの低下
足が不自由な方。寝たきりの方
・車椅子を使用している
日常生活において、健常な人達と同様な生活を送るのに支障をきたす人　障害を線引きすることは固人的に困難なことですが、細いな行為においても、そのことが難しいのであれば、多少なりとも、障害があるのではと考えます。
生活上の困難
身体の一部に障害がある人の事。生まれつきの障害・事故での障害で、身体の一部に不自由がある人の事。
耳が聞こえない人や目が見えない人、車イスの人など
身体に障害がある人。歩けない、腕が思うように動かない等。

不自由な体なので、車いすのイメージ
手、足がない方など
生活に障害があり１名では、生活出来ない人
生活する事が難しい、又は助けが必要。
生まれもってや、事故等で身体が不自由な状態になったこと。
家族がたいへんだと思います。我が子がもしくは、親がだったら、どうせっしていいか知しきをえなくては、だめだと思います。
体のどこかに不自由のある人
・人生素直に生きて行けないだろうな？・何が楽しみなのかと思います
身体に不自由な所の有る方と思います
車いす生活を余儀なくされている人　義手、義足の人など
車イス等の、補助器具を使っている人
疾病や事故で外傷が生じてしまい、損傷が残ってしまった人。
手足の不自由な人

問１３　白山市の人びとに対して、障害ある人への理解を広めるために、どのような方法が有効だと思いますか。以下にご自由にご記入下さい。

障害といってもその程度に色々差が有ると思われるのでどういった支援が良いかは分かりません
身体障害に関しては障害のある人というより、歩道や階段など、ユニバーサルデザインを取り入れて誰でも歩きやすいよう整備すればよい。知的等の障害者の理解はどうやったら広まりますかね。完全に理解することは無理だと思います。いろいろな場所で交流を行って障害を知ってもらうところからだと思います。何も知らない人はどのように接していいかわからず、さけたくなるということもあるかもしれません
市の積極的な啓発活動
障害を差別として見ないで欲しいから市民との交流を深める行事や理解してもらえるために講演や座談会などで現状や問題点など十分見たり、話したりする方策を考える。
ふだん障害のある人達と出合ったり、直接話しをするきかいがないので、誰でもきがるに出合えるような場や、お話しなどをするきかいがあればと思います。
過剰な親切や同情をやめること。彼らの苦悩に鑑みて、こちらの方こそ負い目をもって接すること。
子供達は学校で障害のある人を理解出来るような教育が少しあるようですが、もう少し時間数を増やし、ふれ合える時間があるといいと思う。大人はもっと理解出来るチャンスがあればいいのにと思います。職場での教育をし、もっと障害がある人を受け入れていくべきだと思います。
障害のある親に聞いた話だと、金沢まで通学しているのですが、毎日親が送り迎えしているそうです。私達は、山の方で生活しているのでバスをツルギまで迎えにきてほしいけれどもだめだったと言っていました“やはり少数しかいないので私の意見は通らなかったと話していました。行政はどのようにして耳をかたむけてくれるのか？”市議会議員にたのんでもだめだったと話していました。
雇用の創出、作業所の設置
身近かに障害をもった人がいないので、具体的に理解していない。ＴＶ番組等で紹介するとか障害のある人が出てくる映画・ドラマ等で知るのが最もわかりやすいのでは…。
障害者が勤労意識が有り又そうしなければならない方々の為にも程度による支援施設等整備して行くことも必要で有ると思われます。
小中学校の授業の中で障害者に対する理解を深める教育をきちんとしていく事だと思います。
子供の学校（なかよしクラス）の生徒さんの保護者さんからお話を聴いたりするとよく分かると思いますが、身近にいないと深く考えないかもしれません。
障害ある人でも働くことができるということを知ってあげる　個人個人能力に差はあるができる人もいるということを知ってほしい
障害ある人とふれあう場や講演会等がもっと多くあればよいと思います。私個人として障害ある人に積極的に関わる自信がないのですが、関係ある人からボランティアとして頼まれれば、都合が悪くない限り引き受けたいと思っています。
障害のある人の親の切実なお話を聞ける場をつくる　幼児から小学校～子、親に対して伝える機会をふやす。授業や講演、研修をうけ、身近な人のお話をきくことで大変さや対応のしかたもわかるが、それまでの障害者に対するイメージや、接した印象は私自身もかえられない
・各障害に関する正確な知識がない為、知らない為、各障害かどのような状態のことを言うのか、どのような障害がある為そうなってしまっているのかをまず周知させる（文字だとわからないのでマンガのようにわかりやすくする。）・学校での専門、有識者の方の講演会・大きなイベント（なんでもいいと思います。食とか、子ども関係、健康とか）とのコラボとにかく、多くの人に聞いてもらう為、人が多く集まった時、所で少しでも聞いてもらう。・有名人と一緒に交流してもらう等して、話題をつくり興味をもたせ、少しでも理解してもらう。・白山市長や白山市役所、公務員の人が率先したイベントをして理解を広める。

・まず、白山市に対象になる方が何人位いるのか？・企業にすでに働いている方が何人位いるか？

現在、白山市及び障害者施設等で行われている事業で理解は、広められていると思います。ただ、感心も持って積極的に参加する人が少ないように思います。

ポスターなどつねに目にはいるとか　忘れてしまうこともあったりするから。

思いつかない。

著名人の講演会（乙武洋匡氏等）は沢山の人々を集めて理解を広げるには一番だと思うが、一般の人、御家族を含めて体験談等を聞く機会も設ければよいと思う。

ニュースなどを見ていろいろ考える事もあるがこれといってよい考えが浮かばない。

地域ごとの公民館などで講師の方をまねいてお話しいただくのがいいと思います。前に、消防士の方や、いろんな方をまねいてお話しを聞く機会があったのですが、会場がせまいとよく話も聞こえて、話の内容も理解しやすかったです。

各地域での取り組みを行ったらどうか。公民館主催の行事や意識調査をもとに、地域の中での障害者への理解を深めることが大切である。できれば、各町内会長のみや地域の有力者のみを動員するものでなく全家庭への働きかけが必要だと思う。

障害のある人に多くの施設を作る。

あまり問題化しない方が良いと思う（騒ぎたてない）特別扱いしない方が良い

広報やマスコミの活用　行政主導で、イベント等の開催を通じて地域住民との交流。小学生や中学生にボランティア活動の参加をギム付ける

健丈者と一緒に働いている人々の広報活動

障害を持たれている方々が、いかに社会に関わってかつ活役されているかが分かるような招介する機会が必要であると考えます。

社会体育大会や、クリーン作戦等市の行事への積極的参加。懸命に生きる姿を見てもらう機会を多くする。公報や回覧などで関係行事を告知する。

現在の広報方法を知らないので、理解からがスタートとかなぁ！！

私の家族は障害者ですが、白山市に住んでいないのでお答えのし様がありません。

学校の頃より、特別学級もあり、昔に比べたら関わりがあると思う

機会がある事に講演会をしてほしい

施設と環境が必要だと思います。

障害者主催のイベント−交流。

実際に障害のある人に関わらないと理解はむずかしいと思うので、障害のある人に会って話して、関わる場を持つ機会を作るのはどうでしょう。

“白山広報”に障害者の理解を得る為、毎月コーナを設置し市民に障害者の理解を求める。

職域を増やす事　偏見を取りのぞくように意識改革に努める事　障害者に対するマナーを普及する事。

障害者個人の自由ですが施設に入所するなり家族の世話になる

暇が有ればそういう人々に会う。交流があっても良いかなと思います。障害のある人達の発表会などがあればそこに行って交流すると少しは理解するようになると思います。

身近に障害のある人がいないかもしれないが、市民へチラシなどを配り、助け合いの気持ちを持つように気付かせるべき。

市の単位では無理。国や自治体が意識改革を行うべき。日本よりも障害者を社会に組み込むシステムが進んでいる。欧米等のモデルを研究すべき。

広報活動

施設の見学等（バザーに参加）出向く

学業にも学ぶ時間を取り入れる。ボランティア活動を増やす。

いやがらずに日頃近所の人に接して上げることが大切。何か困った事が多いと思うがたのまれたら協力してやる。

障害のある人とコミュニケーションがとれるイベントをたくさんする。一般の方と一緒に活動できるような運動会やお祭りなど…

障害の名前がいくらわかっても、人それぞれ個性があるように同じ障害でも個人、個人で全く異なる。まずは同じ社会に共存し、世間の目からかくしたりせずに生活すること。また、病院等以外での障害名にこだわりすぎる、教育、保育はもう一度、みなおす必要があるように思う。

障害のある人の意見を聞いた上ではあるが、各種自治体に協力してもらい、色々なイベント、活動の中に参加していく様にまた、参加しやすい様にする。障害のある人、団体が主催とすると壁が出来てしまうと思う。普通のイベント、活動の中に、自然と参加している様な型ならば、交流の場が広がるのではないかと思う

身近なところに問題がない限り、人はそのことに無関心でいるものだと思います。障害のある人が日常生活の中で関わることがない限り問題意識をもって考えていくのはむずかしいのではないでしょうか。大阪や京都のデパートで車いすの方をよく見かけます。そうできるのは気候や都市構造がそうしやすい環境であることもひとつでしょう。白山市にそれを求めるのはできないでしょうから、有効な方法はなかなかないと思います。

市が積極的に支援すべき

障害のある方がもっと地域行事に参加してほしい。家族がもっとつれ出すことで、地域の人もその人が自分の近くに住んでいると知ることができるし、健常者は障害はお互い様（だれでも障害者になる可能性はあるので）という気持ちをもっと自然に持つべきだと思う

皆さん１人１人がより障害者に対する知識を勉強して良い理解者になれる様にやさしい心を持てるとお互い通じ合えるのではと思います。しかし会館公民館に講演会があってもほとんど役員や何らかの関連のある方は参加されますが足がなかったりすると出向きません。やはり公報等でわかりやすく読みやすい様に１人でも多くの人に見てもらえる様何かで伝える。

・ふれ合いの場があるとよい（イベントでも）・以前にくらべて、障害者も地域に出る人達が目立つようになった気がする。普通に接することが良いのでは？（保育所や学校でもいっしょに活動しているので）・パラリンピック（ＴＶ）などで前よりも見近かに感じるようになっているとも思う。

少しでも何か出来る事をしていく事だと思う。

自分の身を感謝して障害のある人を慈しみ、少しでも助けになるように心がけたい

広報等で少しずつでも良いから毎月情報を知らせる。

わからない

無理のない範囲で、小さいうち、例えば小学生くらいから、教育に取り入れていく。差別がいけないことやどうしたらよいか考えさせたり、実際そうした人々との交流があれば良いのではないか？

どしどし職場とか、リクレーションとかに一諸に参加する様にすれば良い。

福祉フェスティバルの様な事を年に２回くらいする。私はそのフェスティバルやバザーなどで、障害のある方の活動を知りました。

障害は身体の中のある部分が好むと好まざる如くに病気になり、障害として残ったもので本人の苦しみはいかに大変なとか、好きで病気になったのではありません。健常者は、自分の健康を幸いとし、異状者としてみないで、助けてあげられる様に気をくばれる心を常に持っていれば差別することのない、皆かつ幸せになれる社会になると思います。

良くわからない。健常者がもっと障害者の側に近ずくべきだと思うが、方法が解らない。

白山市として積極的に雇用するとか支援策を行うこと。

パンフレットをくばったり、家庭訪問したりする。

障害の方々と交流する場所を広報などで案内する　ローカルＴＶなどで情報を流す。大型ショッピングセンターで交流会などする

講演等への市民へ周知および参加しやすさ

小・中学校での障害のある人からの講演会　どうしてそうなったのか、それによって心の変化や、現在、前向きに生きている事　その為に周りの人達の協力がどれだけ必要か…など　例えばスポーツで、車イスでテニスをしている人等に話をしてもらう。

学校の授業で、障害ある人たちが不自由や病気・痛み、理解されない苦労をしいられている現状を知ってもらう。生活の中で手助け出来る事や、障害ある人たちのために公共の場での点字の意味、バリアフリーの使用方法を教える。

すべての人は、平等であるという意識づけが必要

積極的に町内のイベントや行事に参加して、皆で助けあったり、協力しあう場を持ってはどうかと思います。
問７にも書きましたが、娘は見た目障害者だとわかりません。重い物を持ったり長く歩く事ができません。障害者用の駐車スペースに車を止めて注意されたり、私が荷物を持ってやったり、車イスを押したりしていると、「気の毒に」いう視線を感じました。当事者以外の人に理解してもらうのは難かしいです。
書物、ご自身がアスペルガー症候群だという方のかかれた書物には、その方の感じ方等が書かれていた。思いもよらぬ感じ方をしていて、考えさせられました。
役所とかスーパーとか人の集まる場所への雇用をもっとふやす
・道徳（中学校）の時間に障害のある人への接し方等を取り入れる。・障害のある人を隔離したり、特別扱いをするようなボランティア活動には参加しにくい。遠くから支援する、見守るやり方ができないか？
・学校教育に取り入れる・婦人会、老人会等で勉強会を企画する・民生委員さんの教育にも力を入れる
行政において、問８の各支援法を市民に理解するように広めて欲しい。
障害のある人に関する公報活動をもっと多くすべきだと思います。あまり、目に入ってきません。
認識が低い（当方も）→メディヤ・紙面　どうしたらよいか知るかされも無知→場がない
私の場合、年に一度のバザーには必ず参加しています。その日一日は全て忘れて障害者のことを考えてみる日に当てています。
ミニバザー　カフェ
障害がある人に対してのという考え方がある以上差別、偏見はなくならないと思う。いわゆる障害者を雇い入れる事で中小企業、零細企業は、いくばくかの見返り的に受取る、名目は解らないが金銭的な流れはいかがなのか？
イベント等を通して知ってもらう　ＮＨＫ教育テレビだけでなく民放で取りあげてもらうことは無理なのでしょうか？
障害者の集会が何時、どこにあるかまったく知らないもっと告知する町内回覧板など。古い建物（体育館）などはバリアフリー化障害者トイレ設置が遅れている。
小学校の頃から定期的に交流会を行う。どう接していいか分からないので。
障害のある人のインターン（現在就活生が行っているような職場体験プラス勉強会受け入れ企業は広報で紹介。または何らかのポイントをつける等の特典がある。１企業、年間１人１週間受け入れ等、スローガンと、結果の公表で身近な話題となるよう続ける。
・あさがおテレビ等で取材した番組を製作し、放映する・公報で特集する（紹介する）
わからない
隠したりする風潮がまだ残っている気がするので、もっとオープンにしていくことが大切。ただ、その時に「下に見て助ける」という空気を作るのではなく「対等に見ており必要な部分だけ補助する」ようにできるといい。
一般的に障害のある人に何かしてあげたい、何かしなければいけないという意識はみなさんあると思うが、むずかしい障害の名前や制度・法律を理解させるのではなく、かえってそれがハードルを上げているのではないかと思います。実際障害のある人に出会った時に具体的にどうすればいいかどうしたらいけないかがわかりやすい読み物や小冊子があるといいかなと思います。講演やボランティア活動でさえ理解のない人にとっては縁遠い気がします。
ボランティアへの参加情報を市民に分りやすく且つ頻度を多くして集る。
小学校や中学校の授業で手話をしたりして、気持ちを理解する話し合いなどがあるといいと思います。
地域住民の理解、ご近所の方々の気配りがよいのでは
・学校へボランティア活動のよびかけ　・地域・学校で積極的にこう演する
分かりません。
色々な障害、個々を助ける為に相談員を増し、個人をしっかり導びく為のレールを引いて、助ける国の機関がもっと必要

障害はひとつの個性である事を認知してもらうため、幼児期より、積極的に関われる環境の整備。
ボランティア活動の促進
わからない
若い方の障害、又は老年の障害と対応は違うと思いますが地域に応じ話合が必要ではと思います。
地方（白山独自）のＴＶ放送で流したり冊子を配布する。
・障害者に対するへんけい。学校教育の中に幼少からの教育が大事だと思われます。
市民行事に参加している様子しか見ない。
小・中・高校からの教育が必要。
障害のある人の働きやすい職場や施設を整える
色々なイベントに障害ある人も自由に参加できる様皆で考える事が必要
支援グループの催し物などある時に回覧板などで知らせる（ボランティア等募る時など）
障がいに対する認識不足が理解の妨げになっている。一人ひとりの意識改革が必要。積極的に参加できる環境づくり、や、情報発信。企業、学校の障がい施設の学習・体験研修の必須。
障害のある方にはどんどん町へ出て来て頂いて白山市民全員でできるフェスティバルだったり運動だったりイベントを通して関わりをもつ
小・中学校などから授業、講演などをして理解を広める。
直接会って話す
目をそらさないようにする
広報紙の利用　回覧の利用
パラリンピック
どの様な障害がある人がいるか、知らせる様なことが必要である。
・幼稚園からの障害のある人との学習や遊びが出来る環境整備が必要だと思います。
小学校、幼稚園を通したイベント事
フェスティバルなどイベントを頻ぱんに行う。
地域の方に、施設等に来てもらう機会をもっと増やした方がいいのでは？
方法が思いうかばない。
白山市や地元企業にて障害者への働く場所を設けることにより接触機会を増やし理解を得るようにする。また、小中学校にて障害者と過ごす時間を少し設けてはどうだろうか。
囲りの人が明かるく見守って差別のないだれにでもやさしく思いやりのある人々がたくさん増える様な市政に
障害を持った人達との交流ができる。イベントや、スポーツなどの場所を作る。
障害者共働く場所が必要
企業全対国がもっともっと力を入れるべき事と思う　障害があれば、すべての面で一になるため
例えば広報等のページを利用してみるなど
テレビ番組にする
障害者とふれあう事があればよいと思う。
保育所・小学校・中学校が積極的に障害のある子供達を受け入れること。子供の時から近くで接していれば、偏見がなくなり理解が深まると思う（保護者の方々にも）
回覧板で、その障害の症状を説明した文面を記する事によって、地域の中で理解出来き、対応する事が出来ると思います。
自分自身障害のある人との関わりがない為、関心をもつことが大事かなと思いました。
ボランティアの活動など広報に載せ、同時にボランティア募集や講演のお知らせを大きめに出す。

市、公民館及び各種団体えの啓蒙運動により理解をもとめる。

ボランティアで少し顔見知りになっても施設の方で「町中で会っても声かけたり、どこそこの施設で会ったネと云わないでネ」とプライバシーがあるからと言われ不快な気分になったことがありそれから参加しなくなりました。又、相談に行った時その人が不便と感じなかったらそれで良いのではと云われ自分の思い上りかと気持がヘシ折られたこともあったので答えはむずかしい！！

障害のある方にとって職場・環境など、改善していかないといけないのではないかと思いますが、実際白山市の予算とかで、そこまで、整備できてないのが現実だと思います。市がもう少し障害に目をむけていくことからだと思います。でも、市も他の問題もあることだと思うので一概には、言えませんが…私たち一人一人が、何か出来ることがあるなら、やっていかないといけないと思います。

障害のある方の雇用機会を増やし、地域社会との交流を増やす事

多くいくらかのイベントを組織して、彼らにうれしくて、楽しみをさせる。

コンビニをふやす

税金をどれだけ投入しどれだけ意味があったか知らせる。

地域で、差別をしない様、事細かに町内会などでも市の方から、話に来るべき。

公共の場での障害者主さいのバザーなどのイベント

広報等で１回で終わることなく連さいで「問６、問８」などわかりやすく掲さい。

健常者とのつながりの場をもっと多く持った方が、ふれ合いが多くさん出来ると思う

白山市の人々というふうに限定するのは難しいです。広くということなら、Ｉｒｉｓ　Ｇｒａｃｅさんのような活動はお手本になるかもとは思います。

社会体育運動会などで交流の場を作ればいい

そういった人が身近にいるのが、あたりまえであるという必要がないと、理解もなにもおきてこないと思う。カクリするのはいけないと思う。

我々の方からあいさつする（笑顔で）　我々の方から積極的にボランティア活動をする

市のレベルでは、障害のある人への理解を広めることは不可能。世の中の“価値感”や“成果能力主義”がある以上、あくまでも「障害者」は、健常者と同じ土俵で競い合えない。どうしても埋まらない“差”があることには理解を得ることができても、それは健常者から見た主観に基くもので、障害者のできないこと（健常者との差）を、個性として生かすことができる「社会」ではない。この問を考えた人は、「障害のある人への理解を広める」ことの次のビジョンはあるのか！！

・障害者と、ふれあう機会多くすること（イベント等）

公共の場に於いて積極的に障害者スペースを用けたりする事が有効だと思う。

交流会　学習会　就労支援

各家庭に障がい者への理解、障がいのある人と向きあうマニュアル等を配布する

身内に障害のある人がいないと、なかなか理解できない。小学校から理解してもらう様な教育が必要だと思う

広報や地区の回覧板等で読んでもらうのが良いと思います。

こまっている方がいたら手をさしのべてあげればよいと思う心がける

舞台化、絵本など。それぞれの立場でしか知りえないので、心情や情況が目や心に訴えるもの。

・障害者と健常者との交流。最初は、違和感があっても、お互い慣れてくれば、良く理解も、出来るのでは。

交流の場があれば参加させていただく

障がいの方の親ぞくや、よくそれについて知っている人が講演会などを行い、呼びかける。

広報などチラシ配布

障害者の方が、いろいろ作った物を紹介したり、展示したりして、交流を深める。

有効かどうかと云えるか分りませんが、存在を知り何が出来るかと考える事から初める事の必要性。

障害のある人がメディアに出演するなどして、興味をもってもらう。毎日メディアで見かけることで、障害のある人の日常などについて考えるようになる。また障害ある人と同じハンデを背負う体験をして、同じ目線になって、より理解できるようにする。

障害のある方と健常者との交流の場

障害に対しての、本などの、配布

回覧版に刷紙をつけて見てもらう。テレビを通して（ドラマなど）知ってもらう。

市全体で考えるとむずかしいと思うが、個々の地区で施設のバザーなどや行事に気軽に行けるよう、又、行事の案内や知人を誘うなど関りを持っている人達から少しずつ機会を作ってもらえたらと思う。何かしたいと思う人達もいると思うがきっかけがないのでは？

職場を増やす。

市や関係団体等が地域に対する広報（支援活動の必要性等）

市民フォーラムの開催　金城大学という、福祉大学をもっと利用する。→社会貢献の一つとして、市民向けシンポジュウムを企画。地域交流事業-企画。

各機関や事業所で医師等が講演を行なう。

１広報を通じて、訓細に発信していく。２アンケート調査を定期的に実施して個人、個人の意識を高める。

北鉄の駅の段差に何か対策をすると良いかと。

必要な器具は無料。医者は、損得なし。ボランティア、又は、格安料金。国の補助で至福をこやさず、自腹で。

障害者の雇用を促進する。

バリアフリーに重点を置き、障害が特別ではない町づくりが良いと思う。

学園祭などがあると思うのですが、聞こえてこないので、そうゆう事も大だい的に、知らせる、必要があると思う

幼稚園や保育所が、障害のある子供を積極的に受け入れることが大切。小さな時から、そういう子供と分け隔てなく接している健常児は、生涯にわたって、障害児や人を差別のない眼で見ることができるだろうから。

障害と云ってもこんなに多くあると云うことをみなさんに知っていただく事が大切かと思います

障害をもたない人が、様々な障害についての特性をもっと理解するための機会を増やすことで偏見をなくすことが必要である。また障害ある人が社会参加できる場を作り、交流する（接点を持つ）ことが必要である

幼稚園、小学校時代より、一緒に遊んだり、学んだりできる制度を通して、幼ないころより、自然に、これも一つの個性なのだといろいろな人が、いてあたり前と思えるように、していくべき。

国の福祉対策が関心と思う。

「問１０」にあるような障害のある人のためのボランティア活動に関わりたいと思っても情報の入手が出来ません。広報「はくさん」に載せて頂きたいです。

（文化祭）学園祭みたいなイベントをしたらいいと思います。→食に関するイベント　野菜の販売（自家菜園）味噌やジャム等、クッキ等の販売

具体的には、わかりません。

・スポーツの大会。・販売のイベント（学校の文化祭のような…）

障害を持つ人と健常者が一緒に活動できる場を設定し、広く知らせていく。公的な場（ｅｘ．市役所、博物館…）で働く人達を増やし障害を持っていても生き生きと働いている姿が見られること。

わからない

広報誌への紹介記事を載せる。施設の概要や行っている行事などを記入。募集ボランティアを広報に載せる（バザー、収護祭などの共同企画）

わからない。

軽スポーツに健常者と同時に参加して交流を深める

へんけんをもたないためにさまざまな障害を知るのは大切。目で見える障害以外は、障害のある人に、教えてもらいたい。

色々な法があるなら広く伝え、障害にも色々あると思いますが表に出てほしいです。法律が整備されているならそれらを有効かつ最大に使ってほしい。

良く分らない

障がいのある人々が、内にこもらず外に出て活動できるような町づくりをすること。人びとが障がい者に対する独特な目線をとりのぞけるようにすること。障がいについて広く知ってもらえるように番組なり広報なり冊子なりを作ること。見てもらうこと。

障害ある人の活動のメリット、成功例をアピールする場をもうける

行事に一緒に参加できるような機会があればいいと思う。

障害のある方が積極的に参加できる様なサロンの様な場があるとよい

・交流の場があればと思う。・第３者にも、色々な障害があることを理解・受容してほしい。

ボランティア等に参加しやすく、又場があったらいいと思います。

わかりません　深く考えた事はありません

今まで考えた事がありませんでしたが広報とかに載せるとかはどうでしょう。

有効な方法などない。障害のある人との関わりがない人にとって、理解する以前に関心が少ない。一見して障害があるかないかを判断するすべはないし、知識も無い。「障害のある人」とは何ぞや。ということを広く知ってもらうことが先決。

雇用機会の提供。

問１１−１問１０−５）の自分だから、ご免なさい。

ふれ合う機会があれば、いいかなと思います。

障害者の場合、事故に遭う割合は健常者より高い。設問の点に留意する必要がある。回復リハビリ向上、専門医と介護職が重要　人間的なケアで日々幸せと思えるように…！

・互いに出会う機会、交流する機会をふやす。・その立場にならないと気づきもしないことが多いので、困っていることなどを講演？（学習会を開く）する。

・障害のある人の作業場の案内、活動の啓発。・障害のある人が働くお店をつくる。

広く一般の人々が、知り、見て、聞くことが出来る場、時をもうけること。

同じ場で交流したり子どもたちのすごす場所（広場や保育所幼稚園）での交わりを持つ

白山市は田舎です。昔気質の人が多いようです。私しの主人もの一人でかも。市・県もあげて、障害者一人一人の気持になって上げることなのでは。一口で障害者とゆわないで一人、一人ちがいます。

・子供の時からの関りが良いと思う。子供（現在２８才）が保〜中学まで、クラスに居たのであまり、偏見がないのだが、私（親）の育った時は、学校からちがっていたので、偏見はないが不思議な感覚が有る。地域で、見守る必要がいると思う。

学校（学生）への周知活動

ボランティア活動や講演等は中々行きにくいので、関心のない人達も気軽に参加できるようなコミュニケーションの場があれば良いと思います。

障害ある人と接する機会をもうけるのが一番、理解できると思う。働く場所、企業を多く整備する。子供は、学校で、差別なく学習できる環境がＢＥＳＴだと思う。

広報にのせる

簡単なボランティア活動やお年より達とコミニュケーションの場をもったり、子供達とも、ふれ合い、歌ったり、踊ったり、積極的に、参加させてほしい。特に、困っている人のために、協力、お手伝い等、いろいろ、役に立つ事があるので、互いに助け合っての精神で、もっと行動を起こしてほしいと思う。

障害の個個に合わせたやり方が必要だと思います。人との対応がこれ位まで出来ますと言う情報をパンフでもよろしいので配布すれば接し方できるではないでしょうか。

・職場の中での研修や雇用によって理解が深まるのではないか・ケーブルテレビ、公報等に実例をあげての活動→（心を耕す内容のものを広く深く）食べものと笑いを受けるための番組ばかりのように思える

障害のある本人だけでなく、その家族とも、もっと直に触れてほしいと思います。小学生の頃、知的障害がある子のお母さんを見たときに、当たり前のことなのですが、「彼にも私たちと同じようにお父さんとお母さん…家族がいるのだ。」と、ハッとさせられました。その時に、何か特別な、キャラクターのように見えていた彼が、一人の、世の中のただの一員なのだと思いました。そして、自分も全く同じだと思い恥ずかしく感じたことを覚えています。私は出産後数年と子どもの頃が１番感受性が豊で、頭も柔かかった気がします。その時間に当たり前のように障害のある人と同じ空間を共有することで、課題は問題ではないと感じるようになってきました。最初抵抗があっても必ず慣れていくと思っています。できる限り共存しているということを肌で感じてもらうには、区別は最小限に抑えた方がよいのでは、と思います。エンターテイメントとして興味を持ってもらうことから始めるなら、無責任かもしれませんが、地元で“自立を支援している姿”をドラマの様にしてみてはどうでしょうか。見てみたい気もします。

障害のある人との交流の場をもつ

ボランティア活動の義務化

・よくわからないが・フェスティバル、イベントに必ず障害ある人に参加してもらい交流を深める。・障害ある人の施設があるのなら、その施設を使ったイベント等の開催。しかし周囲の強力な理解と支援が必要でしょう。

学校や会社内で講習をする機会をつくる

障害のある人が働いているところを見学して輪を広げていく

障害のある人と交流の場をもてるように工夫されたらいいかなぁ。

・様々なイベントを身近な場で行う

広報誌で紹介

精神障害に関する治療の研究（投薬以外）

わからない。

なぜ無理に理解のみを、広めるのですか？反感もあるのでは？“百聞は一見にしかず”といいます。

研修を受ける機会を増やすこと。特に勤め先で研修や講演が開かれるのであれば、理解が広がっていくかもしれない。

・理解者が少ない、というよりはＰＲが不足しているのではないかと思う。設備等の充実は制限はあると思うが、目にみえる形で増やしていかないといけないのではないか。

障害者の方の積極的なイベント参加及びそのサポート（ボランティア）

子供たちへは学校の授業でそのような時間をとる。

若い学生の人に教育した方が将来的にも有効と思う

障害のある人と関わる機会を増やす、設ける。

町内行事等参加出来る様にする事。お祭り、運動会など見学、参加。

交流する事

仏子園などが市の施設の管理などを行い、市民との接点はあるていどあるとは思うが、まだまだたりない。もっとイベントや学校でのふれあいを増やして小さい時に関わりをもったほうがよい。障害者の家族には静かにしていたい人もいるので、そういった人達の理解をえる必要もあると思う。

わかりません

公共施設の改善、町内にどのような人がいるのか分るようにすべきであり、全く情報がない。全ての行事（町内、校下）に参加しやすいような配慮をするため、情報を町内にどんな人が何人いるなど町内役員が分かるようにすべきである。

わからない。

年寄りは話を聞いた時は理解できるが時がたつと忘れてしまう事があるのでやはり小・中学生から少しずつ話をするのが良いと思う。

小学校時代からの教育カリキュラムに取り入れる

雇用促進

じちたいがせっきょくてきにさいようする。

本来“特化”しないのが理想的な姿だと思う。教育現場（学校）、職場、地域で障害のある人とそうでない人との分け隔てをなくすことが大事だ。隔離されていることが問題だ。隔離されている現状のまま、いくら授業や講演、研修をしても効果は半減だ。

交流の場を設ける

イベント等で障害者に関するブースを設けたり、障害者が共に参加できる行事等を増やす。理解は、まず、たからかと思う。

講演会やシンポジウムが考えられるが、有名人の招へいをしないと、人は興味を持たない。障害については、難しいと一般的には促えられ単に開催しても人は、集まらないと思われる。普及、啓もうとなれば、出前講座を多数回催していくことが有効であると思う。地道ではあるが、理解されやすいのではないか。

障害のある人と交流が少ないのでわからない。

障害者に対して、他人事のように考えず出来る範囲皆で助合い協力をしてあげること。

障害ある人もいろんな人がいると思うのでとても難しい問題ですが、健じょう者ばかりに理解しろというのではなく、お互い理解し合えるように、お話をする機会を設けることだと思います。私個人の意見としては、障害ある人にも、マナーやモラルは必要だと思います。何度か、嫌な思いをした事があるので。お互い言い分はあると思いますし、誤解もあると思います。なので、よろしければお話しできる場を設けて頂きたいと思います。

進で助ける。

日頃から障害のある方と接する機会（イベント）を多く設ける。やはり接して、人と人とのつながりを通して知っていかないと理解はできないと思う。

障害者施設（授産所？）製のケーキやクッキーを購入することがあり、異和感なく接していたことが思い出された。頻度や関わり度合で多少の理解ができてくると思う。

全ての家庭でこのような調査をすればよい。

差別なく、平等に生きられる社会。差別なく、幸せに生きられる社会。市民全員、理解できる環境作り。

様々な場所でかかわりあえる環境の構築、障害者の社会進出　街で自然とかかわりあえるようにできたらよいと思う　例えば公共施設はもちろんだが商業施設で車いすがスムーズに通れるような広さを確保できるようインセンティブをつける。

市民一人一人が障害に対する理解が必要であり、それぞれの「障害者」に対して何をすべきかを知る事が必要です。その為には各町会ごとに、集合（集会、告報等）の機会を作り、学習する必要があると思います。

講演会などを行って、人々への理解を得る

普段、障害のある方と接する機会が全くありません。子どもが生まれたばかりで、色々なイベントに出掛ける事もあまりありません。イベント等ではなく日常生活の中で、（例えば買い物や、市役所、銀行など）お互いがふれ合う機会を作ってもらえたら、私の認識も変わるかなと思います。

とても難しい事だと思います　自分の子供達に害となるのではと思われやすいので、一緒に活動できる、コミュニケーションのできる機会を小さい小学生の間からする。

よくわかりません。

自分に直接関係した事なら考えるが今のところはないのでよく分からない。

障害ある人が時間をかけて、職業をものにするために十分な教育と訓練を受けて、１人１人にあった職業により、社会貢献が出来て、そのための努力と技術を高めて、試してあわないときは変えて、本人が適した職業をさがしあてることが有効です。

どの様な障害の方が白山市及び自分達が住む町内にいるのかも知らない。個人情報の保護も大切だし、難しい問題。

選挙の際、投票者に資料を配布する。

難しいと思う

公民館及び町内、地域がサポートする。

９／２８（日）、福祉まつりのような行事をもっと多くするべきだと思います。

障害のある人もみんな健常者と一緒に働いたり、活動して、和の中に入ってみんなに理解してもらう。

・障害ある方の活動や支援活動についての周知（広報）・自立して生活している方へのサポート（行政・地域）模様の特集記事掲載（広報）

市民全てに理解を求める事、求めようとする事自体、愚かな行為だと私は考えているので、問いの答えを考えた事は無いし、考えようとも思わない。

最近思うこと、障害のある人がとてもふえている様に思います。なぜでしょうか

ボランティア等に参加

職場や学校など身近に障害のある人と関わりをもつ事。でも障害のある人は、そうでない人との関わりを望まないと思う。

市役所等が積極的に雇用等をする必要性があると思います。

障害のある人と積極的にかかわってもらい差別をしないこと。

広報活動が必要

国が助成金などの、お金にたいして、障害がある人の為に職場の管理などをして、その会社にも、いろんなかたちでお金を払い、障害のある方も仕事しやすい環境を作る。

健常者と障害のある人とが交流をもてるイベントがあっても良いと思う。障害者と同じような（車イス等）体験する機会を作る。

高令者や障害の凝似体験をいろいろなスペースで体験。バザーや交流の場、ボランティア活動の推進。

年に１回ある、福祉フェスティバルを小さくした規模で、町会及び各種団体に積極的に交流して行く事な、輪が広がっていくのではないかと思います。広報も必要ですが、人との交流が大事です。

自分が障害者になったらを想像させる。自分も障害者になるかもしれない、という意識を持たせる。後天的な障害もたくさんある事を知る。→なった人の話を聞く。

白山市は他の地域にくらべ、祭りが多いと思いますが、一緒に参格していけば、良いと感じますが。もっと、もっと、交流のもてる会を開催すべきです。

障害者に関する研修などで障害の内容の理解を深める。

白山市に今どれだけの障害者がいて、何に困っているかもわからないので、まずはそれ広めることが大切だと思う。

広報のはくさんもっと利用して毎回特集で企業で、障害者採用してる会社紹介など。

交流できるイベント

有効なことは分りませんが障害のある人も一生懸命に生きていられるのですから何かがあればあたたかい心で受け入れる気持ちがあります。

企業の積極的な募集があっても相方の求めるものが中々マッチしない。コーディネーターの様な人材が必要だと思う。

障害者会っても出来ない事は、手だすけをしてやる

障害のある人が色々な場所で社会活動に参加できる様にし、一般の人とのかかわりを持つ事が必要だと思います

公共の施設、交通機関のバリアフリーを進める。

問１２の覧のよう

障害について（名まえや内容）又、その法律についてを広報などに載せてみては…

イベントなどでボランティアをする機会をつくったら障害のある人に接する機会が増えると思います。

まず障害の人の家族にどのような支援がいるのかを聞いて、その支援のためにまわりの人々（その人の職場の人など）に理解をしてもらう。どうふれあえばいいのかわかっていたら関わりやすいかな。

障害のある人達の施設に関心を持つことで、行事（バザー）や手づくり品にふれてみる

障害のある方と直接会って、交流する。

市の職員にどんどん障害のある人を採用し市民と接する機会を増やす。

社会問題としてＰＲしても、身近な事でない限り記憶には残らないと思います。実際、私自身、友人の病気や障害者手帳で受けられる支援の事しか知りません。他の障害をもつ人が、どんな生活をしているのかも知らないし、何が必要なのかも分からないです。どうしたら、というのは分かりませんが、もっと身近な人として、障害のある人とない人がふつうに同じ社会で暮らしている事が大事なのでは、と思います。

障害ある人との交流する場所（イベントなど）の増やすこと。逆に、障害ある人がイベント運営サイドで活動することで、理解を広めることも有効だと思う。

身近に存在しないと関心や理解は難しい。企業単位、町内などの単位での活動が必要

障害を持っている人とのふれあいを多くもつ事。障害を持っている人を特視する傾向があるので家庭内での話し合う事や、親の障害者への理解が必要である。

行政は広報等で障害に関する情報を記事として伝えてはどうでしょうか？一般の人は回りに障害者がいなければ全然分からないし、知ろうとも思わない。その事が良くないと思います。

各施設の社会就労事業と県セルブ協事の交流

もっともっと、障害のある方を一般企業やサービス業でも受け入れて、一緒に触れ合う機会をつくる。

市の行政として理解を広める行動をもっと見える事を行ない、民間が引張られた形で取組んで行く様な方法で継続して行く事が大事と思います。積極的な取組みを実行している所には、助成金などの支援をし更に向上を図る

いろいろな活動（スポーツの大会等）に一緒に参加できる場があると良い。

障害者を障害者として見ない。（障害者を障害者という意識で見た事が無い）障害者という見方をする事がすでに上から目線であったりするわけで、普通に接っすればよい。特別という意識の中には、優位性があったり、ある意味同情、あわれみ等の感情が生じたりする。普通でよい、区別せずに接するだけでよいのでは。車イスの人がいれば、普通に手助けしてあげればよい。

結局、関係ある人しか関心を示さない問題だと思うので、これだけの問題について収集をかけても、集まらないと思います。なので、何か人が集まる全然関係ないイベントの一角にでもブースとかを設けて、チラシを配る…とか、何気に耳に（目に）入るように、ビデオを流すとかするとどうでしょうか。

地域の人々が一緒に行うことのできる町のイベントがあるといいなと思います。

職場において関わるのが有効だと思う

本人の気持次第だと思います

交流をもてるようにする。

インターネットの使用　マスメディアで特集

障害のあるなしに係らず、１人１人が生活しやすい働きやすい環境とはどのようなものかを考える機会を増やす。

障害のある人自身が主体的に活動や取り組みを行っていることをＰＲする。

国や地方自治体からある程度の安心して生活が送れる様な助成金が必要だと思います。障害をある方々には、自立出来るような、環境も必要だと思いますし、本人もがんばって行こうという気持をもってもらう事も大事だと思います。

前向な障害者の居る事を知らせる

・ふれ合い　いっぱん市民とのふれ合の場を多く・コミニケーションもうける事。バザー、運動会、リクレーションなど

公共の場への参加・講演、特に学校等で身近に接する

よくわかりません

仕事場を、増やして、自立出来る様、支援する事です。

わからないので、何をどう手伝って良いかわからない人が、自分も含めたくさんいると思います。本当は何かしたいと思っていても、こんな事自分でできるのにバカにしているのか…みたいな態度で断わられた事があり、それ以降は自分も悩むので、手伝って欲しいか欲しくないか、意思表示カードみたいなのがあれば良いと思いました。

障害あるなしにかかわらず、あまり区別、線引きをしない方が良いのでは？

施設などで作った物を大型スーパー（アピタなど）でイベント販売し、交流を深める。

・イベントの開催。ｅｘ）住宅展示の時にバリアフリーのところを作る。・学校教育　・地域の活動　・実際施設等に行く。障害のある人と接する機会を作る。

共に生きるモデルを示す。共にくらす（家）共に学ぶ（教育）共に働く（職場）共にくらす（地域、社会）

より積極的な広報。障害者の就労等で、全国のモデルになるような施策の実施、障害者スポーツの全国大会などの誘致

企業、国、地方自治体それぞれが連携し、障害者が住みやすい&働きやすい環境整備が必要！！金銭的な面でも支援が必要

ボランティア活動のＰＲ。施設等へのオープン参加。

障害の名前は、知っていても、法律は全然知らなかったので、講演や授業を通じて教えてほしい

・講演会等の開催・雇用している企業における具体的内容、状況等の共有。

福祉バザー、フェスティバル等年に１～２回？行われているのは知っているし参加した事もある。健常者と障害者のふれあう機会・頻度を高め理解しあえるような企画を行政として率先して提案・実施する事が、理解を広めると思う。

白山市の職員方等が企業等に訪問し、その説明会等を行う。

わかりません

体育大会等でも一般者と同等にし、競技に参加して頂きコミニケーションを図るべき。

・交流会などを数多く実施する。・学校などで交流をする。

・障害のある人が、働きやすい環境をつくり、整え、働きやすくして支援をすること

会話をしてその人の考えなど少しわかったりするので話し合いやなにか一っしょにする事がいいと思う

幼少期から障害ある、なしに関わらずみんなで一緒に過ごす（もちろんどうしても分けなければいけない状況はあると思いますが…）子どもの親に対しても、みんな平等に過ごすことの意義を説明し、理解を得る。

子供の時から障害の方との交流の機会を設けて、理解を求める。

子供が小学校へ通っていた頃、障害のある子供さんと共に学んでいました。そこで子供達は色々と助け合ったり、協力したり全て、社会の一員として見ることができたように思います。父兄としても又、親子さんたちの苦労を知ることが出来きこの経験は貴重なものに思います。

すぐに広めるというのはむずかしいと思いますが、たとえば、障害を持つ人を家族に持つ人のコミュニティを通して和を広げ、そこから、和をだんだん広げていけば、理解してくれる人が増えると思います。私は今、小学生を持つ親ですので、学校などで母子供に一緒に話を聞く機会があるといいなと思います。ただ、精神障害・身体障害・知的障害を持つ親子さんで、まれに知られたくないという方もおられると思うので、むずかしいですね。

障害者と普通の人々との接点を増やすことで、障害者の苦労や障害など相互理解を深めると、身近に感じ意識的に協力性が生まれると思います。

学生のうちに頻ぱんに講演会を行う。

公報で報せる。あさがおテレビ等で招介する

白山市で行われるイベントや行事に障害のある方も来やすいような設備を整え、沢山の方が健常者と同じように参加ができるような環境になれば良いと思います。（サポート面でも安心できる人材がおられると良いですね。）

障害をうけている家族本人は、すごく、社会にでていく不安があると思います　もし私なら、その不安で社会に出ていくことは、むずかしいかもしれません。どの方法がいいかわかりませんが障害をうけている人が一歩社会にふみだせる、ことができる世の中になればいいと思います。

私は福岡から１７年前に石川に来ましたがお店や町の中で車イスの方などをあまり石川ではみかけません。道であったりお店の中であったり身体の不自由な方には不便かなと思います。理解を広める為には出会いがあったり見かけたりとする事からはじまるのではないかと思います。

・障害の人の親のケア。・相談にのる。・手だすけをする。
健常者との交流による相互理解の促進
地域の運動会等へ積極的に参加する。（そのための、種目が必要）
障害のある人が身近にいないので、理解ができていないため、障害のある人がもっと社会にでてくると、出会う機会があると思うので理解できてくると思う。
バリアフリーをもっとふやし、年に１回企業でボランティア活動をすればよい

問１８（３）　では、その差別はどのようなものですか。具体的にお書きください。

道路に於ける段差
社会生活全般が健常者優先の目線で行われている
かなり進んだと思いますが、道路、歩道など外回り、野外のバリヤフリーにまだまだ問題あると思う。
交通障害者利用するタクシーがない。バス等にしても利用しにくい。バリヤフリー化たてまえでしたものが多い。
歩道などの段差
健常者と一緒に教育を受けたいと思っても受けられない事がある。不自由な方の為に作られている建物でも健常者が使用しにくくしている。弱視の方に見えにくい色（黄色以外）グレーなどを使用している。
本人の意思とは別に、各社会参加の機会がうばわれている
教育（学校）を受ける場所（義務教育）が全ての障害者にとって平等ではない。特殊学級（学校）等の存在は理解できるが必ずしも平等に受けられているとは思えない。
天災が突発的におきても障害者（程度によるが）を、わざわざ引きつれて行けるか？どうか又他の人もたぶん置いたままとなる可能性が大だ。
・飲食店の席やトイレ
車椅子のお子さんを見て、大変そうと思うし日々の親御さんのご苦労を思います。その時どんな表情で見ているのか（自分の顔）と思いますね。
病院に階段があり車椅子の人が入れない　受診料が１科しか無料でないと聞く　行政的な手続きがめんどう　日数かかる
想像するだけで具体的にはわかりません。
自立グループホーム、発達障害者支援法、普通学級などいい面もふえてはきているが、教師から特殊学校をすすめられた親は、その子に家庭教師をつけ高校うかり、通学を送るために職場をかえた。親も教師もよかったのかわるかったのかどこで判断できるのだろう
・障害がない人の中でもそうかもしれないが見た目や、偏見での差別・教育
障害者が家や施設から、一歩外へ出た時、まだまだ介助が必要な場所が多々あり、社会参加するのも、一部に限られます。しかしながら、過度の優遇政策は、健常者側の不満につながり、それが差別行動の要因とも言えます。
差別と言うのかわからないが障害のある方というふうにどうしてもみてしまって、特別に接ってしまう
バス他乗り物のローステップ化。他ｅｔｃ
別の人種のような扱いや見た目等で判断する方々が沢山いると思います。
すべての施設での対応が難しく差別という表現正しいかわからないが体の不自由な方にとって、暮しやすいとは思えない。
買物などで出かけた先で大きな声を出している子（行動が少しおかしい）には近づかない様に子供に言ってしまったりしたこと。

仕事を継続的に行えない環境。

差別ということばが差別を生んでいると考える。（差別などされていると思わないで積極的に参加出来る世の中になれば良い。子供の時に近所の子と遊ばせる。幼ななじみで皆仲良くなれる。）

歩道の高さが車道より高い為に車椅子や、目の不自由な人には、不便（一般人も同じだと思います。）

就職や社会生活等の環境の整備が必要だと思います。

昔に比べ少し良くなったとはいえ、小学生が、障害者に罵声を浴びせたり、物を投げたりする。親の教育のせいなのか？社会的に問題があるのか？弱い者イジメをしている様に思える。

必ずしもどこでもバリアフリー化にはなっていない。障害者用トイレが必ずあるわけではない。場所によっては。障害者用のスペース（駐車場など）に停めている車、すごくおかしいと思う。

例えば旅行に行きにくい、身体の障害によっては同じ施設で学べない等。息子が保育園時代、股関節を痛め車イスでの生活を１ケ月程度した際は通うことを拒否された。

３について、進路標識のろうあ者に対する、横断歩道の音声告知システムの設置ケ所はありますがまだまだ少ないように思います。７について、各自治体において障害者への文化活動を推進していますが、更に多く発進しては、どうですか。

ほとんどの公的機関、施設は障害者に無関係な目線で機能している。

車いすが通れないような段差（道路から歩道）

車いすに乗っている人が特別視されたり、そのくせに車いす用のスロープ、視覚障害車用の通路が特別な注意を払われたりしていないこと。

健常者ベースとなっているものが多い。

わからない

偏見されている事が多いのではないかと思う。

◎公共の建物に障害者専用のエレベーターが少ない　◎町内の道路が狭く、特に積雪時はデーサービスの事が個人の家の前に行けないので市道を早急に拡幅してほしい。

以前学童保育に１００社以上履歴書を送ったが就職出来ないという男性が来た。男性は３０才前半、体格もよくスポーツも出来る。しかし、彼は中卒で、解離性障害であった。

車イスで入れない場所が多い。盲導犬を連れている方を店であまり見かけないので遠慮されていると思うから。

田舎ではなかなか就職するのがむずかしいように思う。

２．の教育では、健常人と同じようにしてもらってもできないと思うので、配慮が必要だと思う。その配慮ができないこと自体が差別だと思う。４の防災では、先の東日本大震災でも明らかなように、障害者や弱者にとって災害は容赦がない。もしものことを想定した対策が必要で、それは本人たちでなければわからないことがたくさんあると思う。それに聴く耳をもたないことが差別となると思う。５、７も同様である。

まだまだわからない（知らない）差別があるように思う。

私は建築の設計を業としている者です。点字ブロックを例にしたいと思います。近年ふくしとまちづくり条例が設計する上でクリアするのに大変な状況になってきています。公道の歩道には点字ブロックがまったくない地域にもそれに接する敷地に対しては道路境界線より建物内のレジ等へそれを並べることを求められます。どうやってその敷地までたどりつけるのか私にはわかりません。スーパーを例にすると、入口の風除室には大きなマットで点字ブロックをおおいかくしています。カートを引くには障害となるのです。車いす使用者には、それが移動の際の障害とならないのでしょうか。素人のような意見で笑われるかもしれませんが、人によっては障害となるものが違うのです。

差別と呼べるかわからないけれども、スーパーなどで障害者スペースの駐車場に健常者が平気で車を止めている時に、自分の家族が障害者を乗せているのに止めれなくて、注意したら、もんくをいわれた事。

先入観があるので、どうしても差別してしまう

点字がある意味を理解していない人が多い。雪が多く降る白山市では道路等の点字版の上に雪がつもっている事が多い。

障害の違いはあるだろうけどなかなか職につけない。つけても、長続き出来ないような仕事をまかされたりするというのを聞いた事があります。

分らない！！

バリアフリーの社会には、なって来ているが、きっと障害を持った人には、まだまだ不便なところがあると思う。公共の施設は大丈夫だけど一般のお店や道路など

目にみえない障害（特に精神障害）については囲りには理解し難い為、どうしてその様な考えや行動をとるのか理解しにくいのでその行動、等に偏見が当るのはいたし方ないと思います。そこに、当然差別、偏見が生れるものと思われる。どう理解し、受け入れていけば良いか、難かしい問題ではある。

積極的に実施していない。

障がいのある人を「劣った人」と認識する風潮がある。

障害の程度で本人が希望すれば一般の普通教育を受けさせてもいいのでは普通教育が受けられない

入学、就職、結婚、社会生活

全国にどれぐらいの割合で健常者と障害者がいるのかわかりませんが、やはり同じ作業を行うと、健常者と障害者とでは差が出ますので、個々の意識の中で差別しているような気がします。それが態度として出てしまうような社会ではないかと思います。ただ、差別の仕切線の境界をどこで引くのか、非常に難しいと思います。実際自分は健常者と思っていますが、同じ健常者の中でも優劣はありますから、健常者の中でも差別はあると思います。

・バリヤフリーへの努力はされているのだが、車椅子等で移動しやすい町になっているとはまだ思いません。・視覚・聴覚障害者へは届いていない情報が多いのではないでしょうか。・自閉症児とその家族は避難者でとても居づらいと思います。

努力が失われるから

・子供の中三の時クラスに軽い知的障害の子がいて、その子は美川中学校で断わられて松任中に通っていると聞きました。全ての地域で特別の学級はあってもいいと思いました。・家をバリアフリーにする時、障害者がいると安くなると聞きました。それって“障害”という言葉を利用したやり方のような気がします。確かに玄関や手すりといった所は必要ですが将来の事を考えてバリアフリーにする家も多いと思います。
自分で知る機会がなかったりしてどのような事をしたら良いのかわからない。自分で行く方法がなかったりする。
・難病に対する医療支援　・プラットホームの転落防止の柵の設置　・生活保護に対する手続き
すばやい判断が行動力が求められる事
日本人の意識が不足です。
車イスで移動する時、まだまだ大変なことが多いと思います。
見て見ぬふりが一番。関わりたくない世の中
子どもの場合軽度の障害でも普通学級で学べない現状に疑問を感じます
公共施設においてのトイレ・通路においては、作りました的な面がいなめないのでは。特別整備しました的なことより、当り前にこうなっていることが大事なのでは。
建物のバリアフリー化が進んでない。歩道など段差が多くある　地下道などは車椅子の人１人では進行出来ない所が多い（地方では）
特別差別と感じるわけでは無いが外の階段横に必らずあるスロープ部分が急だったり端の方だったりで歩きづらいだろうなと思う事が時々ある
学校が別々である
駅など公共施設に十分なバリアフリーがなされていない　進学など就学環境が整っていない
障害のある方に対しての制度的なものは、整いつつあるのだと思うし、今後もっと改善していこうという流れなのだと思います。ただ、理解度に差があるので、障害のある方への理解が低い人からの視線や対応、無視などに差別があるのではないかと思います。
バスになかなかのられない
行政の方の障害に関して深く利解できる人が少ない。（その人が悪いのではなくもっと行政の中で勉強する環境（勉強会）を作るべきです）
精神的な理由で前職をやめており、そのことを面接で話し、非難されたから。（自分の体験）
中小企業などは会社そのものが受け入れで、特策を得たい為受け入れるのですが、会社そのものが中での働きを差別し、働きにくい立場に追いやられる様子を聞いたことがある。
車椅子の通行出来ない、公共の建て物。手すりのない階段、使用しずらいトイレ等。
・学校での学習において、体育や音楽など障害があると他人と同じ様に出来ない。その事によるいじめが発生する。・団体行動で他人と同じ様に出来ないと差別される。
公共施設や駅などはバリアフリー化もされてはいますが、公園や商店等まだまだバリアフリー化がされてない所があると思います。

義務教育を受けられない？
障害者の人を雇用したいが、事故等により会社が妃難されるのがこわい。
人による
わかりません。
働きがわるい
最近少しづつ良くなってきていると思いますがもっと皆で関心をもってあげると事が大事だと思います。
道路に段差ありすぎる
公や、多数の人が出入りする場面で、受付等で対応できる人が、少ない。
・バリアフリーになってない店、建物、トイレも障害者用がない所たくさんあります。
・スロープのない店・点字ブロックの（放送のサボートのない）道路・盲導犬が入りずらい店・みんなの目（注目されてしまう）
ニュースで見たが目の見えない方の差別的な事があった。（詳しく見ていない…）
・その場において少数派であれば隅に追いやられる・同じようにふるまえないと排除される・学校には階段しかない。制服着用以外とどんな理由があっても認められない・じろじろ見る、真似する
学校
障害者として、一般人とは区別される
・問１３でも書きましたが、幼稚園から教育、その他で障害のある人と差別なく生活できる様にする事。（精神的、環境的差別）
「障害」というイメージが悪く、身近に関わりがない人は敬遠している。
すみません。うまく説明できません。
・道路（歩道）がせますぎて車イスでは、通りにくい。・部活や授業等、ある程度の成積（結果）を出したい為に、障害のある子をはずしてしまう。・地震や災害がおこった時、障害の程度によるが、対応出来る人と出来ない人が出てしまう。
まだまだ車イスで動くには、段差があったり、障害者でもないのに、優先駐車場に車を止める人が減らない。
障害の程度によると思いますが、本人や家族が一般の学校での教育を望んでも、うけいれられないことがあったりしていませんか。地域活動においても、危険を理由に参加をいかえてくれるよう言っていると聞いたこともあります。
オリンピックとパラリンピックでも応援の仕方テレビの写つす時間も差別があると思います。
例えば教育面で、学びたくても学校の施設等がバリアフリーでなくて受け入れられない。また自分の行きたい所に行けない等
具体的にと言われればあるのでは？と思いました。理由はないです。
障害のある子が地域の小学校に入学を希望する時、まず、就学児検診で“引っ掛かる”入学までに何度も話し合いをし、親の付き添いが求められることもある。

行為、思想、自分で生活しましょう自分で処理する違い。
・地域の運動会等では、そういう方は参加していませんたとえ車椅子でもお世話次等でも、楽しんで参加してもらえそうと思います・まだまだ、家に居る人が多いのではないでしょうか。
へんけん、かげぐち
どの分野にあてはまるか分かりませんが、接客をしている時にお店に障害のある方が来店されると、人がいなくなってしまったり、という場面を何度も見ました。
いじめ
会社が経営難に陥った場合、真っ先にリストラに遭ったり、再就職が困難だと思います。
見た目と偏見によるもの
学校で健常者といっしょになっていない。子供の頃から「別の世界の人」という扱いをうけている。
医療…健常者では、“元の社会生活”に戻れるようリハビリテーションまで取り組むよう指導し、その環境も整っているが、身体に障害があれば、元の社会生活のレベルが、健常者よりも低く、ＡＤＬが元のレベルに戻れば良いとリハビリテーションのゴールが定められる。　教育・療育…教育を健常者と一緒に受けることはできても、またその健常者が、障害者に対して差別視することがなくても、点数や能力といった成果で学習の成果を計る上で、差が生じる。そうでないケースもあろうが、義務教育を支援学校で終えれば、健常者と同じ社会生活や生産的活動を行う土俵がない。療育も同じ。最初から「健常者とは違います」と差別化している。また成人しても健常者と同じ土俵で生産的活動（労働）ができない。防災…ハザードマップ等、大震災や津波に備える“健常者の社会体制”はできても、障害者個々あるいは障害者を支援することを業としている健常者に、障害者を守ることを義務化していない。
防災に関して、火災の際、障害者が自力で避難が出来ない設備が多い。
差別によって普通の学校での授業が受けれないし、中には迷惑だと思う先生もいる。
障がい者であるため受け入れてくれる病院が限られている。人工呼吸器装着していると通学できずに訪問教育に限定される。交通、建物のバリアフリーが徹底されていない。（マナー違反も多く利用しにくい）防災時は不安だらけ。（特に停電対策）障がい者であるための行政手続きが多すぎる。文化活動等。（特別コーナー等不要と思われる事もある）
ベビーカーを押すことが増え、改めて、車椅子での外出の困難さに気付いた。
障害者に対する偏見や同情（あわれみ）
行政手続きや書類が複雑に感じる。
・駅によっては、まだエレベーターがないところがある。・公共のトイレは、車イスで入れないところがある。
・障害のある方で、政治家になりにくいのでは？・盲導・介助犬を育成しやすくして、障害の方が生活出来るように
・全施設、建物がバリアフリーではないこと。
障害のある人へのいやがらせや、ヘイトスピーチなど

障害者と結婚などをしたい人はあまりいないと思うから。仕事場に障害のある人を見たことがないから（面接でおとされていると感じるから。）スーパーなどの接客でも障害のある人をみたことがないから。（やはり採用されないと感じるから）
学校での授業の受け方　施設の構造による行事、催し物への受入れ拒否
一線を引いている
歩道がぼこぼこしていて車イスには辛そう。また、歩道が狭い。
・保育所への入所拒否。・就労先の意識の低さ・障害者就労制度は変化したが中味はほとんど変っていないように感じる。工賃の低さ、職員の質。・震災時の受入れ施設量の問題。・障害種別における就労の差。
教育面で本人の希望する学校は状況を考えても回りの進めで断念せざるを得ないのが現実ではないかと思う。障害者の方々の事を詳しく知らないが為、このように考えるのかもしれません。
行政が下で止まっている。上へ行かない　時間がかかる。
知識不足のためインターネット等の情報を有効活用できない。スマートフォンなどの操作がうまくできない。
現実的に考えた場合、生活の場で個人的に持っている差別的な考えは、誰しも持ちあわせていて、表面化されなくても反映されている為、具体的に書きずらいと思う。たぶん（例えば）、子どもの入園拒否などがあるのではないかと思う。
実さいに自分のみじかで、感んじたのではないのですが、テレビなど、ニュースでみるたび、車いすで、学校へうけいれてもらえないとかを聞いたりすると、もっと行政側が、対応すべきだと思う。
・障害のある人が選挙に立候補したり当選したりということはほとんどない。・音楽会などでの車椅子用の席はあるにはあるがまだまだ少ない。
差別と云うより障害のある人に対してそこまでしなくてもと云うようなものトイレにしてもむだなものがあると思います。
社会体育大会や地域の交流にはほとんど配慮なく障害を持たない人しか参加していない。町内での行事では参加している人と会ったことがない。（参加しないという前提で物事が決まっており配慮しようという、意識ももっていない）
障害のある人ができない事やしてはならないとされてる事を、健常者のようにできるのではないかと思ってしまう。
「障害」といっても内容（程度）はさまざまです。それらを一現（元）的に等しく整備、支援することは難しいと思います。社会への参画についても、同じです。その中でも知的障害者（児）への偏見や差別は、私達健常者が住む社会に責任があると思います。
建物の段差・階段　道路（歩道）の整備…幅が狭い・傾斜・凹凸　限られた小学校でしか受け入れがない。中学校・高校（相当する学力があれば受け入れ？公立学校のバリアフリー化は？？）はなぜないのか？？
・電車に乗る時　・就学児の普通学級への入学

障害になった事もないので、人それぞれで、体の具合もよく分りませんが軽い人（見た目も分からない人が）→働らこうとしていない。医療費がいらない？→いいなと思う事もある。

障害を持った児童が地域の学校へ通学することが難しい。人的、施設的面で、まだまだ整えられていない。自分がケガをして公共の交通機関を利用した時、とても不便だった。そこから考えると障害を持った人達は、大変と思う。盲導犬、白杖についての事件、事故が報道され、驚いた。

防災の面で、健康な人でも逃げる時は大変だと思うのに、障害のある人達が１人で逃げられる（手段とか援助とか）のかなあと考えてしまう。労働の面で、働きたいと思う仕事につけないと思う。「働けるかな？」という範囲で仕事を見つけなければならないんだろうなと思う。

救急のたらい回し

就職活動では、門戸が狭い。一定割合しか採用しないので、かなり優秀で大きなコネクションがないとなかなか大企業で安定した仕事・会社には入れないような感じがする。家元もしっかりしていないとダメみたいな感じがする。

わからないけど、そうかなと思って〇を付けた

さまざまな障害。さまざまな差別。

視線や言葉でそれとわかる。本人が自覚なく発する言葉がすごく嫌です。

〇〇だから普通学級には入れないなど、希望している所にいくことが出きないから。障がいがある為に、保育園に入れることはできないと言われたから。

民間会社業ム

地域の学校に通えない

公的機関さえもバリアフリー化がすすんでいない　店舗などもバリアフリー化が整っている所は少ないと思う　例えば車をとめる所を車イス専用等と準備しても、車イスで駐車場を通るとガタガタだったり、入り口に段差があったりと何かチグハグでちゃんとしていないと思う

・障害者と買い物などで外を歩くだけで、表情にあからさまに出すような人がいます。別に危害を加えているわけもないのに何か特殊な物を見るようにじろじろ見られたりします。

差別と聞いただけで気持ちが良くありません。

教育現場で本人や家族が望む状況になっているとは思えない。※階段やトイレ、玄関の段差など。

障害者を対照とした社会になっていない

自分自身がいつ障害者になるかわからないので、差別はしていないのでわかりません。

健常者の視点からのバリアフリーであって、形だけの作りになっている

歩道の段差等

道路の段差。公共交通（バス．電車など）

・「身障」という言葉で見下す。・車イス用のスロープを設置したつもりでも急すぎて使えない。・車イス用の駐車スペースに自転車を置いてあったり、点字ブロック上に、荷物を置いたり、意識がない。・車イスを用意してある店でないと買い物に行きにくい。

差別の定義が良くわかっていないが、歩道やバス、電車ｅｔｃ、障害のある人が動きにくいようになっていると思う。

障害のある人に対しての無知、理解がすすんでいないため。

社会的理解も乏しいと思うし、生活のあり方も決して平等とは思えない

地震等の時の情報の伝わり方ｅｔｃ

建物のバリアフリーに関して、だいぶ整ってきたとは思うが、全ての建物がバリアフリーに対応しているわけではないので、少しの段差、階段の手すりがない等、で移動が困難になったりしていると思う。

やはり、就業する場所が少ない。金銭的にも支援する必要がある。

教育面では、障害者も一緒に、普通の教育を、同じ学校で学ばせてもよいのでは、と思う。職場では、客見、大事な事情の場合、障害者を、別な場所へ、移動させられていた。何かしら、不愉快に思った事がある。

健常者同士でもありますので同じだと思います。

自分より劣っていると思うこと。偏見で区別し、人に優劣をつけること。

駐車場での車イス標記　特殊学校

・道路の段差。視覚障害者のための道路（通路）が垣根に近すぎたり、車道側にはみ出ているところがある。・バリアフリーは健常者の視点でつくられているように思える。・心の内のどこかに差別をしているように思える（自分自身）

外見的差別

同等レベルの教育が受けれない

対応がおそい

例えば仕事・まず、入社試験を受けにくい。受けさせない。・試験に合格して入社したとしても、ハード的（建物ｅｔｃ）ソフト的（人の心ｅｔｃ）な対応がなされていない会社が大半。・待遇が一般社員と同等でない。→結局、辞めてしまう。差別を受けている人にしか解らない差別があると思うので今後相手の気持になって考えたいと思います。

結婚相手にもよりますが親・兄弟に障害がある人がいると相手先が、その事に対してどうしてもこだわる

障害のある人達は、両親がなくなられたら、どのような生活の場があるんだろうか？職場があるとしても自分で暮らしていけるんだろうか？

・障害者が学べる環境の場が少ない。・障害者を受け入れる会社が少ない。

差をつけること

社会的弱者に対する、言動や認識への理解が足りない。

・建物の出入口にスロープがないことが多い。・以前、赤い印のついた杖を使った人が、点字ブロックのない交通量の多い道路の端を歩いているのをみた。・学生時代、普通学級にいた生徒（耳がきこえにくい障害の人）が、翌年特別学級にうつった。（どのような経緯かはわからないが、同じ教育を受けていないよう感じた。）

健常者とは、一緒に活動するのは無理なものもあると思います。バスや電車での移動は、やはり制約があるのではないでしょうか。山のぼり等のレクリエーションも支援者や介添えがないとむりでしょう。そういうことを考えると露骨にいやな顔をする人も多いですから。
就職においてはやはり差別というか、難しいところはあると思う。実際どの会社も絶対に受け入れるというのはないのではないか。
１．程度の軽い人はなるべく普通の学校へ入学させても良いと思う　２．交通機関の設備はもっと改善すべきと思う
障害者には偏見で何をするにも遅いとか、賃金が安く使えるという感覚がある。
就労にかんしてはまだまだあると思う。
わかりません
情報がないのでいろんな行事に障害者を配慮した形を考えていない。
具体的に…とは難しいですが、例えば、ベビーカーを押して道を歩いたり建物の中を行ったりした時に、非常に不便を感じることがよくあります。ということは、車いすの人も同じでは？と思います。目や耳・身体の不自由な人が一人では出歩きにくい所ばかりだと感じます。
健常者目線でのルールづくり・社会づくりになっている。障害者に合わせるということは、ベースが健常者であるということ
公共機関、民間問わず、建物等健常者向けになっている。
社会の中で生活しにくいようにおもう
問１７のｂにあるようにすべきと考えるが、かなり高い壁があると聞く。
公共交通機関、たとえばＪＲやバスの乗車、駅の構内等でも、まだまだ不自由な面はあるのではないか。意識的差別というよりも、不便といったほうが適切かと思う。
スロープ、手すり、エレベーターがない所が多々ある。
道を歩く時障害者は不安がいっぱいあると思います。皆んなの協力があると良いと思います。
健常者側が障害者を「障害者」として見る限り、その生活の全てが差別であると考える。
障害者に対して何かがあっても避けてしまう。助け合う気持ちが少ないと思う。その他色々
同じ教育を受けられない。（知的障害者・精神障害者）体育系は、身体障害者は健じょう者と同じレベルの事が出来ない。どうしても、健じょう者が基準になるので、障害を抱えている人はつらい思いをする
体が不自由な方が利用しにくい施設。（結婚式場など）周りの人々の態度
ＴＶの報道等で精神障害者が事件を起こしたりすることが大きく取り上げられると、障害者＝恐いというイメージが付いてしまうので、マスコミ等の報道の仕方を考えた方がいい。
政治家で障害のある人を知らない。
トイレが少ない　エレベーターがない
世間の人達の視線が冷たいこともあるのでは…
交通の便等、過ごしやすい、行動等が出来る環境。世間の目。

私的に経験してないのでわかりません
「障害者」の為ではなく、行政の認可を得る為の設置であり、「障害者」が利用しずらい事が多い。
障害を持っている子供やその家族が自由に学校を選ぶ事ができない。
私もですが、普通に生活している場面で、障害のない人が中心の物の考え方や、交通（バス、歩道、信号など）になっていると思います。工事している所なども障害者にはとてもきけんに感じます。
多くの時間と多くの努力が無ければならない。そして技術も必要である。曖昧ですと差別に繋がるからです。
医療費や公共機関の料金免除
階段など昇り下りの手段
教育関係が違う
バリアフリー対応の建物・施設がまだまだ少ないと思います。
特別扱いをうけられる事も、ある種の差別であると考えます。障害の種類や、度合にもよると思うが、その人その人にできる事できない事が生じるのは、差別ではあるが、あって当然だと思う。
職場が少ない。
就労・教育
もう少し、車イスの方とかのために、道路、交通機関など、１人でもいろんな所に行ける様な、環境があれば良いと思う。
障害のある人が、集合住宅入居を希望しても中々入居が困難である。駅構内のエレベーターが少なく、案内も分りずらい。災害発生時、どのような支援で安全が確保されるのか地域で確認しておく必要があるが、取り組みは不十分と思われる。
ふつうの学校に入れない。
一緒に教室で学べない光景が浮かびます。難しいとは思いますが、その仕切りが除けない限り、差別として見なされると感じます。
車椅子で移動するには不便な段差のある建物や道路などまだまだあると思う。教育においても健常者と障害者が一緒に学ぶには無理な場合が多いと思う。障害の程度にもよるとは思うが…
知的の人と身体の人とは条件が違うので一まとめにはできない。
学校が別である
学校では、いじめ
制度上、構造上の差別というより、人々の心情に差別意識がある気がする。障害者が電車などを利用するのを迷惑と感じてしまうような。
障害者にとって、そうなんじゃないかなと思って〇をつけたので、具体的には、返答出来ません。
最近あった盲導犬の事件など弱者を傷つける最低な者はしっかり罰するべき

・車いすの方が外へ出ようとしても、歩道は通れないし、車道は危ない。何でそんな所通るの？と思われる。・普通の学校に行くと問題が生じる。
障害のある人という考え方自体が差別だと思う。自閉症のような（レベルによるけど）通常生活できる人間でも、障害として指定することで、周囲の人々まで、障害のある人と関連づけられていることがある。
その障害について理解をしようとしなかったり、信じない事から、対応がおうべになっている。
一般人の障害者への理解が少ない事。その為、障害者のメリットやデメリットを理解して社会や生活を変えていくことが遅いと思います。
市営住宅ならば流台が高い。また水道のいちも高い。
仕事の面では、簡単な業務しかできない
・これといった差別は思い浮かびませんが、学校の運動会などで、障害のある子がいると弱くなったりすると聞いたことがあります。
障害者を障害者とする事が差別、彼らは、不便でも普通にされる事を望んでいるのでは？ちなみにこのアンケートがすでに差別的。
教育関係での受け入れについて差別はあると思います。ただ、学校だけの事を考えると、１人につきっきりになるので、他の生徒にも影響がでることは、確実です。なので、やはり、そういう方の為の教育施設を充実させることが重要だと思います。
古い建物に登り降りや開閉のわかりやすさの配慮　そういった場所での活動実施
１人で交通機関を利用して外出する場合、誰かの手助けを必要とする。（すぐに誰かが手を借してくれる場合も多いが、精神障害等は外見からわからないので不自由を感じているのではないか）のではないか…その他は具体的には知らない
交通機関　特に駅、バスの停留所等に。
・偏見・理解不足からくる、いじめ、無関心
文化活動について、車イスの移動場所の確保、説明の為の映像時の字幕の徹底、イヤホーンの貸し出し等。
よくはわかりませんが、小学校などで教育を受けるには看護師がいないと受けれないと聞きました。
火災や地震の時に耳が聞こえない人が逃げ遅れたりしたこと。
・段差やトイレ等、バリアフリー化されていない所がまだかなりある　・障害のある方への対応がまだ十分ではない。教育、情報機器等の開発、研究。
企業が障害がある人の採用を積極的に行わなければならなくなった。という話は聞いているが、まだまだ自由に職業を選ぶことはできないし、採用枠も少ない。
具体的に表現するのは、むずかしい
盲導犬にらくがきしたり、ガムをつけたりするニュースを見てひどいなと思った。避難する時に、非常階段しかないイメージ。
公共の交通機関を本人だけではなかなか利用しがたいのではないかと思う。

町内の防災訓練は一般人対象としているが、障害の有る方も事前に把握し訓練内容を本人に伝えると共に安心感を持ってもらう事が無いのでは！！
具体的にはわからない。
整備されていない歩道が多いように感じる。（キレイに見えても段差があったり植え込みがあったりで危険が多い）障害をもつ児童は別の教室で学習していること。
できるだけ関わりを持たないように避ける。（無視するなど）障害者なので仕方ないという見解
障害者との関わりがないので、多少はあると思うが思いつかないです。
道路の段差、公共の場での扱いが差がありすぎる
障害者が、自由に出入りが来きにくいふんいきを出している場所が多い。
障害への理解が欠けている人がいる。テレビで盲導犬にケガをさせる人や目の見えない方が使用する点字ブロックの上に立つ方、そのような方が少なくなる事は難しいと思う。
障害とゆう名前だけで、病院へ行くと、先にゆうせんしてもらったりけど、私達はどのような障害とは、わかりません。障害本人は、自分が特別な人間と思っているんじゃないですか？私は障害の人たちも私達たちも同じ人間だと思います
道などの整備がまだまだだと思う。いろいろな障害があってもさんぽをしたり買物をしたりと思うのは同じだと思うのでだれにでもやさしい街を作らないといけないと思う。
思うように自由な活動ができないこと。
災害時に障害者のためのヒナンの経路がはっきりしない。
あまり重度の障害でなければ社会人としてあつかえばいいと思う。

■本調査に関して、ご意見などございましたらご記入ください。

在日特権を廃止して欲しい。差別を利用している在日の人が許せない。学校の教師が、日本人を差別している現状が許せない。そんなに日本が嫌いなら日本から他国へ行ってもらいたい。市役所に勤めている人の態度が許せない。一般の人を差別している態度。どれだけ赤字でも給料が減る事がほとんどない公務員が許せない。

お疲れさまです。

調査＝結果→対策＝判断→明るい社会＝幸福　ありがとう！

長い。

アンケートに要する費用、集計に要する時間などをボランティア活動などに回わされては…

今私は障害施設で調べている事があります。今は話せませんがギ問点がいくつもあります。でも一個人としては何もできません。アルミ缶やお祭りがあった時に少し手伝いをしています。どのようにしてかかわっていくか考え中です。いい時に調査表がきてよかったです。

むずかしい質問があって答えにくかった。答えた後で、解説的な文章があると理解が深まる

障害に対して真正面から向き会い考える機会が幸い（？）な事に無かった。しかし社会全体として考えるともっと理解、勉強しなければならない事が多いと思った。

以前仕事をしていた時（１５年程前）に、今で言う発達障害の男性の方がいました。周囲は大変でした。本人もなんか自分はおかしいと思っているようでした。今、どうしているか分かりませんがＬＤやＡＤＨＤという名ギあると知らせてあげて、ケアできていたら良かったと思いますし本人もまわりも辛くなかったですね。（重大なミスをおかしてクビになりました。）ママ友（ＡＤＤ？）とそのお子さん（自閉？）かも？と思ったのですが、本人に告げるのもむずかしいですね。ぱっと見外見で分かりませんし、今、おつき合いないですけどどうしてるのかなぁと思います。育つ中で、逆に目立たなくなるのかも？と思ったりしました。保育士も意外と知識がなくて驚きました。自閉症は同級生で近所にいましたので本を読んだり調べたりしていました。そこからＡＤＨＤなどに関連して知るようになりました。

・むずかしい言葉があった・ややあてはまらない選択肢があった

個人及び名簿の徹低管理をお願いします。白山市でのよりよい施策をつくり上げそれを実現、実践して下さい。意識のもちかた一つで、モノの見え方も、行動も大きく変わってくると思います。よりよい白山市になるような研究成果を必ずだして下さい。

行政は民間のサービス業や伝統行事の地域の日を配慮してほしい。一方的に日程をきめて少ない住民を市の行事のために市民を参加（うばって）行ってほしくないです。細やかな心づかいをお願いします。年間の地域の伝統的な行事のあらかじめを知ってほしい。お願い致します。

差別に関係するかどうかわかりませんが、よく、犯罪をおかした人が、刑事責任能力の有無により、罪に問われない事がありますが。そういう責任能力が無い犯罪をおかした人は、一般社会にもどっているというのは問題なのではないかと思います。

白山市が障害福祉に対して、どのような町づくりを実践したいのか、今後明確なビジョンを示し、ある程度のゴールを目指すよう、また、町民、市民にわかるようにしてほしい。

設問が難解であり、もっとわかり易い方がよい。

身近にいなかったせいか、障害・福祉に関して、ほとんど関心を持たずに来てしまいました。そのため、専門的なことは、分かりませんでした。調査結果を大大的に公表するなど、目や耳にふれる機会を多くする。

私は、遠方に障害者の両親と妹を持ち、自身の子供には不幸があり、３人のうち２人を失っています。障害者のことをもっと理解したいとは思っているのですが、日々の仕事に追われ、できません。内心、困っています。

この様な調査を時々してほしい

質問の目的が理解できないものがありました。

障害についてのアンケート、とてもむずかしかったです。一番近いものに〇をつけて答えましたがよく考えると、回答と本心がちがっているものもあるかも知れません。

２ページ記載の多数の障害郡の解からないものがあり多少の解訳があれば良いのにと感じた。この調査がどれほど効果があるのか？

障害者の目線で考える事と関わっていない第三者が考える事、どちらの立場で考えるかで、回答が変ります。

障害の持った子供の親から国から保障があるから何も心配ないと聞きました。あまりそう言事は言いたがりませんから、私も普通に付き合っています。心は開いてくれません。

障害のある人に対する差別についての問１８が難しかった。このアンケートから何がわかるのかなと思います。

最初の方の質問は学童の指導員として、答えていたので職業をそれと記しましたが、本業は石彫家です。兼業の方も多い昨今、職業の質問は最初でも良かったのでは？

障害に対し、努力していただいて、有難く思います。一人でも多く障害に理解を持つ人が、ふえればと願います。・アンケートとは、一つのボランティアだと思います。ボランティアには、見返りは、無い事だと思います。ただ、アンケートの場合は、一生懸命、真剣に考えていると思います。意見だけ聞いて、結果を報告しないのは、平等、差別の点から、いかがなものかと思います。結果はけっこう気になるものです。

項目が多過（高令者）

考えさせられる問題が多かったです。

この調査であたり前の事でも忘れている事わからない事思い出して考えさせられる事がありました。

・とてもむずかしかったです。（時間がかかりました。）・もう少し簡単だとよかったです。

少しでもお約に立てればよろしいですが？

アンケートが難しすぎる。基本的な言葉の区別がつかない　発達障害、精神障害、知的障害の区別がつく人がとれだけいるのか？（多分、１割もいないと思う）「差別」という語の受け取り方が人によって大きく異なると思う。とてもきつい表現ととる人とさほどでもない人がいる。このアンケートにおける「差別」の定義を書いておけばよかったのでは…

つい最近、障害者支援施設で障害のある人たちと関わる機会がありました。関わる前は障害のある人には不安等を抱いていましたが、関わるととても優しかったです。しかし、自分でできない事も多く、やはり職員の手を貸りなければいけない場面も多くありました。入居者に対し、圧当的に職員の数が少なかったです。職員の方々は体力も使うし、とてもキツい仕事なのに低い給料ということも、この仕事が選ばれない理由かもしれないと言われていました。障害のある方を支える人達を支える事も大切だと思います。

私の考えがお役に立つとは思えませんが…まわりに何人かの障害を持った方がおられます。話とかはよくしますが、何かをしてあげたことはありません。どうしてあげたらいいのかがよくわかりません。そのような人がたくさんいるのではないでしょうか…

段々年になって、字を読む事、字を書く事が“うとく”なってきて意見を書く、これが一番大変。使ってない頭をふりしぼって頑張りました。宝くじも当らないのに、抽選で当った、こんなうれしい事はない。本心は当らないでほしかった。

障害者も自己管理出来る様な世の中、背身のせまい思いをしなくてもよい気持的に平等な世の中になることを望んでいます。

今回本調査に回答して関心がないわけではなかったがわからない言葉など多くもっと地域のつながりの家などに参加できればと思いました。

障害者になろうとしてなる人はいないと思いますので、障害者には、国、県、市の補助は必要だと思いますが、最近障害者？が、小学生をバラバラにした事件がありましたが、同じ小学生の子供をもつ親としては、殺人の罪が、障害者というだけで、とわれないのは殺された側からするといたたまりません。障害者に対する社会的に平等にするよう保護されることは良いのですが、障害者といえども罰っする法改正はすべきかなと思います。本人は罪の意識はないにしても。本当の人としての平等という社会をつくるならそう思います。

子供の中１の時小学校からの友達Ａさんが他の生徒からの心ない言葉で学校に登校できなくなり、Ａさんは娘となら話が出来ると言われたので休み時間などに会いに行っていたのですが、ある日どうしても行けなくて（自分のやりたいことがあって）あとで、先生から「どうして行かなかったの！だめでしょう」って言われ「どうして私だけが注意されないといけないの？」と悩んでいました。後日いっしょに学校に行って「娘をたよるのはどうでしょうか」先生は娘にまかせる様に思うが、それって先生は関わりをさけているとしか思えませんって抗議しました。今でもＡさんのお母さんを訪ねて色々話を聞く事にしています。心身の悩みはここで終わりはないのです。ずっとずっと続くんです。しかしどこかトンネルの出口を見つけて前へ進むかそれをサポートしていきたいと思っています。

障害福祉について無関心でした。これを機会に障害のない家庭である事に感謝させていただきます。又皆様方の御苦労も思いました。

自分の力でどうしようもない人々が少しでも助けられるような、社会になる手助けになるよう祈っています。

自分があまり、障害福祉に興味関心なく無知だということがわかりました。アンケートは、むずかしかったです。

すべての人は１人では生きられないと思います。自分の権利ばかり主張するのではなく、ハンディのある人も、そうでない人も、１歩さがって感謝の気持を持つことができないかなぁ…と思います。

何かと質問に答える部分があり時間がかかった調査でした。

難しい質問ばかりでした…。

今まで生きた年月で障害をもたれる方と全く交流のない当方ではアンケートが無意味か！！アンケートルートを検討すべき。介護関係なら親が大半発生するので詳細データーがとれるかも以上。

かなり長い期間ある民間の施設と関りを持ってきた方だと思います。毎年毎年施設が拡充され、収容人員が増えるにつけ、周辺では、必要以上にそういった施設をあてにしたり、中には生まれてきたら、この施設にへといったとんでもない話まで耳にしました。毎年、関係者の一人としてイベントには必ず参加していますが、最近は実に複雑な心境です。

障害者の実態があまり分からない。障害者への感心が自分にあまりない

これ迄障害者のお子様を連れているお母様を見かけるとお気の毒にと思うだけで障害福祉に関する知識・意識などまったくありませんでした。お恥ずかしい限りです。偶然にもこの様な調査の対象となり初めて知る障害の多さにも驚き同時に自分自身関心を持って広報等にも目を通したいと強く感じている次第です　何の意識も意見も無い自分でしたが障害者に対する福祉等の向上を願います

日頃考えてもいない事に対しての質問なので、とまどいが多少あります。以前も似たようなアンケートに答えたことがある。前回も今回同様に無作為に選んだと書いてあったが、同じ人にアンケートがいっているのではないか。急にこんなものが来て、返答期限が１０日程しかなく正直困ります。

むずかしい質問が多かったです。条件や状況によって回答が変わる気もするし、個人の意見というより社会にあるかどうかというのも判断がむずかしかったです。自分も勉強しないといけないなと感じました。

コンビニエンスストアなど、する事がたくさんあるのに賃金が低かったり、仕事に見合った給料がもらえなかったりするので、仕事によっての最低賃金の見直しをしてほしい。

返答の仕方が難しい。場面場面によって、ｅｘ．障害の等級によって考え方の違いがあると思う。

障害のある人が住みやすく、生活しやすい環境になる様に、このアンケートを役立てて下さい。アンケートに使用している紙も大事なお金が使われています。無駄にならない様、人力を尽くして下さい。

質問の内容がむずかしいので高齢者（７４才）には無理な感じがします。

頭がいたくなった

少しでも楽しい健康生活が送れる様にして下さい。

調査やアンケートで無作為抽出で良くあたるが何故でしょう。その割には宝くじ等がまったくあたりません！

具体的に書くは、やめて欲しい。

意識調査ご苦労さまです。

調査結果を選ばれた方へ教えてほしい。

この調査がムダにならないように、活かして下さい。

長い！！白山市の障害福祉施策づくりがよい方向に進みますように。お疲れ様でした。

貧富の差や生活苦、すべてを政府になんとかしようとしてもらおうとするのは、社会主義国家への道で危険だと思う。一人一人に自助努力の精神を持ってもらうべき。ただ、障害者の方への社会的フォローはあって当然だと思う。

アンケートを通して、自分の無知さを知らされ、も少し世の中のことに目を向けなければと思いました。

人世２／３は主婦で過し今少し後期高齢者と関わっているのですごくむずかしかったです。

ご協力できる回答が出来なくて、申し訳ありませんでした。子供が小さい時などは、周りに障害の方がいなかったことが多かった為目をむけることがなかったのですが、自分にも予裕ができ、仕事をしていると見かけたりすることはあっても協力して何かをすると言うことは、ありませんでした。子供たちの方が、同級生や同じ学校に障害の子がいることで、何かをしてあげたり、一緒に何かをやりとげると言ったことなどあると話をしたりすると聞かされていました。いい大人なので、少し、目をむけていくことができればと思ってます。

悪いなくて、生活が良いをのの望んで、特別な人の群れに関心を持ちます。

ムダなアンケート

・結構、精神的に疲れ、考えさせられる調査でしたしかし、この様なことが無ければ、普段考えている様で案外、意識していない。自己保身の生き方であることに思い到ります。

今回の調査で自分の無知を改めて思い反省しております。そのため、「どちらとも云えない」部分が多くなりました。

・十分な回答が出来なくて申し訳けありません。身内とか近辺に障害を持った方がおいでないのでわかりかねる事が多くすいません。・もう少し障害者又は、家族の方々とのふれ合いたとえば、介護の仕方とか、話しかけの場等々

障害者との仕事したり、会ったりしたことがないのでわからなかった。

質問が多過ぎる。提出するのをやめたくなった。日々の生活で手一杯なのだ。そんな人が多いと思う。自分のことで手一杯。他人のことまで、やってられない。ましてや、面倒な人たちのことなど…というのが世の中だろう。民間、政府がしっかり守ってやらなければ、と思う。思うだけだ。自分でする余裕はない。（介ゴの必要なとしよりを２人かかえている）

誘導尋問のような質問でした。

この様な調査は、もっと回数を増やして積極的に行って下さい。これからも社会福祉への取り組みを頑張って下さい。

質問の内容が分かりにくい。※問２７の未成年は、たとえば、５才と１９才では、答えは、違ってくる。※すべてにおいて、このような、質問がおおい。

白山市の広報やホームページで、今回のアンケート結果（回答数／依頼数）や、分析結果を、必ず、公表すべきと思う。ただ、「福祉」という言葉は、「福祉」を謳う業種、業界では、収入源となるものかも知れないが、その分、「福祉」業界と違い業種の人間からは、税金を投入する支援（＝税支出の増加や、負担）として、自分達の支出した（納入した）税が、総て、有意義なものばかりとは感じ難い違和感もあります。このアンケートを含めて。

サンプリングの対象者はランダムに選ばれているそうですが、年令、性別等により回答が片よると思われます。可能な限り年令、性別を固定したアンケートを取った方が、今後の対応に良くなると思います。

質問が難しかった。

「差別」というのが具体的によくわからなかった。もう少しわかりやすい質問にしてほしい。

質問が多すぎます　質問も難しすぎました。

何気なく過して来た日々が考える事をまた当えてもらった様な気がします。でも私には大変重い課題でもあり、無責任に生きて来たように想いました。ありがとうございました。御苦労様。

障害福祉がより向上することを期待しています。

アンケートの機会を与えられ、私の意見を少し述べたいと思います。私の回りにいわゆる障害者といわれる方はおりません。しかしその生活や現状を目にすると家族の心情は理解することができます。本人にとっても家族にとっても将来安心して生活できる場所が必要だと思うのです。私は生涯施設で暮らせるような施設環境を国が作るべきと考えます。親がいくら子供の事を気にかけても最後まで面倒を見る事ができないからです。私達健常者は努力すれば生活はしていけます。よりよい未来がくることを願っています。

障害と云っても一言でかたづけていましたがいろいろある事がわかりました。私も現役で働いていますが差別、偏見はすこしでも改善されれば良いと思います。又その心を持つ事が大切かと思います　ありがとう。

回答の結果を支障のない範囲で知りたいです。広報の形で是非お願いします。

この調査がどんなところでどう有効に活用された（されている）のか結果・報告がほしいと思います。このアンケートを書いているうちに、自分が「障害者」と言っている呼び方がすでに差別のような気がしてきました。もっとちがった呼び方があるといいなぁと思います。

平等、差別の有無は、その人の心境によって相当の変動があります。天から与えられた生命を感謝して生きている人にとっては、この現象界における多少の不平等はほとんど気になりません。物質的、現象的な豊かさだけを求めていては、いつまでたっても平等にはなりません。心の豊かさを求めることが大事です。ここには精神、心に関する質問が全くなかったのは残念です。人は物質だけで生きているのではないのです。

個人を特定できないかもしれないが絞り込みが可能な質問が気に入らない

しっかりと分析を、お願いします。

障害者の人が失敗するとばかにしてあざ笑いしている人がいます。誰も障害になりたくないのに！私は手がふるえて字があまり上手に書けません　ごめんなさい

今までの質問で、何が、どうなるというのか、わかりません。こんなものではなく、シンポジウムなどで意見交換した方がいいのでは？少なくとも、私に来たのは、ムダなお金だったと思います。

つかれました

回答の集計だけに終らず前向な社会となる様発信してほしいです。

毎年調査したら大変良いと思います

差別の言葉に異和感有り、判談しにくい。たゞたゞ世間知らずの自分が浮きぼりになり、失礼しました。

おくれてすみません

障害のある人について助けるための法律があることをこのアンケートによって初めて知りました。

知らないことが非常に多いことに気付きました。

質問項目が多すぎる。

前半は身体、精神、知的障害者のアンケートでしたね、視野の広い方が沢山いらっしゃいますねとても感心してます。障害者の方もね‥でも私の身近にいなかったのであまり感心がなかった。申し訳ないです。私達夫婦高齢者になるので介護のことなどいろいろ、気なり、講演・研修には行ってます。

調査を通して皆の生活が少しでもより良いものとなりますように

障害福祉に関しては、白山市は、まだまだ底いと思います。年金暮しには住みにくいと思います。田舎と団地の人の社会的に少し、地域てき差がありそうです。障害者に対して普通に接していくこと。女性の希望を抑え込む封建的な体制は戒めるべき

自分は障害の人について、あまりにも分かっていない事を思い知りました。ありがとうございました。

精神障害については、別に考えた方が良いと思われる。

障害をもっておられる方の私達や、社会に対して、どんな事を、感じているのか、思うところは、いろいろあると思いますが、本音を聞かせてほしいです。

今日まで健全でこれましたが、この調査で考えさせられました。障害のある人、係わっている人に協力できればと思います。

とても難しいです。自分にとって近くに障害の方がいないので深く考えた事がありませんし、良くわかりません。最近はイベントなどに家族の方が連れて来られるのを見てオープンにしているのがわかります。少しは出やすくなっているのかもしれませんがまだまだ色々と大変だと思います。そうは思ってもなかなか自分から、手助けになるような事には参加出来てません。

少しでも役立てば良いと思います。

障害福祉に関して、私はもともと知識がありません。そのような機会がなかったからだと思います。知識不足（問１９など）のため、選択肢から選べない質問もありました。選択肢をもう少し増やしてみてはいかがでしょうか？

正直、調査をしてからどうするのか、という目的が今ひとつ分かりませんでした。関係ないのでは、と思う項目や、答えを少し誘導したいのではと感じる質問もありました。番号を選択するのではなく具体的に書かないと答えられない、と思う項目もあり、困りました。以前、金沢市の知人の息子（小学生）が学校で問題を起こした際に、先生から発達障害の検査を受けるよう何度も言われていました。どの管轄から指示を受けたのかは分かりませんが、そういったことのない市であることを心から願います。

自分自身が障害福祉に関して知らない事が多すぎ。質問内容が抽象すぎて理解しづらかった。障害の程度によって答えが変わる問いがいくつかありました。

障害者と云われても目に見える人もいれば、この人がと思うにとがある。区別がわかりません。

貴重なアンケートに参加させて頂き有り難うございました

障害者だけではなく、私は未婚の母ですので、今まで世間から厳しい目で見られ、息子が結婚してやっと普通に生きられました。仕事は頑張って休まずやってきました。社長などに認められ、温かくして頂き感謝しております。やはり、人間関係で良くしてもらうと頑張れるので、会社にも長くいます。障害者の方の良い所出来る事を見つけ、仕事が出来る様にしてあげて下さい。障害者の方の訓練も必要だと思います。差別はどこにでもあります。

お仕事お疲れ様です。障害者も健康な人も共に助け合って住み良い白山市、石川県、日本と輪が広がっていきますように願っております。

設問が多いです。年収の問はいるのでしょうか？

質問の真意について、いまいちわからない問がありました。簡単に、一言で答えられる問題ではないので、答えが選びづらく困りました。

少し項目が多いように思います。高齢の方には難しいと思います。

障害者福祉向上に役立てて下さい。

調査の言葉が（すべてとか〇〇べき）決つけた言い方かたい言い方で記入しにくい所が多かった。この調査も？を感じます　投函するの遅れました　ごめんなさい

アンケートの項目が多すぎるので、もう少し的を絞った方がいい。

少ない年金から介護保険引れ仕事しなくなったら年金少なくなる。ストレッチや体操などして、体に気をつけて、介護受けない人は、保険やすくしてほしい…！！努力した人にもなにか考えてほしい…！！

普段考える事がなくこれを機会に深く考えるようにしたい。

障害福祉に関するアンケートだと思いましたが、それ以外の項目もありこれがどう障害福祉とどう関係するのか疑問に思いました。

健常者が障害のある方の気持ちを理解することはできないと思います。また、障害者の方の気持ちも“障害者の意見”としてくくることもできないと思います。健常者であれ、障害者であれ、１人１人の気持ちを尊重する事が大切なのではないかと思いました。私の力でできることはほんとに小さな事ですが、障害をお持ちの方と会う機会があったらその方の求める事を理解するためにまずはお話をしてみたいです。

少しでも前進して、現在よりも良い状態に進み、そして日々見直し、改善する。ノウハウを高める。そして数多くの意見より、いろんな角度から見て、実行にうつして行っていく事が大事です。自分、障害者、社会、全てに大事です。

ご苦労様です。

健常者でも悪賢い奴もいるし良い人もいる。障害者でもそれを利用して必要以上にゼイ沢をしている人もいる！！どっちもどっち。例えば車椅子！！カーボンなんか必要も無いと思うのに援助金が出ると言うので高額の椅子を作くる。そんな物に援助金が使われる

書面の選択での回答はむずかしいです。もし、公開聞取り調査等あれば、ご協力いたします。散文、誤字等、ようしゃ下さい。

調査内容について、知らない事が多くありまして、自分自身が大変、良い勉強になりました。今後とも、この内容等々について、学んで行ききたいものと思ております。有りがとうございました。

どちらかと言えばいやなアンケートでした。迷惑です。

国が障害のある方に対して、もっと考えてやるべきだ。自分の家族には障害のあるものはいませんが、障害のある方の家族は、本当に大変だと思います。国は家族の方に対しても考える事が必要だと思います。

今までいろんな調査の書類書いてきましたがこれ程真剣に書いた事ございません。大変勉強になりました。

お疲れ様です。

障害福祉及び差別に更なる理解を求めるため、政府、自治体が最大限にバックアップしていく必要があると思います。その場におかれた方の立場になって考えてみると良いのではないでしょうか！

自分が何も知らないことがわかった。

福祉について、考えることが出来、いい勉強になりました。ありがとうございました。

障害福祉について日頃考えてこなかった自分が、質問に応えていいのか疑問です。提出が遅れ申し訳ありません

問３７について　子供夫婦と同居していますので分かりません

むずかしい質問でした。１０／１４までに返送しないですみませんでした

障害者に対しては、子供や親が当事者でないと関心がうすいのではないでしょうか。近所に知的障害の人はいますがそんなに外に出ていないように感じるので普段関わりはうすいです。すべてに答えましたが専門用語が多くてよく分からなかったです。

障害に対して理解してない部分があるので、解答するのに時間がかかりました。高齢者については、近所にいるおじいちゃんおばあちゃんが、施設に入られて、どんどん姿が見えなくなるのが、とても、つらいことだなと思う昨今です。

この調査が有意義なものになることを期待します。

本調査が今後の障害者の生活に役立つ事を願っています

新聞、ＴＶのニュース等よく見る方だが、知らなかった事が多かった。自分と関係ない法律なんて知るわけがない。だが、もし少しでも関係するなら知らないのはおかしいし、知らせるべきだと思う。

障害者にもレベルがあり、どのレベルを想定するかで結果が違うと思いました。ボランティアをしているとの事ですが、会報ｅｔｃに載せるだけでは目を通す人は催かであり、本気で取り組むべきだと思います。

おそくなりました。

むずかしい質問も多く、考えさせられました。また改めて障害者についてじっくりと考える時間がもて、よかったと思いました。

アンケートされる側を無視した、答有りきのアンケート。つまりワクの中への誘導が多い、アンケートに、真実が反映されない。これを元に何をするのか？

本調査の中に知らない事がありましたので障害福祉についての講習会等もあってもいいかなと思いました。高齢者のためインターネット等はむづかしい面もあります。

質問が多い。

収入の程度により社会生活への参加は制限されると思います。自分の事だけを守るのに精一杯です。

身近に障害を持つ方がおらず、あまり関わることがないので、この問題についても深く考えることがありませんでした。質問もよくわからず、どう答えていいのか悩むこともありました。あてはまらないものは、どちらともいえないに〇をつける形に…　これを機会にいろいろと考えてみたいと思います。遅くなって申し訳ありません。

アンケート、参考になれば嬉しいです。ありがとうございました。

調査結果がいつごろどのように公表？活用されるのか興味があります。共生社会、福祉政策推進が加速するよう願っています。

障害と一口に言っても種類や程度にも差があって、自分の考えと選択肢が合わないと感じるところがありました。

お金のある家でも障害のある人がいて、金銭的な援助があるのは、おかしいと思います。どちらともいえないに丸をしましたが、わからないが解答の記入もあります。質問が難かしい。

少しでも、参考、改善につながれば、いいです。

・参考になるかわからず、申し訳ありません。また、投函も遅れてしまいすみませんでした。

身体障害者にも障害にレベルがあり、障害者内にも不平等差があると思うので、平等に保障できるといいと思います。

調査をして、何か変われば良いのですが。

どうして私がアンケートをとることになったのかわかりませんけど、アンケートを書き、読み、少しでも日本とゆう国が暮らしやすくなれば、いいと思います

資料提出が遅く成りましてすみません。日々色々と、急な用事事や、郵便物の確認をする事が。おろそかに成っていまして、申訳有りませんですが参考に成りましたら宜敷お願い致します。

障害のある方とのかかわり、差別などとてもむずかしい長い間の問題だと思います。私の息子も斜視で生まれて手術などもうけましたが小さい時は公園に行ってもきもち悪いとかメガネをかければ“メガネザル”などいろいろ言われて来ました。なかなか人とちがう所がある人にとってはとてもつらい世間だと思います。
若い人達の荷物にならないよう元気ですごしたいと思います。
社会に一言。もっと給料をふやせ！大学生にも一言。今すぐに行動に移るべき。

執筆者紹介

田邊（たなべ）　浩（ひろし）

金沢大学人間社会学域地域創造学類教授

岡本（おかもと）　惇太（あつた）

地域創造学類福祉マネジメントコース３年

窪内（くぼうち）　綾（あや）

地域創造学類福祉マネジメントコース３年

渡辺（わたなべ）　健太郎（けんたろう）

人文学類人間科学コース社会学専門分野３年

杜（と）　林（りん）

人間社会環境研究科地域創造学専攻博士前期課程１年

白山市差別のない街づくり調査報告書

2015 年 3 月 31 日　発行

編集・発行　田邊　浩

〒920-1192　石川県金沢市角間町

TEL・FAX：076-264-6002

http://kudmw.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html

印刷　田中昭文堂印刷株式会社

〒920-0377　金沢市打木町東 1448 番地